ライオン誌12月号 2004年（平成16年）11月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可毎月1回20日発行第47巻第6号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

December 2004

THEME1 ライオンズクラブの明日を考える
THEME2 ライオンズクラブ統計
ROAR 331複合地区
ヘッドライン：北海道室蘭中央／ふるさと探訪：北海道猿払

We Serve

CONTENTS

■THEME Ⅰ　ライオンズクラブの明日を考える　4

334複合地区は第50回年次大会で代議員分科会を取り止めパネル・ディスカッションを開催した。当日の模様を紹介すると共に、大会議長、大会委員長にその企画意図を聞く。

■THEME Ⅱ　ライオンズクラブ統計　8

- 統計Ⅰ　世界のライオンズ
  - 分布図
  - ライオンズ国一覧
  - 各地域の情勢
  - 東洋·東南アジアの情勢
  - 主要10カ国の情勢
- 統計Ⅱ　日本のライオンズ
  - 複合地区·準地区情勢図
  - 2003-04年度会員数の推移
  - 複合地区別会員動態
  - 入退会者調査
  - クラブ・アンケート
- 統計Ⅲ　アクティビティ
  - 地区別構成比
  - 項目別構成比
  - 複合地区別主要アクティビティ
    - 献血·献眼·献腎
    - 骨髄バンク·青少年関係·高齢者福祉
    - 障害者福祉·環境保全·国際援助
    - YE·LCIF·資金調達

■ライオンズ・ニュース・カセット　28

- 新潟県中越地震被災地支援活動速報
- 災害義援金受け入れ口座開設
- 国際協会主催の会員増強ワークショップ
- 335-C地区でライオンズ - クエスト委員長会議開催
- 秋季国際理事会で承認されたLCIF交付金
- 新年度に入って15クラブが解散
- 331-A地区で女性フォーラム開催

BOX COLUMN
- 執行役員メッセージ

■国際理事会だより　34
- 石橋幹雄

■ROAR～まるごと331複合地区　35

■ヘッドライン ●北海道室蘭中央

■トピックス ●北海道札幌はまなす ●北海道苫小牧ハスカップ ●331複合地区 ●北海道川湯

■メークアップ ●北海道士別 ●北海道白老

■ふるさと探訪 330 ●北海道猿払

オホーツク海に面した最北端の村、猿払は年間5万トンの水揚げを誇る日本有数のホタテの産地。北の海でじっくりと育てられたホタテは貝柱が厚く、旨味も濃くて、干貝柱は高級食材として中国に輸出されている。広大な原野では酪農も盛んだ。また海岸沿いに点在する沼には幻の魚と呼ばれるイトウが生息する。

●イラストマップ:小川和政

■祭のある風景 12 ●北海道札幌·北海道神宮祭
●文:篠﨑淳之介 ●切画:風祭竜二

■表紙シリーズ：日本の風景 12 ●北海道·北広島

■獅子吼 ●イラスト:小川和政　51

ライオンズクラブの活性化へスタートあるのみ	佐藤悦郎
人生の素顔	阿波根朝宏
カムサハムニダ	山岸博之
チベット紀行	三木邦正

■クラブ・リポート ●イラスト:篠田和夫　56

●岡山県倉敷阿知 ●静岡県下田 ●東京本郷 ●鹿児島県垂水 ●熊本県人吉 ●埼玉県大宮氷川 ●山形県白鷹 ●兵庫県明石西 ●山口県熊毛 ●北海道芦別

■ライオンズ・スクール 中級編：クラブ運営の基礎知識　62
●第6章 LCIF ●高田順一

■ライオンズのための分かりやすいIT講座　66
●イラスト:藤英毅

■俳壇 ●選:森澄雄　69

■歌壇 ●選:春日真木子　70

■柳壇 ●選:大木俊秀　71

■READERS PLAZA　72

■クロスワードパズル　74

■心の伝わる話し方 6　75
●文:松村尚子 ●イラスト:吉田悦子

■MY BEST SHOT ●選:河相正名　76

■LIONS GALLERY ●西山妙子　78

■Editor's Room　80
●読者プレゼント

■編集室 ●高橋義太郎　81

■日本ライオンズクラブ分布図　82

表紙メモ

日本の風景

北海道·北広島

デザイン：内田誠治

複合地区年次大会をホンネで変えよう
フォーラムで意見を戦わせるという試み

334複合地区の大会革新の試みを見る

クラブの何がおかしいのか

　六月初旬、北陸の古都富山は、しっとりと落ち着いた風情で、市内を走る路面電車の音も、心なしか軽やかに聞こえていた。この季節は富山湾名物の蜃気楼もよく現れ、冬とはまた違った趣の富山が味わえる。

　富山の人々は、江戸の昔から行商売薬で知られ、人のもてなしに長けている。その地が334複合地区の記念の節目となる第五十回大会の開催地に選ばれた。最適の選択であった。

　地元の富山ではこれに先立って、五月に富山市・富山国際会議場を会場にして、334・D地区の第五十回年次大会が開かれた。

　この大会に際して開かれた地区の名誉顧問十一人と、地区ガバナー、副地区ガバナーの座談会で、ライオンズクラブの最近の動向について率直な意見が述べられた。会費と経費節減の問題、リーダーの育成の問題、テーサップ・リー国際会長（当時）が提唱するイノベーションの問題等、今、ライオンズの課題となっている事柄がきめ細かく論議された。

　334・D地区の名誉顧問たちの意見は、改革が必要だということに集約されるようだ。名誉顧問会議長のライオン高岸和男は、こう見る。

「上からのトップダウンで改革と言っても、なかなか直らないと思います。今の二十代、三十代の人はいろんな会合でディスカッションに慣れている。リーダーシップ研修会などで、どんどんやるべきだと思う」

　334・D地区は、地区構造改革特別委員会を設けて地区大会そのものにも検討を加え、まず大会を代議員中心のものにし、式典等の設営費用を抑え込んだ。ガバナー晩餐会も止めて、代わりに講演会を開催した。講師には山口大学の西田輝夫教授を招き、「見えることの大切さ」と題した講話を聞き、今後の献眼運動について考える機会とした。

　アワードを得たクラブにはアクティビティの内容を発表させた。すべてが簡素化され、しかも実質的な大会となった。

光は富山からの心意気

　地区大会の革新に成功した富山では、大会委員長でもあるライオン高岸和男と、大会会長の高田順一334・D地区ガバナーを中心に、334複合地区の年次大会そのものを革新的なものにすることを検討した。複合地区大会は、複合地区会則第七条に規定されてい

るように、国際理事候補者の推薦を行う場でもある。それなのに、会員の関心はいま一つ盛り上がりに欠けるようにも見えた。ライオン高田の見解。

「公式訪問では、地区大会は行くけれど、複合地区年次大会は行きたくない、という意見の会員が多かったんですね。地区大会はクラブと直接かかわりがあるが、複合の方は内容が分からない。中には慰安旅行の延長上に考えている人もいた。複合地区大会に対する理解がないというか、たいへん厳しい意見が多かった。

　複合地区大会というのは、国際協会とクラブをつなぐいちばんの接点です。しかも、今年は五十回という記念の大会です。が、このままやったのでは皆さんの不満に何もこたえられない。それなら、国際協会と自分たちの関係が目に見えるような形にしようではないか、ということになったんですね」

　具体的には、分科会をとりやめ、代議員会と大会式典の間に「二十一世紀のライオンズクラブの在り方を探るフォーラム」を設定し、パネリストには現国際理事、元国際理事などを迎えることとした。

　334複合地区では、四月に実施する新役員セミナーを、ディスカッション方式に切り替えた。もっと喋らせろという新役員が続出し、革新の手ごたえを実感した。

ライオン高田やライオン高岸は、コミュニケーションが大事だと痛感し、この経験を複合地区大会にもフィードバックさせたいと思った。ライオン高岸の見解。

「ライオンズクラブとは何か、会員自身にも、その原点を良く分かっていない人が多い。だから複合地区大会はいらないんじゃないか、という意見が出てきたりする」

　それなら、国際理事に対する会員の関心が出てくるこの時期の大会を本質的なことを論議する大会に出来ないか、と考えた。

ライオン高岸には忘れられない大会の記憶がある。それはまだ302E複合地区の時代だった。会員が、大会会場のマイクを奪い合うようにして意見を述べ合っていた。再びそのような時代は訪れないのか。意見は一致した。

「観光は光を観ると書く。今ここに一本のろうそくを立てて、光は富山から、と発信したい」

第50回334複合地区大会の改革に取り組んだ高田順一大会会長（右）と高岸和男大会委員長

問題はどこにあるのか

　二〇〇四年六月五日、前日に名鉄トヤマホテルでの前夜祭を終え、各地の代議員が大会会場の富山市芸術文化ホール（オーバードホール）に集まってきた。会場入口には、富山観光のシンボルでもある「風の盆」の絵柄をあしらったアーチが架けられ、地区別の受付が並ぶ。

　会場は客席が五階に並び、オペラ公演にも十分対応出来る機構を備えた大ホール。そこに愛知、岐阜、三重、静岡、石川、福井、長野、そして富山の八県の会員が集う。出席者は代議員を中心に約二千五百人。これまでは、体育館を会場に四千人大会もやってきたから、まさに質の充実を予感させる大会となった。

　午前八時三十分に開会した代議員会は三十分で終わり、九時から一時間十分にわたり、複合地区大会としては初のフォーラムが始まった。司会はこの地区から選出された林孝ライオン誌日本語版委員が務めた。

ライオン林は、問題を三つに整理して提示した。まず、最近やや歯止めがかかってきたものの依然として続く会員数減少傾向。次に新クラブの誕生と共に問題となってきた年会費の二極化。そして地区数と地区ガバナー増員の問題。特に地区ガバナー数の問題では、世界では一地区平均千八百人であるのに対して、日本では実に一地区四千人であることに照らして、地区分割の要望が出ていることを提示した。

　まさに、だれもが関心を寄せている問題ばかりであった。

　初めに、大久保彦国際理事が口火を切り、会員数減少の問題をライオンズの歴史から説き起こした。

「一九一七年に、ライオンズは資格を白人成年男子に限るとして発足した。次いで、二六年にハワイのライオン黒川直也の努力で人種差別の条項を撤廃し、成年男子に限るとなった。女性の参加が認められたのは八七年の台北国際大会からである」

　大久保国際理事は、こうして、会員増強に弾みがついて、女性の参加で違った視点を持って運営されるよ

大久保彦国際理事

うにもなった、と説きつつ、会員減少という問題は高齢化と会員の死亡という側面もあるとした。ここ数年、日本では毎年、約千五百人の会員がが亡くなっている。これはクラブ数では四十、一地区では五クラブ程度の減少に当たると指摘した。

ライオン林は、クラブ数減少の背景に会員の高齢化の進展という事実があるとの指摘に注意を喚起しつつ、次のパネリスト竹内淳一元国際理事の発言を促した。

原点に立つ視点と脱マンネリ

竹内元国際理事はライオンズの創始者が、どのような思いでクラブを創ったのかと考えるのも一つの方法だとし、メルビン・ジョーンズの言葉を引きながら解説していった。このため、大会プログラムには見開きで、六一年の『ライオン誌』国際本部版に掲載されたジョーンズの寸言録が収載されていた。

引用されたジョーンズの言葉は、「奉仕について」を始め「協会の命名」「個人的利得」「友情」「ライオンズの目的」「平和」「態度」「夢」「友愛」「真理」「指導力」「ライオンズ会員」「陰徳」「国際協会の将来」等の箴言であった。特に、「私を殺して全体を考える度量を持つこと」が強調され、次のように説かれた。

「理念、理想を求める組織は磐石である。昔、第一次世界大戦から帰って来た若者が〈地の塩〉となり、地方の中心人物となって活躍し、無私の心が人を引きつけた」

竹内淳一元国際理事

と、歴史に沿った解説で、これからの発展の基盤は原点にこそある、という考え方を示した。

ライオン林もまた、「ライオンズの発展を創始者の原点に返って考える、という視点」を強調しつつ、三人目のパネリストライオン山田實紘の発言を促した。ライオン山田は一九九六・九七年度に五十二歳で334・B地区のガバナーを務めている。

ライオン山田はまず、複合地区大会にフォーラムを企画したアイデアに敬意を表しつつ、八十七年を経過しながらも、ライオンズが目的やスローガン、モットーのいずれにおいても新鮮で光り輝く、とした上で手段や戦略にマンネリ化を感じざるを得ないとして、会場に問題を投げ掛けた。

「私は九六・九七年度に地区ガバナーをお引き受けし、その時に二十一世紀型ライオンズクラブへの提言として、十四項目を提出したのですが、そのうち七項目を却下されました」

ライオン山田の発言は初めから会場を引きつけた。当時、ライオン山田がライオンズをマンネリ化から救う七項目として上げたのはクラブ会費の在り方、キャビネット会議運営の方法、クラブ会員数の巨大化の問題、地区分割の必要性、新しいエクステンションの在り方、名誉顧問の在り方、PRの新しい方法の七項目であった。

テキサス十六人、日本五人

ライオン山田は、七項目のうち実現出来たのはクラブ巨大化の問題だけで、これは皮肉にも会員数減少のためだった、としつつ次のように述べて会場の関心を呼んだ。

「ホンネの話が出来ないのがネックです。ライオンズの憲法は守る。しかし、その用い方・手法は多少変えないと魅力が出ない。具体例を一つ上げると、キャビネット運営の在り方があります。単一クラブの考え方を、キャビネットを通して国際協会の方に言っていくということが大事だが、今のキャビネットは、トップダウン型で、そうなっていない。これを変えなければ魅力が出ません。今は前例踏襲のまんまです」

提言は、地区名誉顧問会の在り方を変えることから、日本人のアイデンティティーを見つめよということに及び、ガバナー数の問題になった。

「例えば地区ガバナーの人数です。会員数で言えば、334複合地区はテキサス州に匹敵するが、テキサスのガバナーが十六人なのに、334複合地区は五人しかいない。日本独自の改革で、地区分割し、多くすればよい」

舌鋒はLCIFにも及んだ。

「LCIF献金の三分の一は日本からのものです。金出すだけではだめです。どう使って国際貢献したらよいか、金出すだけではなくて知恵も出しましょう。そうしないと日本人はなめられてしまう。

国際大会にも出ましょう。国際大会の開会式で日の丸の旗が入場し、日本が紹介された時の日本人のローアの声が小さい。クラブの会長だけが行っても三千四百人ですよ」

会場全体が共感したのか、期せずして大きな拍手が起こった。

ライオンズがノーベル平和賞

会場の雰囲気を察した司会のライオン林も「厳しい提言でしたが、そうだと思っている人も多いようだ」と述べ、大久保国際理事に再提言を促した。

林孝元334-A地区ガバナー

それにこたえて大久保理事は、

「今、LCIFのことが出ましたが、献金の四〇パーセント以上が日本からで、しかも334複合地区は世界のトップです。

二十一世紀は、先輩を超えて前進しなければならない。かつて、東洋から初めて国際会長に就任したライオン村上薫は、落葉樹は、枯葉を落とさないと新芽が出ない、と言われた。綱領も若い人に合っているかどうかを検証し、魅力を感ずるようなものにしたい。今やっていることを変えるのは人間いろいろ抵抗感のあるものだが、社会から遊離した存在になっていないか、後に来る人たちのために美しいクラブをつくっていきたい。伝統を守って、変えて行くという方向が、子どもたちや、孫たちのために必要だ」

と結んだ。

また、竹内元国際理事は、

「ある会社に行ったら、ボードにヘレン・ケラーの言葉を記したポスターが貼られていた」と、その文言を紹介して会場の共感を呼んだ。

「同志が一人でも多く共に歩くことが、大きな力になる」

最後を締めくくるように、ライオン山田が発言した。

「ライオンズは面白く、楽しくなければいけません。ライオンズクラブがノーベル平和賞をもらうというのどうでしょう。アメリカのカーター元大統領はライオンズの元ガバナーですが、ライオンズのバックアップでノーベル平和賞を受賞しました。

ライオンズは、国境なき医師団などと同様に、さまざまな国際平和のための活動をしている。まさにノーベル平和賞に値します。ノーベル平和賞をライオンズが獲得し、世界のメンバーがノーベル賞受賞者になろう。夢追い人になりましょう」

山田實紘元334-B地区ガバナー

大きな拍手が再び湧いた。

初めの一歩を踏み出した人々

最後に大久保国際理事が特に発言を求めて、子どもの問題について語った。

「私は長崎の人間だが、最近、佐世保でも事件が起きた。長崎の人間として非常に残念だ。秋田を訪ねた時、市長にお会いしたが、秋田では学校に警備員を派遣しているということです。年間五千万円かかるというが、子どもは世界の宝です。子どものことを一緒に考えていきましょう」

と訴えて、これも会場から大きな拍手で迎えられた。

熱気にあふれたフォーラムであっただけに、会場からはもう少し時間がほしいという声も聞かれた。

ライオン高田もその点を惜しみ、

「ホンネの話も出たし、やらせてもらった側としては良かったと思います。これが第一歩です」

また、ライオン高岸も結果は時間切れの感じが残ったとしつつも、こう述べて今回の成果を評価していた。

「会場が盛り上がって良かった。ホンネを引き出すのが私たちの役目で、これをきっかけにして、継続させたい」

334複合地区年次大会は、次年度のスローガンを「取り戻そう人と社会、人と人とのきずな、奉仕を通して地域の人々と成功を共有するために」という長野県・松本深志ライオンズクラブの提案を採択して終わった。

出口のアーチには「第五十一回年次大会名古屋で会いましょう」と大書されていた。

この日の試みが、名古屋でより大きな実を結ぶことを期待しているのだろうか、会場を後にするライオンたちの足取りも、心持ち、軽やかにに見えた。

「おじゃまはんでござんした」

「おあいそむない」

そんな、昔の越中のあたたかい言葉が聞こえて来そうな富山の昼であった。（ルポライター／篠崎淳之介）

二〇〇三-〇四年度 ライオンズクラブ統計

統計Ⅰ　世界のライオンズ分布図
ライオンズ国一覧
各地域の情勢
東洋・東南アジアの情勢
主要十カ国の情勢
統計Ⅱ　日本のライオンズ
複合地区・準地区情勢図
二〇〇三・〇四年度会員数の推移
複合地区別会員動態
入退会者調査
クラブ・アンケート
統計Ⅲ　アクティビティ
地区別構成比
主要アクティビティ構成比
献血・献眼・献腎
骨髄バンク・青少年関係・高齢者福祉
障害者福祉・環境保全・国際援助
YE・LCIF・資金調達

世界のライオンズ分布図

［二〇〇四年六月三十日現在］国際本部集計

昨年度末の世界のライオンズは百三十六万五千七百七十九人

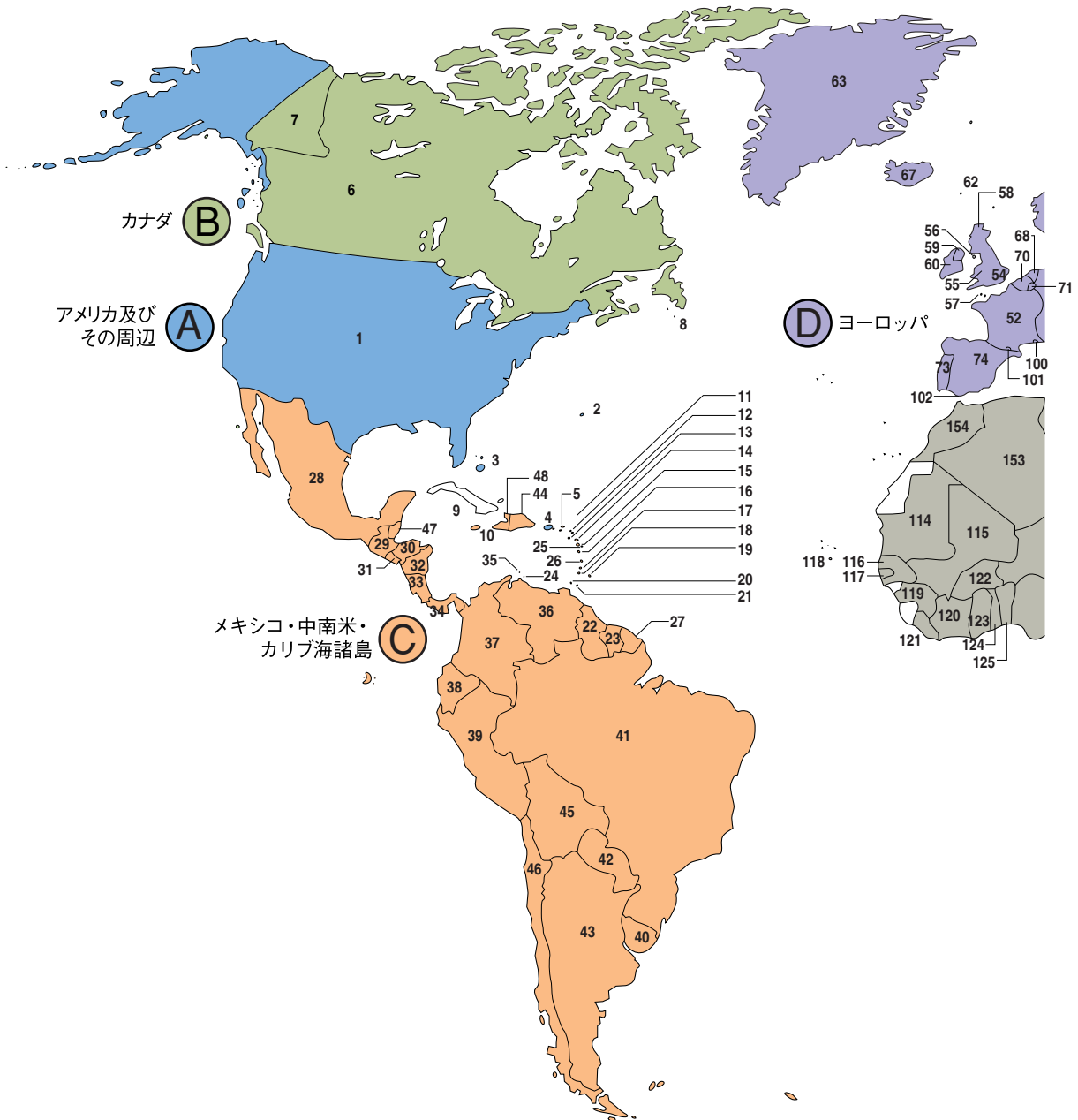
二〇〇四年六月末の世界のライオンズクラブは百九十三の国及び地域

に四万六千二百三十二クラブ、会員百三十六万五千七百七十九人だった。この一年で、ライオンズ国はヨーロッパのグルジア、インド・南アジア・アフリカ・中東地域のガンビアが加わった。

この一年間に新たに結成されたクラブは千六百三クラブ、解散したクラブは千百四十六クラブで、純増は四百五十七クラブだった。インパクト・プログラムがスタートした前年度の九百七十四クラブ純増に比べて半減した。

会員数では、十七万六千九百十七人の入会に対し、十六万八千六百二十五人の退会で、八千二百九十二人の純増となった。二〇〇〇年度の三万四千四百六十一人減をピークに、九六年度以来続いていたマイナス成長が七年ぶりにプラスに転じた。前年度に比べて退会者の減少が目立ち、二年目のインパクト・プログラムでテーサップ・リー国際会長が力点を置いたリテンションの効果と推察される。

なお、次ページに掲載した「世界のライオンズ国一覧」の中で、国名の前にある番号は本地図の番号と対応しているので、比べながら見て頂きたい。

184

No.	国名	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
57	チャネル諸島（英）	105	2	76	1963
58	スコットランド（英）	105	23	382	1952
59	北アイルランド（英）	105	21	410	1958
60	アイルランド	105	94	2,380	1955
61	デンマーク	106	303	7,067	1950
62	フェロー諸島（デ）	106	5	141	1966
63	グリーンランド（デ）	106	6	115	1988
64	フィンランド	107	940	27,233	1950
65	オーランド島（フィ）	107	6	192	1955
66	イタリア	108	1,225	50,606	1951
67	アイスランド	109	89	2,298	1951
68	オランダ	110	390	11,396	1951
69	ドイツ	111	1,294	43,334	1951
70	ベルギー	112	278	7,550	1952
71	ルクセンブルク	113	20	842	1953
72	オーストリア	114	213	7,026	1952
73	ポルトガル	115	115	3,075	1953
74	スペイン	116	95	2,567	1964
75	ギリシャ	117	79	2,096	1954
76	キプロス	117	25	1,005	1954
77	トルコ	118	368	9,114	1963
78	ハンガリー	119	61	1,347	1989
79	エストニア	120	56	1,261	1989
80	ポーランド	121	56	1,285	1989
81	チェコ	122	24	546	1990
82	スロバキア	122	15	348	1990
83	ロシア	123/未	34	603	1990
84	ルーマニア	124	43	1,016	1990
85	クロアチア	126	51	1,366	1990
86	イスラエル	128	31	859	1960
87	スロベニア	129	44	1,286	1990
88	ブルガリア	130	29	671	1992
89	リトアニア	未	20	435	1990
90	ベラルーシ	未	9	187	1990
91	ウクライナ	未	7	120	1991
92	ラトビア	未	7	115	1991
93	アルバニア	未	5	108	1993
94	ボスニア・ヘルツェゴビナ	未	7	207	1996
95	マケドニア	未	5	148	1996
96	ユーゴスラビア	未	2	52	1990
97	アルメニア	未	1	22	2000
98	サンマリノ	未	1	48	1959
99	バチカン	未	1	22	2003
100	モナコ	未	2	69	1961
101	アンドラ	未	1	43	1985
102	ジブラルタル（英）	未	1	30	1977
103	マルタ	未	5	209	1958
104	モルドバ	未	2	56	2002
105	グルジア	未	1	23	2003

E インド·南アジア·アフリカ·中東

No.	インド·南アジア·アフリカ·中東	地区番号	クラブ数 7,608	会員数 199,180	結成年
106	パキスタン	305	474	7,895	1956
107	スリランカ	306	295	8,351	1958
108	バングラデシュ	315	410	9,381	1958
109	インド	321～324	5,219	147,220	1956
110	ネパール	325	233	5,096	1971
111	レバノン	351	74	1,650	1952
112	ヨルダン	351	7	163	1953
113	エジプト	352	37	783	1976
114	モーリタニア	403	4	77	1975
115	マリ	403	5	125	1957
116	セネガル	403	8	132	1955
117	ガンビア	403	1	20	2003
118	カボベルデ	403	4	86	1998
119	ギニア	403	5	123	1986
120	コートジボアール	403	20	419	1954
121	リベリア	403	1	42	2002
122	ブルキナファソ	403	11	337	1958
123	ガーナ	403	12	269	1982
124	トーゴ	403	7	184	1957
125	ベニン	403	13	438	1981
126	ニジェール	403	2	53	1960
127	チャド	403	5	83	1956
128	カメルーン	403	19	439	1955
129	中央アフリカ	403	4	95	1955
130	ガボン	403	9	215	1957
131	コンゴ人民共和国	403	8	234	1954
132	ジブチ	403	1	44	1966
133	コモロ	403	2	57	1981
134	マダガスカル	403	19	453	1956
135	レユニオン（仏）	403	5	135	1958
136	モーリシャス	403	5	150	1967
137	ナイジェリア	404	114	2,768	1964
138	コンゴ民主共和国	409	33	819	1957
139	ルワンダ	409	1	27	1959
140	ブルンジ	409	1	32	1957
141	ナミビア	410	10	177	1958
142	南アフリカ	410	167	2,620	1957
143	スワジランド	410	1	17	1979
144	エチオピア	411	5	177	1966
145	ウガンダ	411	36	824	1959
146	ケニア	411	67	1,734	1958
147	タンザニア	411	21	509	1963
148	マラウイ	412	8	193	1960
149	ジンバブエ	412	32	441	1959
150	ボツワナ	412	23	478	1968
151	ザンビア	413	57	1,424	1961
152	チュニジア	414	29	612	1968
153	アルジェリア	415	26	442	1953
154	モロッコ	416	54	1,049	1953
155	バーレーン	未	3	68	1978
156	アンゴラ	未	1	20	2000

F 東洋·東南アジア

No.	東洋·東南アジア	地区番号	クラブ数 7,389	会員数 266,963	結成年
157	グアム（米）	204	14	314	1949
158	ミクロネシア	204	2	31	1990
159	サイパン（米）	204	3	55	1991
160	パラオ	204	1	21	1996
161	中華民国［台湾］	300	926	30,901	1953
162	フィリピン	301	442	13,050	1949
163	香港（中）	303	54	1,192	1955
164	マカオ（中）	303	2	36	1971
165	マレーシア	308	221	5,872	1959
166	シンガポール	308	71	1,704	1958
167	ブルネイ	308	2	36	1970
168	タイ	310	314	9,191	1959
169	日本	330～337	3,422	125,989	1952
170	韓国	354～355	1,863	76,853	1959
171	中国	380	42	1,468	2002
172	モンゴル	未	6	171	1993
173	カンボジア	未	4	79	1996

G 大洋州及びその周辺

No.	大洋州及びその周辺	地区番号	クラブ数 1,976	会員数 46,187	結成年
174	パプアニューギニア	201	4	89	1962
175	オーストラリア	201	1,335	28,750	1947
176	ノーフォーク島（豪）	201	2	41	1964
177	西サモア	202	1	19	1965
178	フィジー	202	5	82	1963
179	ニュージーランド	202	459	12,333	1955
180	米領サモア（米）	202	2	67	1982
181	インドネシア	307	153	4,454	1969
182	ニューカレドニア（仏）	未	12	287	1961
183	バヌアツ	未	1	8	1978
184	タヒチ（仏）	未	2	57	1960

※1国際協会ではライオンズ国及び地理的領域を193と公式に発表しています。本表は国際本部集計を基に作成したものですが、集計表には184の国及び領域のみの記載しかなく、その他9カ国は不明です。
※2米領バージン諸島＝クラブ数8、会員数196

●国名及び領域名は『世界の国一覧表』（外務省外務報道官編集）を参考にしました。

略号：未:地区未編成　(米)アメリカ　(英)イギリス　(仏)フランス　(蘭)オランダ　(ポ)ポルトガル　(カ)カナダ　(南ア)南アフリカ　(デ)デンマーク　(フィ)フィンランド　(豪)オーストラリア　(中)中華人民共和国

ライオンズ国一覧

本表は世界のライオンズ国または地理的領域の地区番号、ならびにクラブ数、会員数とその結成年の一覧である。2004年6月30日現在、国際協会は193の国及び地理的領域に46,232クラブ、1,365,779人の会員を数える。

また7つの地域別にクラブ数と会員数を表示した。

なお、国及び領域名の前の番号は、前ページの地図上の数字と合致する。

A アメリカ及びその周辺

	国または地理的領域	地区番号	クラブ数 13,720	会員数 430,548	結成年
1	アメリカ	1～50	13,583	425,307	1917
	イリノイ州	1	625	20,833	1917
	テキサス州	2	972	31,651	1917
	オクラホマ州	3	230	6,439	1917
	カリフォルニア州	4/21/36	811	24,310	1917
	ネバダ州	4	43	1,295	1920
	ミネソタ州	5M	579	21,968	1918
	ノースダコタ州	5	120	3,681	1921
	サウスダコタ州	5	90	2,833	1921
	コロラド州	6	167	4,996	1917
	アーカンソー州	7	179	5,061	1917
	ルイジアナ州	8	203	6,316	1917
	アイオワ州	9	372	11,646	1920
	ミシガン州	10／11	536	16,968	1919
	テネシー州	12	223	6,384	1917
	オハイオ州	13	501	16,323	1920
	ペンシルベニア州	14	851	27,333	1920
	ワイオミング州	15	57	1,661	1920
	ニュージャージー州	16	250	6,945	1920
	カンザス州	17	318	8,358	1919
	ジョージア州	18	262	7,551	1920
	ワシントン州	19	251	8,526	1920
	アイダホ州	19/39	105	2,838	1923
	ニューヨーク州	20	602	18,903	1921
	アリゾナ州	21/40	153	4,307	1923
	メリーランド州	22	192	6,697	1921
	コロンビア特別区	22	8	208	1921
	デラウェア州	22	39	1,512	1922
	コネチカット州	23	164	6,382	1921
	バージニア州	24	316	9,848	1921
	インディアナ州	25	432	14,190	1920
	ミズーリ州	26	441	13,245	1917
	ウィスコンシン州	27	588	21,658	1921
	ユタ州	28	91	2,022	1921
	ウエストバージニア州	29	221	6,138	1921
	ミシシッピ州	30	155	4,009	1921
	ノースカロライナ州	31	394	9,841	1922
	サウスカロライナ州	32	164	5,074	1922
	マサチューセッツ州	33	250	8,950	1922
	アラバマ州	34	178	4,945	1922
	フロリダ州	35	297	8,054	1922
	オレゴン州	36/39	197	5,858	1921
	モンタナ州	37	83	2,437	1921
	ネブラスカ州	38	173	4,865	1920
	ニューメキシコ州	40	73	1,727	1923
	メーン州	41	86	2,911	1923
	ロードアイランド州	42	36	1,541	1922
	ケンタッキー州	43	222	7,000	1920
	ニューハンプシャー州	44	92	2,824	1923
	バーモント州	45	48	1,456	1924
	アラスカ州	49	78	2,894	1944
	ハワイ州	50	65	1,895	1926
2	バーミューダ諸島（英）	20	7	217	1946
3	バハマ	35/未	2	42	1953
4	プエルトリコ	51	127	4,965	1936
5	米領バージン諸島（米）※2	51(/60)	1	17	1966

B カナダ

	国または地理的領域	地区番号	クラブ数 1,794	会員数 43,417	結成年
6	カナダ	5M/5/19/37/41/49/A/U	1,786	43,250	1920
	オンタリオ州	5M/A/U	583	15,209	1920
	マニトバ州	5M	94	2,088	1921
	サスカチワン州	5	182	4,267	1928
	ブリティッシュ・コロンビア州	19/37/49	237	5,358	1921
	アルバータ州	37	223	5,126	1929
	ノースウエスト・テリトリーズ	37/49	3	52	
	ニューブラウンズウィック	41	68	1,569	1938
	プリンスエドワード島	41	27	584	1952
	ノバスコシア州	41	69	1,878	1945
	ニューファウンドランド州	41	99	2,423	1948
	ケベック州	A/U	201	4,696	1922
7	ユーコン・テリトリー（カ）	49	6	114	1951
8	サンピエール・ミクロン諸島	U	2	53	1953

C メキシコ・中南米・カリブ海諸島

	国または地理的領域	地区番号	クラブ数 4,341	会員数 104,594	結成年
5	米領バージン諸島（米）※2	60(/51)	7	179	1966
9	ケイマン諸島	60	2	138	1972
10	ジャマイカ	60	26	817	1965
11	アンギラ	60	1	23	1979
12	英領バージン諸島（英）	60	4	90	1972
13	セントクリストファー・ネイビス	60	2	67	1971
14	アンチグア・バーブーダ	60	1	75	1968
15	モントセラト（英）	60	1	24	1985
16	ドミニカ（英）	60	2	32	1968
17	セントルシア	60	5	129	1967
18	セントビンセント（英）	60	4	69	1964
19	バルバドス	60	8	269	1961
20	グレナダ（英）	60	2	51	1965
21	トリニダード・トバゴ	60	29	795	1962
22	ガイアナ	60	21	585	1960
23	スリナム	60	13	368	1957
24	蘭領アンチル（蘭）	60/E	5	220	1946
25	グアトループ島（仏）	63	11	278	1969
26	マルチニーク島（仏）	63	10	228	1967
27	仏領ギアナ（仏）	63	7	198	1970
28	メキシコ	B	494	13,203	1931
29	グアテマラ	D	38	977	1941
30	ホンジュラス	D	37	1,338	1942
31	エルサルバドル	D	33	1,166	1942
32	ニカラグア	D	23	617	1942
33	コスタリカ	D	60	1,779	1944
34	パナマ	D	56	1,398	1935
35	アルバ（蘭）	E	1	65	1947
36	ベネズエラ	E	142	3,609	1943
37	コロンビア	F	262	5,037	1945
38	エクアドル	G	91	2,914	1946
39	ペルー	H	232	5,867	1944
40	ウルグアイ	J	137	2,914	1951
41	ブラジル	L	1,758	42,082	1952
42	パラグアイ	M	95	2,587	1952
43	アルゼンチン	O	287	5,113	1954
44	ドミニカ共和国	R	142	3,862	1964
45	ボリビア	S	61	1,398	1948
46	チリ	T	222	3,729	1948
47	ベリーズ	未	5	215	1973
48	ハイチ	未	4	89	1982

D ヨーロッパ

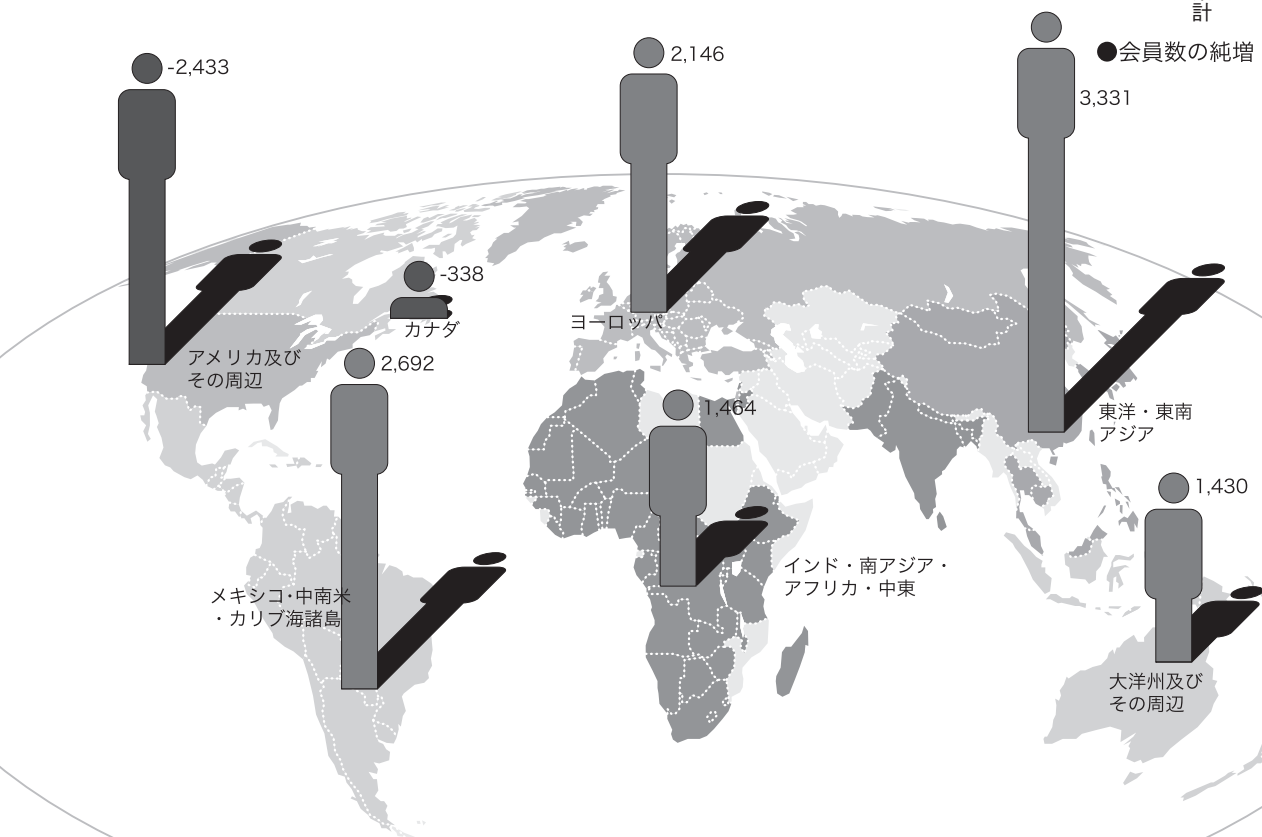
	国または地理的領域	地区番号	クラブ数 9,404	会員数 274,890	結成年
49	スウェーデン	101	544	14,595	1948
50	スイス	102	217	8,374	1948
51	リヒテンシュタイン	102	1	47	1953
52	フランス	103	1,244	31,493	1948
53	ノルウェー	104	519	13,751	1949
54	イングランド（英）	105	717	14,339	1949
55	ウェールズ（英）	105	49	870	1963
56	マン島（英）	105	1	34	1968

各地域の情勢

［二〇〇四年六月三十日現在］ 国際本部集計

減少が続くアメリカ、OSEALは成長に転じる

国際会則に定められている七つの会則地域別にクラブ数、会員数を比較してみよう。まずクラブ数は、アメリカ及びその周辺とカナダを除く五つの地域で純増した。前年度は、七百六十一クラブと大きな純増を記録したインド・南アジア・アフリカ・中東でペースが落ちた。会員数でもクラブ数と同じ五つの地域が純増している。中でも前年度は三千二百四十六人減だったメキシコ・中南米・カリブ海諸島と、二千六百六十人減だった東洋・東南アジアが大きくプラスに転じているのが目立った。また、アメリカ及びその周辺のマイナス成長も、前年度の七千二十二人減と比較すると減少傾向をかなり低く抑えられたのが分かる。

クラブ数比、会員数比はいずれも昨年度から大きな変動はなかった。

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
アメリカ及びその周辺	13,720	224	321	△97	29.7	430,548	50,165	52,598	△2,433	31.5
カナダ	1,794	21	29	△8	3.9	43,417	4,666	5,004	△338	3.2
メキシコ･中南米･カリブ海諸島	4,341	154	101	53	9.4	104,594	15,887	13,195	2,692	7.7
ヨーロッパ	9,404	184	83	101	20.3	274,890	20,760	18,614	2,146	20.1
インド･南アジア･アフリカ･中東	7,608	641	459	182	16.5	199,180	36,362	34,898	1,464	14.6
東洋･東南アジア	7,389	316	114	202	16.0	266,963	41,882	38,551	3,331	19.5
大洋州及びその周辺	1,976	63	39	24	4.3	46,187	7,195	5,765	1,430	3.4
合計	46,232	1,603	1,146	457	100.0	1,365,779	176,917	168,625	8,292	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

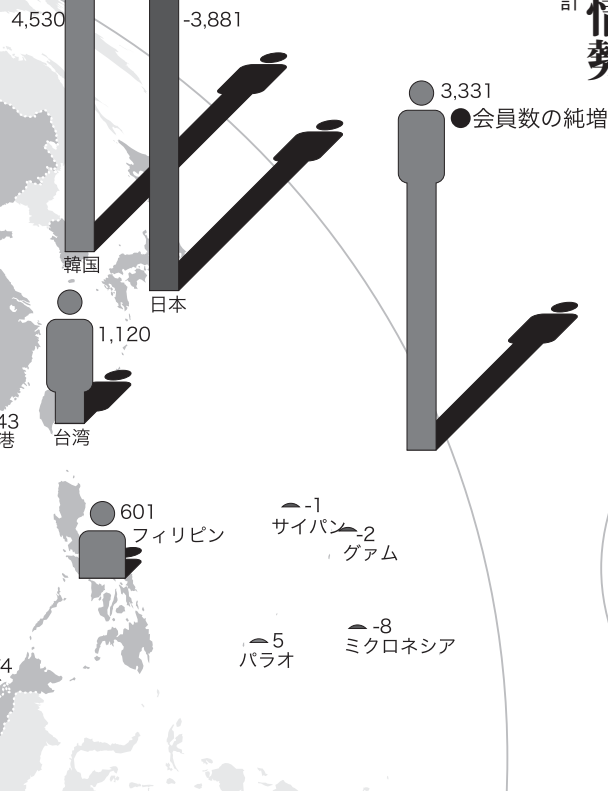
東洋・東南アジアの情勢

［二〇〇四年六月三十日現在］国際本部集計

復調を遂げた台湾、韓国も大躍進が続く

OSEALでは前年度のマイナス成長からプラスに転じた。これには前年度千六百九十三人減で三年連続の減少だった台湾が千百二十人の純増と復調した影響が大きい。

またタイも前年度の百五十六人減からプラスに転じた。韓国はこれで四年連続となる大躍進を見せている。クラブ数比で〇・七ポイント増の二五・二パーセント、会員数比で一・四ポイント増の二八・八パーセントと大きな伸びを見せた。日本は会員数が五千三百九十三人減だった前年度に比べて減少はやや抑えられたものの、クラブ数比で一・〇ポイント減の四六・三パーセント、会員数比は二・一ポイント減の四七・二パーセントとなった。

なお、これまで広東と深圳に分かれていた中国が、昨年度から一国にカウントされている。

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
グアム	14	0	0	0	0.2	314	44	46	△2	0.1
ミクロネシア	2	0	0	0	0.0	31	8	16	△8	0.0
サイパン	3	0	0	0	0.0	55	0	1	△1	0.0
パラオ	1	0	0	0	0.0	21	21	16	5	0.0
台湾	926	26	15	11	12.5	30,901	6,866	5,746	1,120	11.6
フィリピン	442	58	25	33	6.0	13,050	3,132	2,531	601	4.9
香港	54	2	1	1	0.7	1,192	215	172	43	0.4
マカオ	2	0	0	0	0.0	36	6	1	5	0.0
マレーシア	221	12	1	11	3.0	5,872	831	596	235	2.2
シンガポール	71	4	0	4	1.0	1,704	235	281	△46	0.6
ブルネイ	2	0	0	0	0.0	36	0	4	△4	0.0
タイ	314	21	12	9	4.2	9,191	1,976	1,426	550	3.4
日本	3,422	48	22	26	46.3	125,989	10,429	14,310	△3,881	47.2
韓国	1,863	141	38	103	25.2	76,853	17,765	13,235	4,530	28.8
中国	42	2	0	2	0.6	1,468	293	150	143	0.5
モンゴル	6	1	0	1	0.1	171	33	0	33	0.1
カンボジア	4	1	0	1	0.1	79	28	20	8	0.0
合計	7,389	316	114	202	100.0	266,963	41,882	38,551	3,331	100.0

主要十カ国の情勢

［二〇〇四年六月三十日現在］国際本部集計

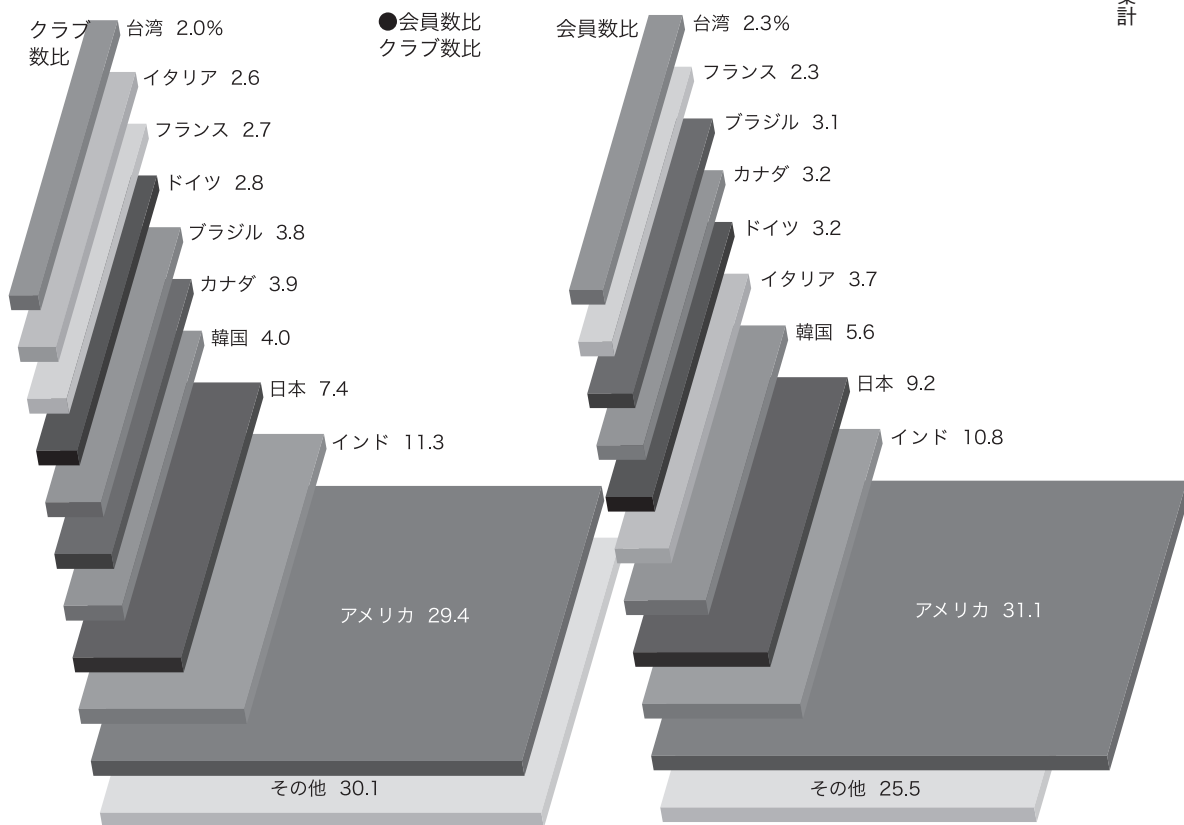
上位五カ国に順位の変動なし、ドイツとカナダが入れ替わる

百九十三のライオンズ国のうち、会員数の上位十カ国には前年度と同じ国々が並んだ。上位五カ国に順位の変動はなかったが、上位三カ国が会員を減らしている。最も減少が大きいのが三位の日本で、アメリカの減少数を上回っている。対照的に、日本に続く四位につけている韓国はクラブ数、会員数ともに大きく増やした。

五位以下の順位を見ると、ドイツがカナダを抜いて六位につけた。ドイツはこの前年にブラジルを抜いて七位に浮上したばかりで、クラブ数、会員数共に着実な成長ぶりを見せている。クラブ数で見てみると、四位イタリア、六位ドイツ、九位フランスのヨーロッパ勢は、いずれも解散クラブがゼロあるいは一桁台と少ないのが分かる。

●会員数比
クラブ数比

クラブ数比
台湾　2.0%
イタリア　2.6
フランス　2.7
ドイツ　2.8
ブラジル　3.8
カナダ　3.9
韓国　4.0
日本　7.4
インド　11.3
アメリカ　29.4
その他　30.1

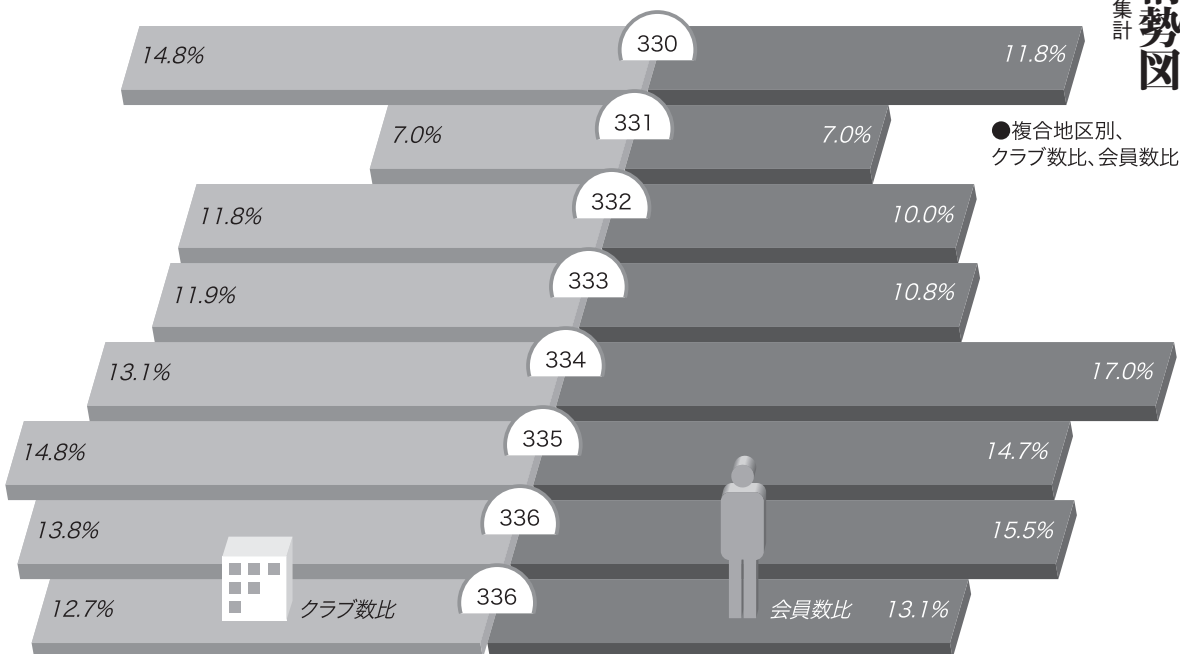
会員数比
台湾　2.3%
フランス　2.3
ブラジル　3.1
カナダ　3.2
ドイツ　3.2
イタリア　3.7
韓国　5.6
日本　9.2
インド　10.8
アメリカ　31.1
その他　25.5

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
アメリカ	13,583	219	319	△100	29.4	425,307	49,666	52,199	△2,533	31.1
インド	5,219	395	300	95	11.3	147,220	24,583	24,723	△140	10.8
日本	3,422	48	22	26	7.4	125,989	10,429	14,310	△3,881	9.2
韓国	1,863	141	38	103	4.0	76,853	17,765	13,325	4,440	5.6
イタリア	1,225	30	0	30	2.6	50,606	4,073	3,201	872	3.7
ドイツ	1,294	35	3	32	2.8	43,334	2,738	1,625	1,113	3.2
カナダ	1,786	21	29	△8	3.9	43,250	4,651	4,986	△335	3.2
ブラジル	1,758	29	35	△6	3.8	42,082	6,054	5,530	524	3.1
フランス	1,244	15	7	8	2.7	31,493	2,375	2,582	△207	2.3
台湾	926	26	15	11	2.0	30,901	6,866	5,746	1,120	2.3
その他	13,912	644	378	266	30.1	348,744	47,717	40,398	7,319	25.5
合計	46,232	1,603	1,146	457	100.0	1,365,779	176,917	168,625	8,292	100.0

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

［二〇〇四年六月三十日現在］　国際本部集計

三十一準地区で会員減少

国際本部の集計によると、〇四年六月末の日本ライオンズの情勢は、三千四百二十二クラブ、会員十二万五千九百八十九人だった。クラブ数では、昨年度内に新しく結成されたクラブは四十八、解散したクラブは二十二クラブで、前年同期に比べて二十六クラブ増となった。前年度の五十四クラブ増には遠く及ばなかった。昨年度はリー国際会長が前年に引き続きインパクト・プログラムによるエクステンションを推進したことから新クラブ結成に一定の成果が見られるが、一方で解散クラブ数は過去最高を記録した。地区別に見ると、五つの地区でクラブ数が減少している。また会員数は全体で三千八百八十一人の減少で、337・C地区を除く三十一準地区で減少。

複合地区	準地区	クラブ数 2003.6	クラブ数 2004.6	会員数 2003.6	会員数 2004.6	クラブ増加	会員増加
330	330-A	197	200	5,823	5,637	3	△ 186
	330-B	199	193	6,289	6,110	△ 6	△ 179
	330-C	111	112	3,261	3,139	1	△ 122
小計		507	505	15,373	14,886	△ 2	△ 487
331	331-A	75	78	3,029	3,008	3	△ 21
	331-B	100	101	3,536	3,422	1	△ 114
	331-C	62	62	2,426	2,346	0	△ 80
小計		237	241	8,991	8,776	4	△ 215
332	332-A	67	68	2,428	2,344	1	△ 84
	332-B	56	57	2,046	2,008	1	△ 38
	332-C	81	85	2,014	1,964	4	△ 50
	332-D	82	83	2,509	2,459	1	△ 50
	332-E	57	55	2,251	2,121	△ 2	△ 130
	332-F	57	57	1,809	1,758	0	△ 51
小計		400	405	13,057	12,654	5	△ 403
333	333-A	140	142	5,618	5,439	2	△ 179
	333-B	140	140	4,695	4,557	0	△ 138
	333-C	126	126	3,647	3,597	0	△ 50
小計		406	408	13,960	13,593	2	△ 367
334	334-A	114	119	6,413	6,246	5	△ 167
	334-B	92	92	4,534	4,392	0	△ 142
	334-C	84	84	3,866	3,688	0	△ 178
	334-D	98	99	4,679	4,572	1	△ 107
	334-E	55	55	2,625	2,551	0	△ 74
小計		443	449	22,117	21,449	6	△ 668
335	335-A	116	116	3,714	3,386	0	△ 328
	335-B	190	197	7,790	7,617	7	△ 173
	335-C	122	124	4,985	4,930	2	△ 55
	335-D	67	69	2,752	2,626	2	△ 126
小計		495	506	19,241	18,559	11	△ 682
336	336-A	151	153	6,931	6,795	2	△ 136
	336-B	104	102	4,443	4,236	△ 2	△ 207
	336-C	107	107	4,427	4,283	0	△ 144
	336-D	109	110	4,313	4,204	1	△ 109
小計		471	472	20,114	19,518	1	△ 596
337	337-A	119	118	5,466	5,273	△ 1	△ 193
	337-B	94	94	3,441	3,305	0	△ 136
	337-C	82	84	3,295	3,342	2	47
	337-D	142	140	4,815	4,634	△ 2	△ 181
小計		437	436	17,017	16,554	△ 1	△ 463
合計		3,396	3,422	129,870	125,989	26	△ 3,881

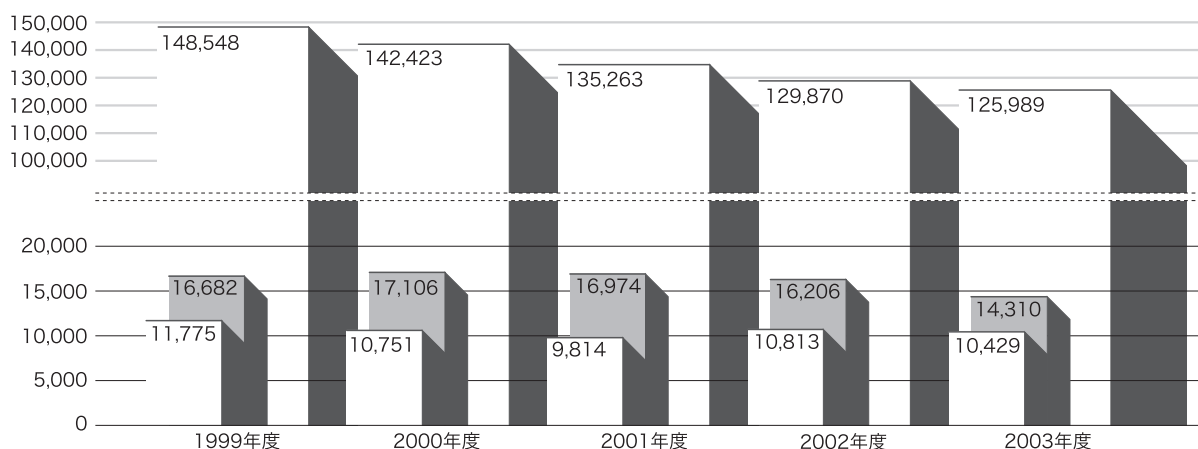
二〇〇三-〇四年度会員数の推移

国際本部集計

十一年連続のマイナス成長。半期末、年度末に退会者数増大

　昨年、日本ライオンズは会員数十二万九千八百七十人でスタートし、最終的には十二万五千九百八十九人で年度を終了した。年間の入会者は一万四百二十九人、退会者はこれを上回る一万四千三百十人で、十一年連続のマイナス成長となったが、〇一年度の七千百六十人減をピークに、〇二年度は五千三百九十三人減、昨年度は三千八百八十一人減と、減少のペースは抑えられている。月別で見ると例年通り、半期末十二月と年度末六月に退会が激増。この二カ月の退会者数は六千三百六十九人で年間の五割近くを占める。これはクラブの会費徴収が半期ごとに行われることから、これを区切りとして退会手続きをするクラブが多いことが原因のようだ。

　地区別に前期末からの成長率を見ると、唯一プラスだった337-C地区が一・四パーセント増。他の地区はすべてマイナスだが、331-A地区（〇・七パーセント減）は減少率が低い。一方、減少率が高かった地区は、335-A地区（八・八パーセント減）、332-E地区（五・八パーセント減）、336-B地区（四・七パーセント減）の順に続く。

2004年1月			2004年2月			2004年3月			2004年4月			2004年5月			2004年6月			年間合計		
新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	純増
34	53	5,782	20	34	5,768	73	29	5,812	23	29	5,806	51	40	5,817	19	199	5,637	422	608	△186
26	33	6,329	28	20	6,337	30	52	6,315	46	50	6,311	59	49	6,321	34	245	6,110	538	717	△179
18	30	3,242	8	21	3,229	29	12	3,246	9	17	3,238	8	15	3,231	13	105	3,139	197	319	△122
13	22	3,035	15	20	3,030	56	27	3,059	53	35	3,077	42	7	3,112	19	123	3,008	341	362	△21
12	21	3,511	16	18	3,509	40	21	3,528	24	23	3,529	19	18	3,530	14	122	3,422	286	400	△114
17	21	2,453	15	15	2,453	12	13	2,452	14	28	2,438	8	10	2,436	3	93	2,346	197	277	△80
17	19	2,422	3	10	2,415	17	19	2,413	13	22	2,404	27	16	2,415	6	77	2,344	167	251	△84
14	10	2,082	12	10	2,084	13	10	2,087	9	8	2,088	4	19	2,073	5	70	2,008	174	212	△38
14	17	1,997	12	6	2,003	10	14	1,999	19	24	1,994	9	23	1,980	77	93	1,964	225	275	△50
8	21	2,490	40	22	2,508	23	12	2,519	31	22	2,528	21	14	2,535	16	92	2,459	242	292	△50
15	12	2,228	10	9	2,229	10	14	2,225	17	7	2,235	10	9	2,236	12	127	2,121	151	281	△130
11	9	1,799	12	8	1,803	9	9	1,803	11	13	1,801	5	9	1,797	12	51	1,758	131	182	△51
48	29	5,579	80	27	5,632	10	29	5,613	27	38	5,602	16	35	5,583	17	161	5,439	354	533	△179
26	27	4,677	48	17	4,708	18	22	4,704	8	19	4,693	12	25	4,680	44	167	4,557	327	465	△138
27	29	3,689	28	14	3,703	16	23	3,696	17	19	3,694	25	38	3,681	20	104	3,597	315	365	△50
72	45	6,407	20	25	6,402	32	22	6,412	115	38	6,489	27	34	6,482	18	254	6,246	474	641	△167
40	41	4,524	21	16	4,529	32	20	4,541	17	17	4,541	11	15	4,537	18	163	4,392	292	434	△142
13	20	3,832	4	15	3,821	35	26	3,830	15	19	3,826	29	27	3,828	10	150	3,688	250	428	△178
30	21	4,687	19	16	4,690	16	19	4,687	37	17	4,707	10	18	4,699	12	139	4,572	273	380	△107
9	20	2,656	5	11	2,650	33	12	2,671	9	8	2,672	2	8	2,666	3	118	2,551	190	264	△74
19	24	3,587	23	23	3,587	12	17	3,582	19	15	3,586	16	15	3,587	8	209	3,386	197	525	△328
55	55	7,817	39	45	7,811	87	51	7,847	108	26	7,929	23	43	7,909	49	341	7,617	661	834	△173
36	39	4,987	59	16	5,030	12	24	5,018	18	22	5,014	78	15	5,077	63	210	4,930	434	489	△55
5	14	2,715	12	7	2,720	13	9	2,724	40	10	2,754	3	23	2,734	35	143	2,626	183	309	△126
32	42	6,955	81	48	6,988	60	79	6,969	81	43	7,007	28	39	6,996	36	237	6,795	686	822	△136
27	28	4,347	65	28	4,384	27	51	4,360	35	18	4,377	38	16	4,399	24	187	4,236	378	585	△207
22	27	4,388	31	20	4,399	17	16	4,400	19	25	4,394	11	13	4,392	39	148	4,283	308	452	△144
18	33	4,316	24	21	4,319	29	30	4,318	68	32	4,354	24	18	4,360	20	176	4,204	382	491	△109
47	35	5,428	47	14	5,461	19	34	5,446	18	24	5,440	34	46	5,428	33	188	5,273	443	636	△193
23	25	3,448	31	19	3,460	16	33	3,443	17	27	3,433	16	41	3,408	14	117	3,305	298	434	△136
51	27	3,375	72	24	3,423	19	29	3,413	17	26	3,404	29	28	3,405	30	93	3,342	424	377	47
47	47	4,779	51	26	4,804	24	48	4,780	63	56	4,787	29	59	4,757	40	163	4,634	489	670	△181
846	896	129,563	951	625	129,889	849	826	129,912	1,017	777	130,152	724	785	130,091	763	4,865	125,989	10,429	14,310	△3881

地区	2003年6月 会員数	2003年7月 新	退	末	2003年8月 新	退	末	2003年9月 新	退	末	2003年10月 新	退	末	2003年11月 新	退	末	2003年12月 新	退	末
330-A	5,823	34	34	5,823	33	33	5,823	55	25	5,853	23	32	5,844	37	28	5,853	20	72	5,801
330-B	6,289	117	78	6,328	60	40	6,348	58	31	6,375	30	34	6,371	28	25	6,374	22	60	6,336
330-C	3,261	37	50	3,248	15	9	3,254	16	21	3,249	28	9	3,268	7	10	3,265	9	20	3,254
331-A	3,029	53	26	3,056	14	13	3,057	24	29	3,052	10	16	3,046	15	13	3,048	27	31	3,044
331-B	3,536	101	63	3,574	15	19	3,570	14	16	3,568	10	18	3,560	15	15	3,560	6	46	3,520
331-C	2,426	60	25	2,461	15	24	2,452	17	13	2,456	11	8	2,459	14	7	2,466	11	20	2,457
332-A	2,428	25	31	2,422	19	15	2,426	8	6	2,428	19	14	2,433	9	7	2,435	4	15	2,424
332-B	2,046	26	23	2,049	16	13	2,052	34	11	2,075	20	11	2,084	11	6	2,089	10	21	2,078
332-C	2,014	27	16	2,025	16	20	2,021	12	12	2,021	15	9	2,027	9	13	2,023	5	28	2,000
332-D	2,509	31	41	2,499	22	15	2,506	4	10	2,500	29	10	2,519	5	10	2,514	12	23	2,503
332-E	2,251	31	34	2,248	7	13	2,242	7	10	2,239	5	9	2,235	14	12	2,237	13	25	2,225
332-F	1,809	26	37	1,798	9	8	1,799	11	10	1,800	10	5	1,805	11	7	1,809	4	16	1,797
333-A	5,618	46	56	5,608	35	28	5,615	22	34	5,603	17	20	5,600	22	30	5,592	14	46	5,560
333-B	4,695	35	48	4,682	19	32	4,669	48	27	4,690	25	19	4,696	13	25	4,684	31	37	4,678
333-C	3,647	59	45	3,661	22	19	3,664	14	19	3,659	58	21	3,696	17	7	3,706	12	27	3,691
334-A	6,413	67	52	6,428	28	28	6,428	21	32	6,417	40	12	6,445	19	16	6,448	15	83	6,380
334-B	4,534	39	40	4,533	30	17	4,546	18	15	4,549	16	16	4,549	38	17	4,570	12	57	4,525
334-C	3,866	58	55	3,869	21	26	3,864	11	13	3,862	21	15	3,868	18	17	3,869	15	45	3,839
334-D	4,679	52	32	4,699	32	35	4,696	20	16	4,700	14	17	4,697	16	16	4,697	15	34	4,678
334-E	2,625	26	23	2,628	22	12	2,638	17	6	2,649	33	15	2,667	10	5	2,672	21	26	2,667
335-A	3,714	25	13	3,726	16	27	3,715	11	40	3,686	19	17	3,688	18	20	3,686	11	105	3,592
335-B	7,790	35	27	7,798	60	29	7,829	47	29	7,847	67	39	7,875	32	25	7,882	59	124	7,817
335-C	4,985	50	29	5,006	18	19	5,005	43	33	5,015	15	22	5,008	21	25	5,004	21	35	4,990
335-D	2,752	24	23	2,753	8	7	2,754	22	10	2,766	15	11	2,770	4	7	2,767	2	45	2,724
336-A	6,931	113	95	6,949	76	32	6,993	52	33	7,012	50	59	7,003	24	27	7,000	53	88	6,965
336-B	4,443	43	67	4,419	35	36	4,418	13	34	4,397	33	56	4,374	17	15	4,376	21	49	4,348
336-C	4,427	47	50	4,424	33	28	4,429	26	22	4,433	26	34	4,425	20	17	4,428	17	52	4,393
336-D	4,313	59	75	4,297	17	21	4,293	33	18	4,308	36	15	4,329	26	15	4,340	28	37	4,331
337-A	5,466	83	45	5,504	42	49	5,497	35	45	5,487	29	23	5,493	28	38	5,483	28	95	5,416
337-B	3,441	43	46	3,438	25	22	3,441	37	27	3,451	35	27	3,459	26	16	3,469	15	34	3,450
337-C	3,295	51	44	3,302	51	19	3,334	21	23	3,332	34	15	3,351	32	22	3,361	17	27	3,351
337-D	4,815	81	79	4,817	39	30	4,826	18	31	4,813	28	24	4,817	26	26	4,817	43	81	4,779
合　計	129,870	1,604	1,402	130,072	870	738	130,204	789	701	130,292	821	652	130,461	602	539	130,524	593	1,504	129,613

統計Ⅱ　日本のライオンズ

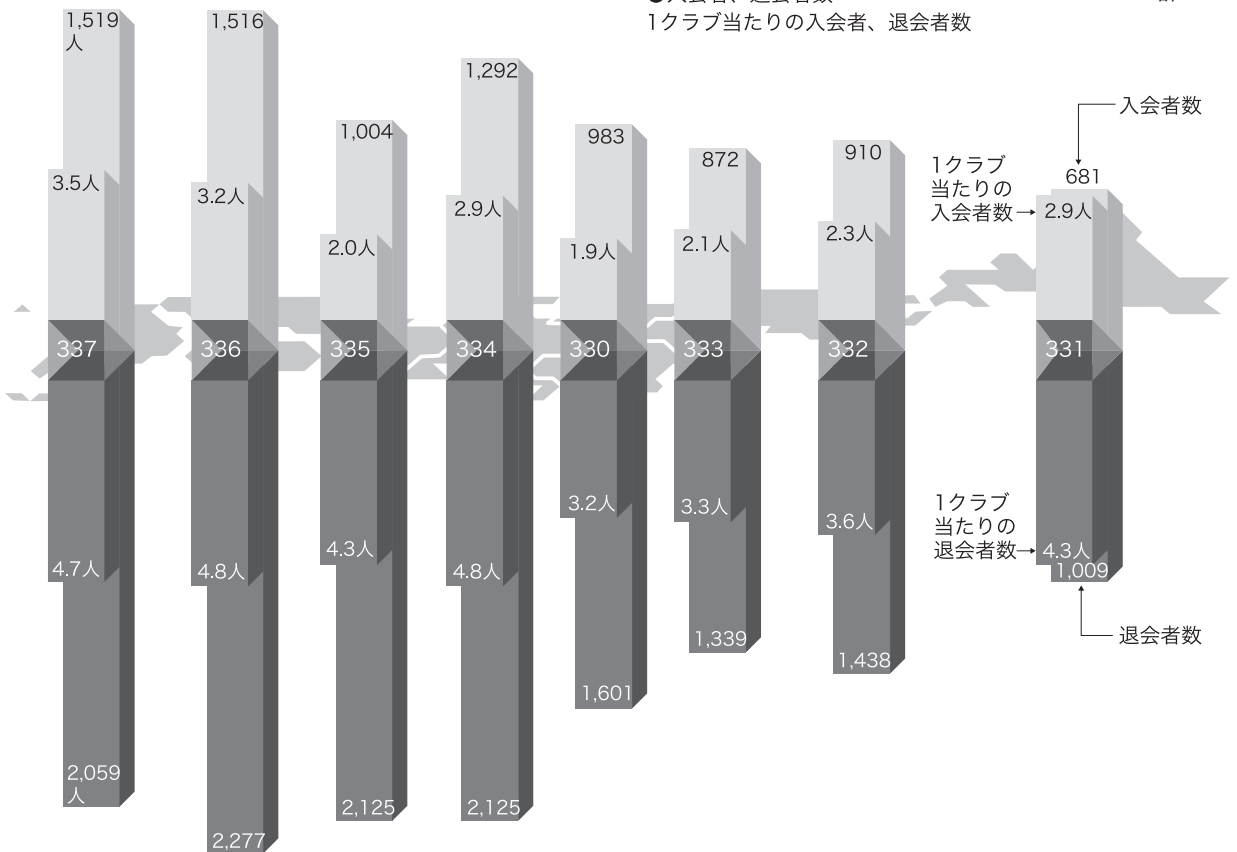
複合地区別会員動態

［二〇〇四年六月三十日現在］ 国際本部集計

昨年度の日本ライオンズの会員減少は一クラブ平均一・五人

国際協会集計による昨年度の日本ライオンズの会員動態を見てみよう。新クラブ結成を除いた既存クラブの入退会者は日本全体で、平均二・六人の入会、同四・一人の退会で、一クラブ当たり一・五人が減少したことになる。複合地区別に見ると、335複合地区が一クラブ当たり二・三人の減少で、全国平均をかなり上回っている。

また、一クラブ当たりの平均会員数を比べてみると、最も多いのは334複合地区の四十七・八人で、以下336複合地区四十一・四人、337複合地区三十八・〇人、335複合地区三十六・七人と続いている。逆に平均会員数が少ないのは330複合地区の二十九・五人、次いで332複合地区三十一・二人。全体では、前年度は三十八・八人だった平均会員数が三十六・七人となり、一・一人の減少となった。

●入会者、退会者数・
1クラブ当たりの入会者、退会者数

	新入・再入会	退会	純増	チャーター・メンバー	純増 ※含新クラブ	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数	平均会員数 ※含新クラブ	転籍	年度末会員数	年度末クラブ数
330複合地区	983	1,601	△618	131	△487	1.9	3.2	29.1	29.5	43	14,886	505
331複合地区	681	1,009	△328	113	△215	2.9	4.3	36.6	36.4	30	8,776	241
332複合地区	910	1,438	△528	125	△403	2.3	3.6	31.3	31.2	55	12,654	405
333複合地区	872	1,339	△467	100	△367	2.1	3.3	33.2	33.3	24	13,593	408
334複合地区	1,292	2,125	△833	165	△668	2.9	4.8	48.0	47.8	22	21,449	449
335複合地区	1,004	2,125	△1,121	439	△682	2.0	4.3	36.6	36.7	32	18,559	506
336複合地区	1,516	2,277	△761	165	△596	3.2	4.8	41.1	41.4	73	19,518	472
337複合地区	1,519	2,059	△540	77	△463	3.5	4.7	37.7	38.0	58	16,554	436
合計	8,777	13,973	△5,196	1,315	△3,881	2.6	4.1	36.7	36.8	337	125,989	3,422

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

入退会者調査

［二〇〇四年九月～十月］
ライオン誌日本語版事務所集計

退会者の約四分の一が在籍三年未満の会員

　国内の全クラブを対象に実施したクラブ・アンケートの結果から、二〇〇三・〇四年度の入退会者の実像を探る。

　新会員の年齢層は五十歳代の三八・六％、四十歳代の二七・二％で全体の六五・八％を占める。各年代層とも前年度とほぼ同じだが、十年前には四、五十歳代が約八割、六、七十歳代が約一割だったのと比べると、既存会員の年齢と共に新会員の年齢も上がってきている。

　退会者の在籍年数は短いほど割合が高く、在籍年数三年未満が二三％と全体の約四分の一、五年以内だと四割近くを占めている。退会理由は昨年と比べ、仕事上の理由が約三ポイント減り、健康上の理由がその分増加した。それ以外の理由については、大きな変動はなかった。

調査時期／2004年9月10日～10月12日
調査対象／全国 3,411クラブ
回答数／1,368クラブ
回収率／40.1％
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

Q1. 昨年度（2003-04年度）中に入会した新会員の年齢層。

1. 20歳代	46	1.2%
2. 30歳代	369	9.2%
3. 40歳代	1,093	27.2%
4. 50歳代	1,552	38.6%
5. 60歳代	797	19.8%
6. 70歳以上	162	4.0%

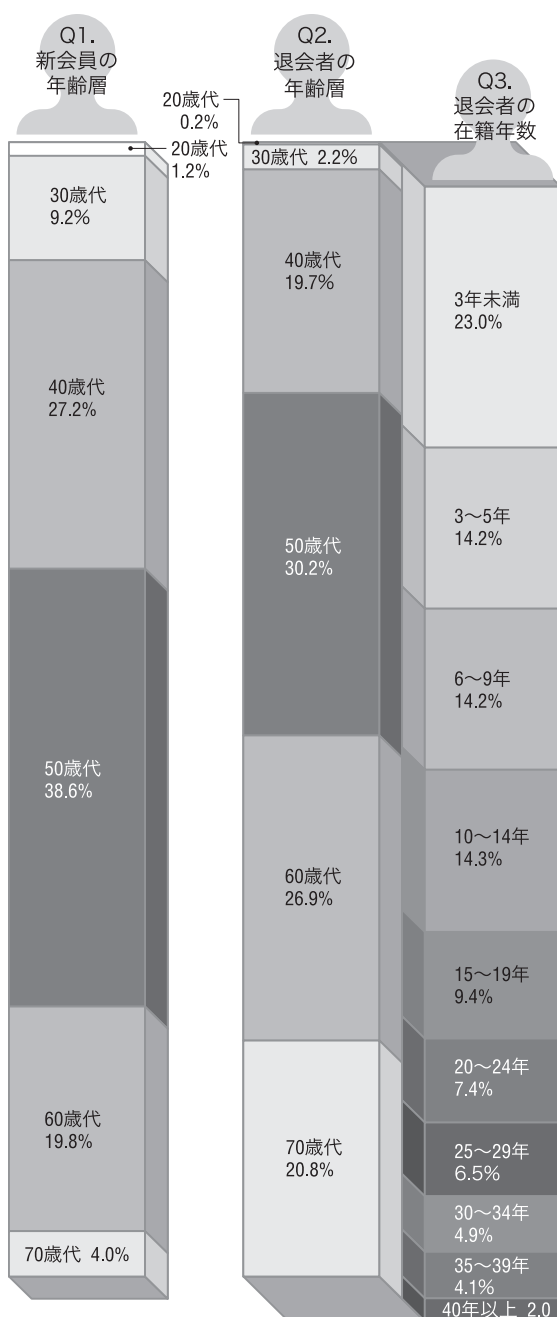
Q2. 昨年度（2003-04年度）中に退会した会員の年齢層。

1. 20歳代	9	0.2%
2. 30歳代	121	2.2%
3. 40歳代	1093	19.7%
4. 50歳代	1,670	30.2%
5. 60歳代	1,490	26.9%
6. 70歳以上	1,153	20.8%

Q3. 昨年度（2003-04年度）中に退会した会員の在籍年数。

1. 3年未満	1,146	23.0%
2. 3～5年	710	14.2%
3. 6～9年	707	14.2%
4. 10～14年	715	14.3%
5. 15～19年	469	9.4%
6. 20～24年	371	7.4%
7. 25～29年	322	6.5%
8. 30～34年	243	4.9%
9. 35～39年	206	4.1%
10. 40年以上	101	2.0%

Q4. 昨年度（2003-04年度）中に退会した会員の退会理由。

1. 死亡	458	9.2%
2. 健康上の理由	933	18.8%
3. 仕事上の理由	1,724	34.7%
4. 長期欠席	208	4.2%
5. 他の会員との不和	29	0.6%
6. 他クラブへの転籍	88	1.8%
7. 転勤・転居	464	9.3%
8. 引退・代替わり	104	2.1%
9. その他	906	18.2%

クラブ・アンケート

[二〇〇四年九月〜十月]
ライオン誌日本語版事務所集計

年会費は十五万円未満が増加、五万円未満は昨年の一・六倍

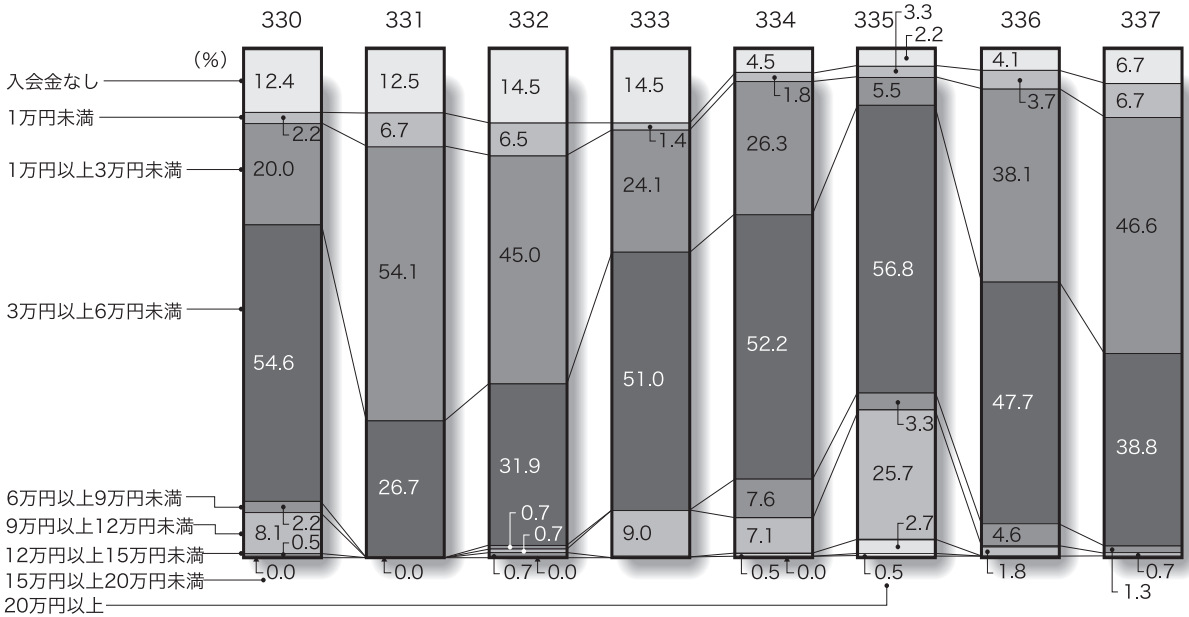
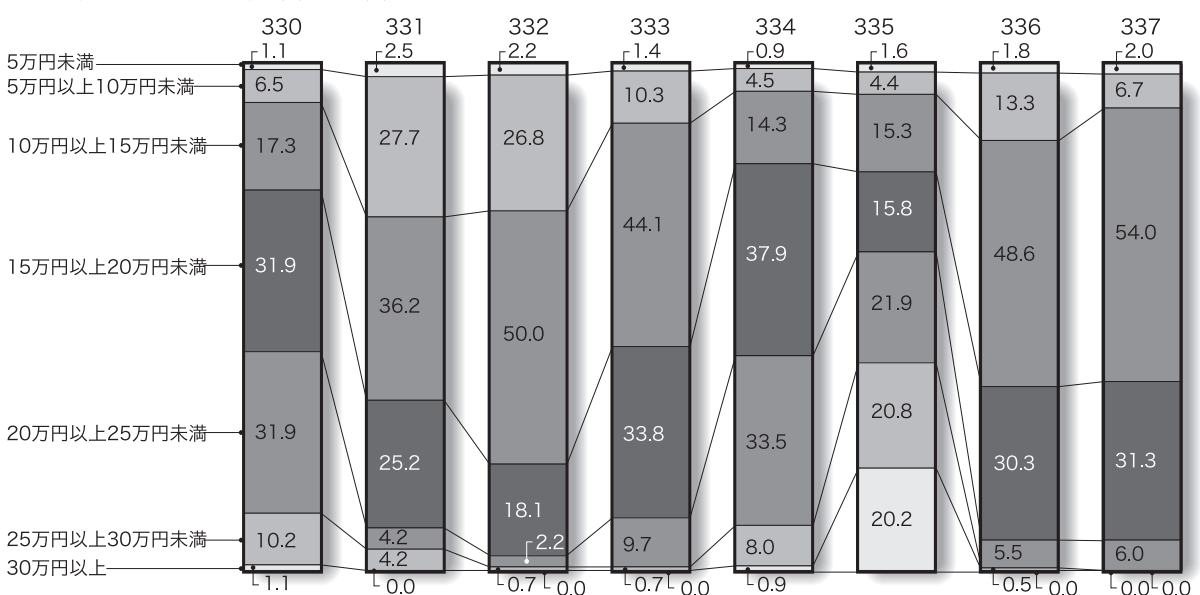
全国三千四百十一クラブを対象に本誌が実施したアンケート（回収率四〇・一パーセント）の結果から、昨年度の入会金及び年会費の現状を探る。

入会金は昨年同様、三万円以上六万円未満がトップ、一万円以上三万円未満が第二位で、割合についても大きな変化はない。入会金なしは昨年より二・五ポイント、一万円未満は〇・七ポイントそれぞれ増加した。

年会費は十万円以上十五万円未満が前年度比二・六ポイント増、五万円以上十万円未満が二・七ポイント増、五万円未満が〇・六ポイント増となった分、十五万円以上の四区分はいずれもポイントを下げた。地域的な特徴としては、入会金、年会費とも335複合地区のクラブはやや高額域に分布。

Q5. 現在、貴クラブの入会金はいくらですか。

(%)
入会金なし
1万円未満
1万円以上3万円未満
3万円以上6万円未満
6万円以上9万円未満
9万円以上12万円未満
12万円以上15万円未満
15万円以上20万円未満
20万円以上

330: 12.4 / 2.2 / 20.0 / 54.6 / 2.2 / 8.1 / 0.5 / 0.0
331: 12.5 / 6.7 / 54.1 / 26.7 / 0.0
332: 14.5 / 6.5 / 45.0 / 31.9 / 0.7 / 0.7 / 0.7 / 0.0
333: 14.5 / 1.4 / 24.1 / 51.0 / 9.0
334: 4.5 / 1.8 / 26.3 / 52.2 / 7.6 / 7.1 / 0.5 / 0.0
335: 3.3 / 2.2 / 5.5 / 56.8 / 3.3 / 25.7 / 2.7 / 0.5
336: 4.1 / 3.7 / 38.1 / 47.7 / 4.6 / 1.8
337: 6.7 / 6.7 / 46.6 / 38.8 / 1.3 / 0.7

Q6. 今年度の貴クラブの年会費は例会費などすべて含めていくらですか。

ＩＴ活用広がる。Ｅメールは約七割が利用

クラブ業務におけるインターネット利用状況についての調査。郵送費や通信費の削減、また情報伝達のスピードといった利便性から、どの地区でもＩＴ活用を推し進めており、その成果が現れる結果となった。前年度と比べると、Ｅメールの送受信を行っているクラブは六・一ポイント増、国際協会への報告書提出は一一・〇ポイント増、地区への報告は一二・一ポイント増、ライオン誌への報告は一八・三ポイント増と大きな変化を遂げた。地域別に見ると、335複合地区は昨年既にＩＴ化がほぼ完了していたが、今年は334複合地区もこれに並んだ。また、337複合地区の進歩は目覚ましく、各種報告書提出については三〇～五〇ポイント増を遂げた。一方、331、332の各複合地区では、報告書提出に活用するクラブは一〇～二〇ポイント増えているが、インターネットを利用していないと答えたクラブの割合は、昨年からほぼ横ばいとなった。

Q5. 現在、貴クラブの入会金いくらですか。

1. 入会金なし	114	8.4%
2. 1万円未満	49	3.6%
3. 1万円以上3万円未満	421	30.9%
4. 3万円以上6万円未満	633	46.5%
5. 6万円以上9万円未満	40	2.9%
6. 9万円以上12万円未満	97	7.1%
7. 12万円以上15万円未満	2	0.1%
8. 15万円以上20万円未満	6	0.4%
9. 20万円以上	1	0.1%

Q6. 今年度の貴クラブの年会費はいくらですか。

1. 5万円未満	22	1.6%
2. 5万円以上10万円未満	154	11.3%
3. 10万円以上15万円未満	455	33.4%
4. 15万円以上20万円未満	390	28.7%
5. 20万円以上25万円未満	217	15.9%
6. 25万円以上30万円未満	83	6.1%
7. 30万円以上	41	3.0%

Q7. 固定の事務局がありますか。

ある：単独事務局	875	64.2%
ある：合同事務局	411	30.2%
ない	77	5.6%

Q8. 専任の事務局員がいますか。

いる：1人が1クラブを担当	1,010	74.3%
いる：1人が複数クラブを担当	225	16.5%
いない	125	9.2%

Q9. インターネットで行っているクラブ運営業務（複数回答可）。

Q9. インターネットで行っている運営業務（複数回答可）

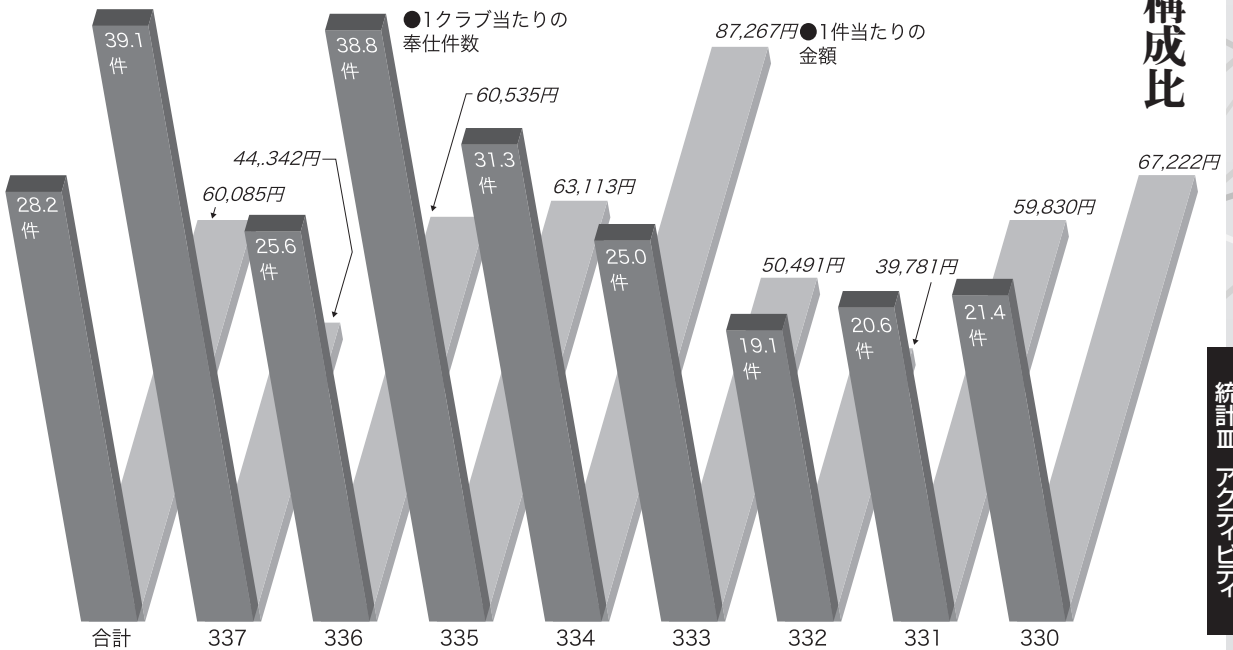
	330(%)	331(%)	332(%)	333(%)	334(%)	335(%)	336(%)	337(%)	全国平均(%)
Eメール送受信（通信事務）	53.2	38.8	41.7	59.3	92.4	94.0	78.0	67.3	68.8
国際協会への報告書提出	45.7	26.4	43.2	75.2	90.6	95.1	75.2	66.0	67.8
地区への報告書提出	27.7	33.1	41.7	62.8	94.6	97.3	69.3	81.3	66.1
ライオン誌日本語版事務所への月例報告書提出	42.0	41.3	38.1	51.7	76.8	74.9	63.8	74.7	59.7
ホームページ閲覧	43.1	22.3	30.2	52.4	64.3	68.3	64.2	46.0	51.5
ホームページ制作	19.1	9.1	7.2	25.5	35.3	24.0	25.2	15.3	21.6
その他	4.8	1.7	3.6	7.6	3.1	4.9	3.7	5.3	4.3
利用していない	19.7	43.8	41.7	15.9	1.8	0.5	14.7	13.3	16.7

アクティビティ地区別構成比

〔二〇〇三・〇四年度集計〕

ライオン誌日本語版事務所集計

日本ライオンズのアクティビティは総額約五十八億円

ライオン誌日本語版事務所が各クラブからの会員並びにクラブ活動状況報告書を基に集計した二〇〇三・〇四年度の日本ライオンズのアクティビティは、九万六千四百八十五件、総額五十七億九千七百二十五万五千二百八十二円だった。前年度に比べると件数は約一万二千件（一四パーセント）、金額では約二億三千万円（四パーセント）増加した。ただし昨年度は前年度比で件数一七パーセント、金額二二パーセント減だったので、幾分持ち直したというところだ。今年は件数の増加率が金額のそれを大きく上回った結果、一クラブ当たりの年間活動件数は前年度から三・三件増の二十八・二件、一件当たりの金額は五千六百三十七円減の六万八十五円。グラフ及び表組みで地区別に構成比を出してみた。

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
330	330-A	4,144	20.7	336,989,181	81,320
	330-B	4,707	24.4	290,339,957	61,683
	330-C	1,938	17.3	97,928,107	50,530
小計		10,789	21.4	725,257,245	67,222
331	331-A	1,785	22.9	124,442,300	69,716
	331-B	1,681	16.6	116,820,768	69,495
	331-C	1,496	24.1	55,614,125	37,175
小計		4,962	20.6	296,877,193	59,830
332	332-A	1,005	14.8	48,606,578	48,365
	332-B	1,539	27.0	55,522,416	36,077
	332-C	1,691	19.9	69,422,510	41,054
	332-D	1,612	19.4	56,741,435	35,199
	332-E	1,050	19.1	45,205,509	43,053
	332-F	825	14.5	31,687,862	38,410
小計		7,722	19.1	307,186,310	39,781
333	333-A	3,529	24.9	156,796,102	44,431
	333-B	3,697	26.4	196,706,444	53,207
	333-C	2,961	23.5	160,853,441	54,324
小計		10,187	25.0	514,355,987	50,491
334	334-A	3,372	28.3	500,593,773	148,456
	334-B	2,675	29.1	245,207,837	91,666
	334-C	2,366	28.2	134,390,271	56,801
	334-D	3,127	31.6	183,270,911	58,609
	334-E	2,518	45.8	163,333,996	64,867
小計		14,058	31.3	1,226,796,788	87,267
335	335-A	4,393	37.9	237,119,939	53,977
	335-B	6,232	31.6	505,210,347	81,067
	335-C	6,855	55.3	381,961,275	55,720
	335-D	2,161	31.3	115,317,372	53,363
小計		19,641	38.8	1,239,608,933	63,113
336	336-A	3,937	25.7	221,993,492	56,386
	336-B	2,369	23.2	147,815,247	62,396
	336-C	3,239	30.3	227,982,277	70,387
	336-D	2,539	23.1	133,709,415	52,662
小計		12,084	25.6	731,500,431	60,535
337	337-A	6,296	53.4	318,097,297	50,524
	337-B	3,512	37.4	120,789,725	34,393
	337-C	2,751	32.8	120,242,950	43,709
	337-D	4,483	32.0	196,542,423	43,842
小計		17,042	39.1	755,672,395	44,342
合計		96,485	28.2	5,797,255,282	60,085

主要アクティビティ構成比

［二〇〇三・〇四年度集計］　ライオン誌日本語版事務所集計

日本ライオンズの最大アクティビティは青少年関係

各クラブからの月例報告を元に集計した日本ライオンズのアクティビティのうち、件数、金額共最も多かったのは今年も青少年関係のアクティビティで、一万八千三百九十九件（全体の一九・一％）、十三億九千六百四十三万五千五百四十二円（同二五・三％）だった。以下、件数では献血一万三千八百十件（一四・三％）、環境保全一万八百八十四件（一一・三％）と続き、金額ではLCIFが六億七千六百四十一万五千七百四円（一一・七％）、環境保全五億五千六百五十五万六千二円（九・六％）で、上位四位までは昨年度と同じ項目。青少年交換は、〇三年度夏季YEがSASRの影響で派遣、受け入れ共中止になったため、前年度より約一億千万円減少した。

●項目別件数
件数合計
96,485件

骨髄バンク　434●0.4%
献腎　469●0.5%
国際援助　2,540●2.6%
高齢者福祉　2,974●3.1%
献眼　3,140●3.3%
青少年交換　3,296●3.4%
LCIF　3,482●3.6%
資金調達　3,719●3.9%
障害者福祉　6,460●6.7%
環境保全　10,884●11.3%
献血　13,810●14.3%
青少年関係　18,339　●19.1%
その他　26,878●27.8%

●項目別金額
金額合計
5,797,255,282円

資金調達　0●0.0%
献腎　8,003,338●0.1%
骨髄バンク　18,983,318●0.3%
献眼　73,765,107●1.3%
青少年交換　158,437,515●2.7%
高齢者福祉　167,292,245●2.9%
国際援助　253,112,121●4.4%
献血　276,855,448●4.8%
障害者福祉　484,276,840●8.4%
環境保全　556,556,002●9.6%
LCIF　676,415,704●11.7%
青少年関係　1,396,435,542　●24.1%
その他　1,727,122,102　●29.7%

献血・献眼・献腎

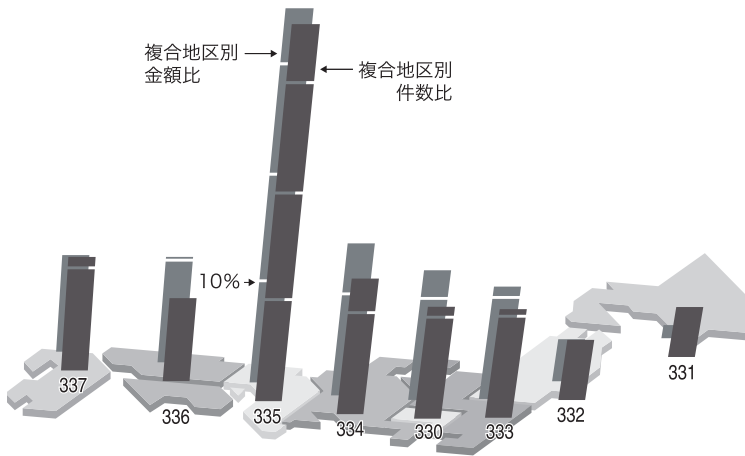
［二〇〇三－〇四年度集計］
ライオン誌日本語版事務所集計

献血約一万三千八百件、献眼約三千件、献腎約四百六十件

●昨年度一年間に実施された日本ライオンズの献血奉仕は、前年度に比べて件数で一一・三パーセント、金額では六・六パーセント増加した。また献血者数は二百cc、成分献血が一五パーセント減少、四百ccのみ八パーセント増加した。

●献眼は件数のみほぼ横ばいで、金額、アイバンク登録者、角膜提供者共一〇数パーセント減少した。アイバンク協会でもここ四、五年の登録者は十年前の半分以下まで減少しており、ライオンズの一層の努力が望まれる。

●献腎は件数で対前年度二五・一パーセント減、金額で六・七パーセント減、登録者三二・六パーセント減となったが、提供者は九人（二二五・〇パーセント増）と倍増した。金額では334複合地区、提供では336複合地区の活躍が目立った。

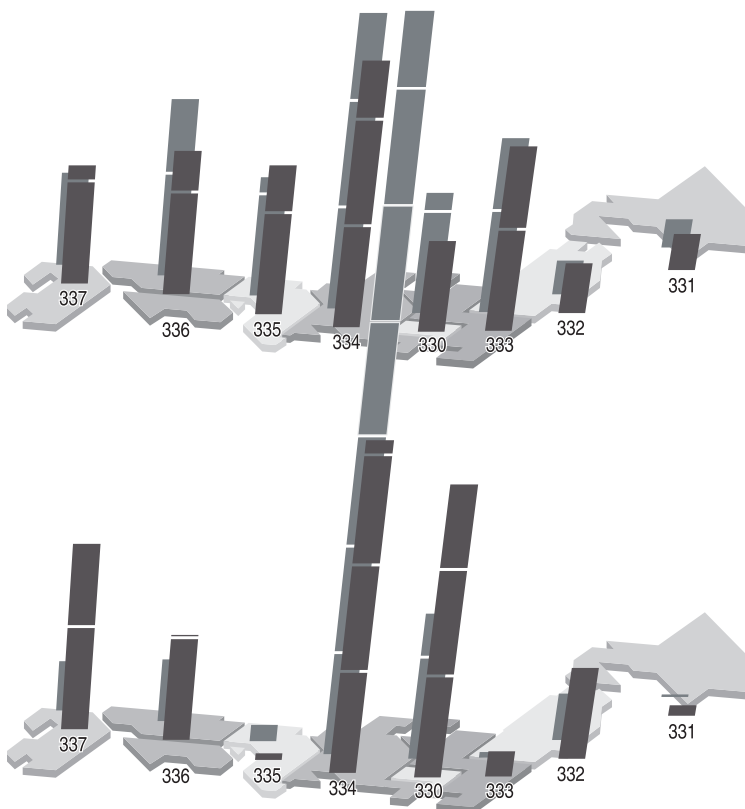
複合地区別金額比
複合地区別件数比
10%

献血

複合地区	件数	金額	200cc献血/人	400cc献血/人	成分献血/人
330	1,518	36,682,886	19,295	54,287	10,558
331	673	4,510,701	9,016	18,903	2,059
332	819	11,200,471	11,341	15,147	3,176
333	1,440	30,620,305	23,157	42,236	10,509
334	1,875	41,749,765	21,418	52,938	12,846
335	4,887	97,396,302	64,781	139,186	72,056
336	1,079	28,025,808	17,743	31,974	6,814
337	1,519	26,669,210	19,263	59,166	7,047
合計	13,810	276,855,448	186,014	413,837	125,065

献眼

複合地区	件数	金額	アイバンク登録者	角膜提供者
330	265	8,635,669	2,205	36
331	114	2,288,347	924	2
332	159	2,600,317	216	1
333	546	12,322,570	3,090	50
334	796	20,702,065	4,100	150
335	457	8,433,776	121	2
336	436	12,185,829	2,142	36
337	367	6,596,534	2,271	39
合計	3,140	73,765,107	15,069	316

献腎

複合地区	件数	金額	腎バンク登録者	腎臓提供者
330	130	1,150,243	1,007	1
331	5	9,100	28	0
332	42	390,392	7	0
333	11	68,000	219	0
334	149	5,347,279	1,073	2
335	4	155,700	22	0
336	47	495,662	515	4
337	81	386,962	892	2
合計	469	8,003,338	3,763	9

骨髄バンク・青少年関係・高齢者福祉

［二〇〇三・〇四年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

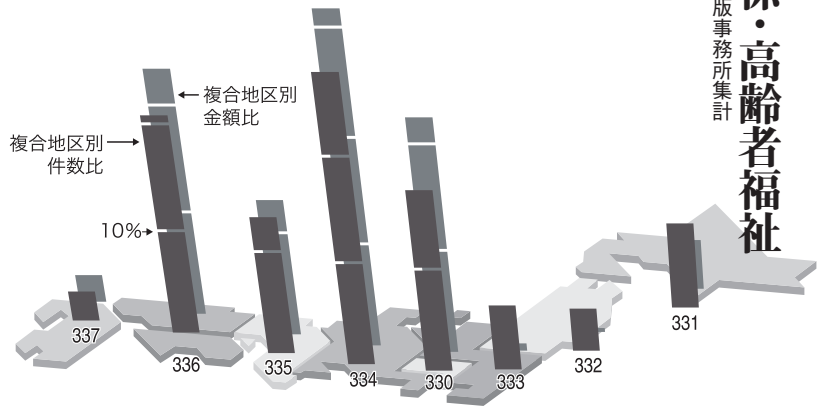
骨髄約四五十百件、青少年一万八千五百件、高齢者三千件

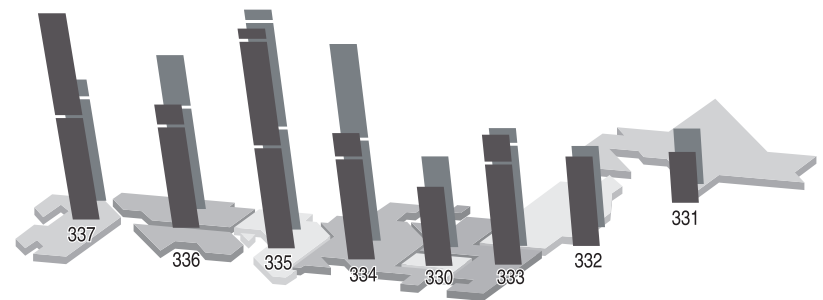
●骨髄バンクは、件数で対前年度比一三・九パーセント増、金額で四・八パーセント減、登録者数は五六・八パーセント増、そして提供は三人で昨年の三倍となった。金銭よりも労力をつぎ込んで大きな成果を挙げた。

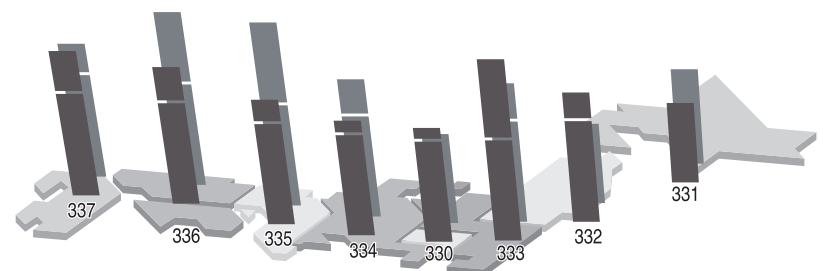
●青少年関係は今年も件数、金額ともトップで一万八千三百九十九件（対前年度比七・〇パーセント増）、十三億九千六百四十三万五千五百四十二円（〇・七パーセント減）となった。複合地区別に見ても、全地区が最も力を入れるアクティビティとなっている。

●高齢者福祉は件数で対前年度比〇・二パーセント増、金額では七・三パーセント減で、項目別順位は件数では据え置き、金額で八位から七位に浮上したが、青少年交換が下がったという要因もある。

骨髄バンク

複合地区	件数	金額	骨髄バンク登録者	骨髄提供者
330	74	4,199,981	422	0
331	36	936,137	1	0
332	18	81,000	0	0
333	26	160,000	151	0
334	120	6,021,507	348	0
335	60	2,605,879	191	3
336	87	4,474,014	11	0
337	13	504,800	38	0
合計	434	18,983,318	1,162	3

青少年関係

複合地区	件数	金額
330	1,486	124,930,650
331	935	75,085,623
332	1,549	103,111,335
333	2,420	163,281,695
334	2,343	265,252,594
335	3,823	290,303,565
336	2,219	208,978,849
337	3,624	165,491,231
合計	18,399	1,396,435,542

高齢者福祉

複合地区	件数	金額
330	332	14,451,534
331	218	15,321,325
332	387	12,871,737
333	507	23,366,464
334	337	22,991,178
335	367	28,543,496
336	402	28,004,067
337	424	21,742,444
合計	2,974	167,292,245

障害者福祉・環境保全・国際援助

［二〇〇三・〇四年度集計］
ライオン誌日本語版事務所集計

障害者福祉約六千五百件、環境保全約一万九百件、国際援助約二千五百件

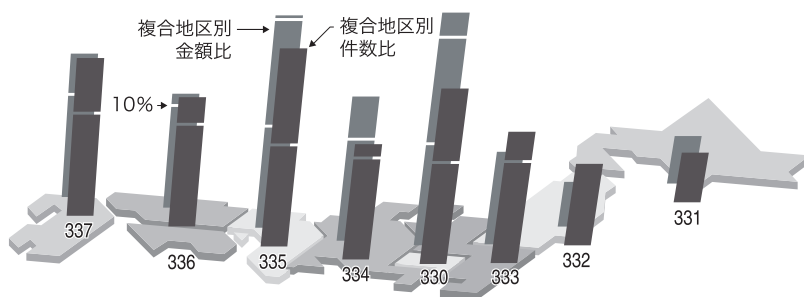
●障害者福祉事業は六千四百六十件（対前年度比九・二パーセント増）、四億八千四百七十二万六千八百四十円（一五・一パーセント増）と金額では全項目内で最高の伸び率となった。二〇〇五年に長野で開催されるスペシャルオリンピックスへの協力も反映しているようだ。

●環境保全活動は件数で対前年度比一六・四パーセント減、金額では三・七パーセント増。項目別順位では件数、金額とも第三位に入った。清掃、植樹など各クラブが継続的に力を入れているアクティビティが多い。

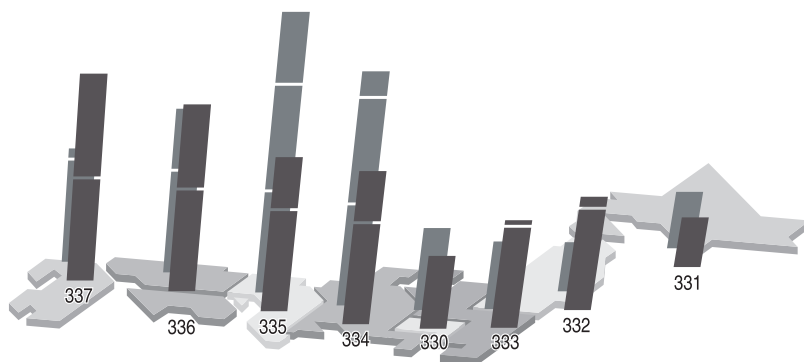
●国際援助は件数で対前年度比一九・九パーセント増、金額でも一二・六パーセント増。件数、金額とも大幅増だが、昨年の減少が大きかった反動がある。

障害者福祉

複合地区	件数	金額
330	1,078	107,550,371
331	291	22,510,013
332	515	22,507,842
333	829	44,927,877
334	728	68,692,462
335	1,246	98,449,911
336	806	52,797,489
337	967	66,840,875
合計	6,460	484,276,840

複合地区別金額比
複合地区別件数比
10%
337 336 335 334 330 333 332 331

環境保全

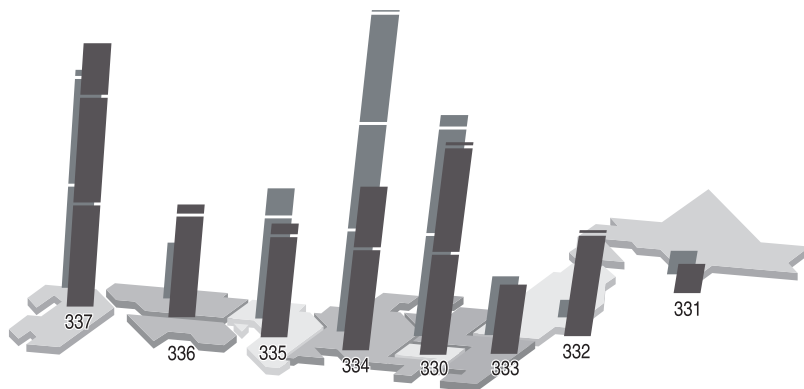
複合地区	件数	金額
330	743	44,442,453
331	504	30,207,962
332	1,183	26,240,852
333	1,126	36,340,461
334	1,595	125,015,025
335	1,615	146,557,920
336	1,966	87,886,010
337	2,152	59,865,319
合計	10,884	556,556,002

337 336 335 334 330 333 332 331

国際援助

複合地区	件数	金額
330	514	53,085,430
331	75	5,567,157
332	259	4,715,283
333	164	14,853,775
334	404	76,601,746
335	278	32,608,264
336	276	13,794,099
337	570	51,886,367
合計	2,540	253,112,121

337 336 335 334 330 333 332 331

YE・LCIF・資金調達

［二〇〇三・〇四年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

YE約三千三百件、LCIF三千五百件、資金調達三千七百件

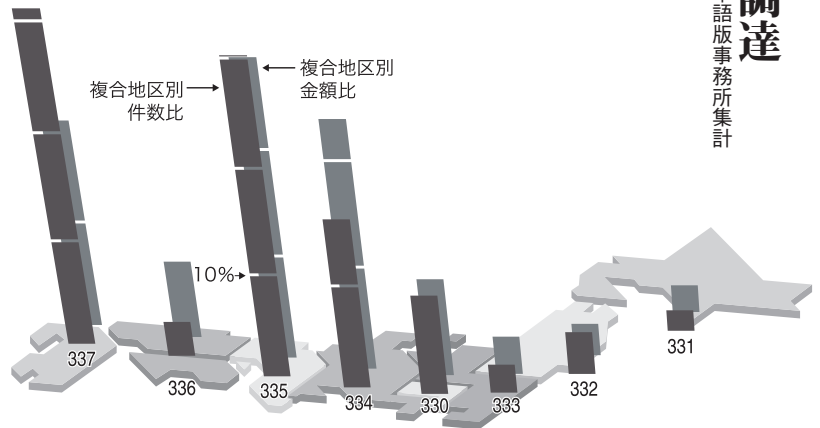
●青少年交換（YE）の件数は対前年度比二五・八%減、金額でも四一・〇%減だった。SARSの影響で〇三年夏季YEが派遣、受け入れ共に中止になったことが大きい。

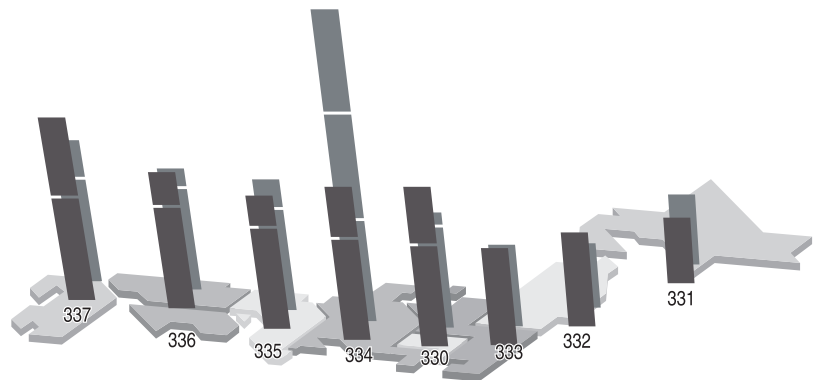
●ライオンズクラブ国際財団（LCIF）へのアクティビティは、件数で対前年度比三・七%増、金額は七・一%、約五千二百万円の減となった。一クラブ当たりに換算すると年間約一万五千円の減少。

●資金調達は件数が前年度比三一・七%と大幅増、獲得金額は二・〇%増。今年のアンケート調査では、クラブ獲得事業費の八割以上を資金獲得事業から得るというクラブが全体の約二〇%を占めた。これは昨年度調査の三倍近い数字。

青少年交換

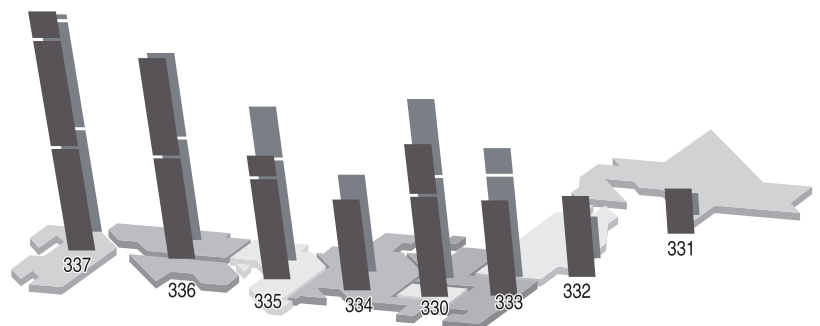
複合地区	件数	金額
330	325	14,871,484
331	69	4,900,295
332	135	5,485,068
333	93	6,127,912
334	539	38,402,814
335	995	45,390,392
336	120	12,282,405
337	1,020	30,977,145
合計	3,296	158,437,515

複合地区別件数比
複合地区別金額比
10%
337
336
335
334
330
333
332
331

LCIF

複合地区	件数	金額
330	544	74,475,170
331	216	46,057,030
332	332	42,293,688
333	339	55,656,812
334	521	199,059,957
335	461	88,501,183
336	463	79,123,467
337	606	91,248,397
合計	3,482	676,415,704

資金調達

複合地区	件数	募金額
330	555	93,645,732
331	164	12,779,921
332	300	22,729,422
333	351	68,128,072
334	346	52,374,784
335	439	81,593,561
336	721	98,546,663
337	843	110,580,701
合計	3,719	540,378,856

NEWS CASSETTE

ライオンズ ニュースカセット

新潟県中越地震 被災地支援活動速報

新潟県中越地震から九日目となる十月三十一日、十九市町村で避難勧告・指示が継続、住民約七万人が避難生活を送る中、国際協会公認ネットワーク「ライオンネット・ジャパン」の呼び掛けで集まった支援物資が、335-A地区の会員により、全村避難が続く山古志村の避難所となっている長岡大手高校に届けられた。参加したのは、ライオンネット・ジャパンの運営管理者の一人、橋本維久夫前335-A地区IT委員長と、その所属クラブ明石魚住ライオンズクラブの有志五人、それに前年度335-A地区IT委員会の浅原保弘副委員長と葉山恵子委員。更に333-C地区IT委員会の高橋昌男委員長、杉山民生特別委員らも千葉県から駆けつけ、現地の長岡ライオンズクラブ会員や高校生ボランティアと共に、搬入を手伝った。一行はその後、六百人の被災者が避難生活をしている新潟大学付属小学校に移動、炊き出し奉仕を行い、被災者に温かいうどんを食べてもらった。また、大阪帝塚山ライオンズクラブも、大阪コスモス・ライオンズクラブの協力を得て、二百三十万円分の支援物資を調達。会員五人が朝早く大阪を発ち、やはり長岡大手高校に支援品を届けた。同クラブは前日まで、山古志村災害対策本部と連絡をとりながら、要望のあった品物を揃えたが、この日も担当者と面談。今後も山古志村を長期的な視点で支援していきたい、としている。

災害義援金の受け入れ口座開設

新潟県中越地震の被災地を抱える333複合地区（鬼木雅治議長）と、台風二十三号による水害の被害を受けた335-D地区（川西建雄ガバナー）が、義援金の受け入れ口座を開設し、支援を要請している。口座は左記の通り。

▼新潟県中越地震／みずほ銀行上野中央支店　普通預金１７８９６４７　口座名「333複合地区ガバナー協議会　鬼木雅治（おにきまさじ）」

▼台風二十三号／姫路信用金庫東支店　普通預金４５９９７００　口座名「ライオンズクラブ国際協会335-D地区キャビネット会計　岸本和男（きしもとかずお）」

国際協会主催の会員増強ワークショップ

十月十五日から十七日、イリノイ州セントチャールズのヒルトン・ガーデン・インで、国際協会主催の会員増強ワークショップが開催された。クレメント・F・クジアク国際会長の招請により各会則地域から、元地区ガバナー、副地区ガバナー、地区会員委員長ら十六人が参加。アメリカ及びその周辺と東洋・東南アジアから各三人、その他の会則地域からは各二人ずつで、日本からは後藤隆一元地区ガバナー（333‐C地区／千葉県・柏）が参加した。ワークショップは協会の委託を受けた外部の専門家のリードで行われ、ブレーンストーミングによって会員増強に関する各会則地域の現状や問題点、可能性を洗い出した。その結果は国際理事会へ答申され、会員増強の施策に生かされることになる。

335‐C地区でライオンズ・クエスト委員長会議開催

ライオンズ・クエスト・プログラムの導入を目指す335‐C地区（内田清一ガバナー／京都・滋賀・奈良）は十月十八日、リーガロイヤルホテル京都において、地区内全クラブを対象にした青少年指導・ライオンズ・クエスト委員長会議を開催した。会議では同プログラムの普及と版権管理を担当する青少年育成支援フォーラム（ＪＩＹＤ）の協力により、実際にライオンズ・クエスト認定講師によるライフスキル教育を体験。子どもの問題行動は日常生活のさまざまな問題に対処する能力の未熟さから生まれる、という同プログラムについて研修した。また、京都市立中学校教育研修会道徳教育部会に、研修費として支援金三十万円を贈呈した。

大岩英雄地区青少年指導・ライオンズ・クエスト委員長は、「青少年犯罪の低年齢化が叫ばれる今、教師だけでなく地域の少年補導委員にもライフスキル教育を身につけてもらいたい」とプログラムの広範な普及に期待を寄せる。335‐C地区では京都市教育委員会の協力を得て、既に八月二十、二十一日に教師や学生が受講する第一回ワークショップを開催。来年二月には第二回を開催する予定。

秋季国際理事会で承認されたＬＣＩＦ交付金

十月十二日から十四日にイリノイ州オークブルックの国際本部で開催された秋季国際理事会で承認されたＬＣＩＦ一般援助交付金は、三九件一七〇万四、八二三ドル。うち日本への交付金（七件総額一六万一、三三四ドル）は以下の通り。▼334‐A地区＝点字ガイドブックの寄贈四万ドル▼337‐C地区＝応急手当て訓練用備品および手当て普及活動車の購入一万六、九八〇ドル▼334‐A地区＝ベトナムで教育資材と信号機、交通安全教材を寄贈二万ドル▼330‐B地区＝ベトナムで保健クリニックを建設一万八、〇〇〇ドル▼330‐B地区＝タイで学校建設一万八、〇四五ドル▼330‐A地区＝障害者用車いすの購入三万ドル▼333‐B地区＝カンボジアで学校建設一万八、三〇九ドル

新年度に入って十五クラブが解散

十月の秋季国際理事会において、二〇〇四年十月付けで日本の十五クラブの解散が承認された。新年度（二〇〇四年度）に入ってからわずか三カ月の間に十五クラブが解散したことになる。例年、クラブの解散は年度末の六月に集中する傾向があるが、年度初めに解散が相次いだのはこれまでにない事態。過去最高の二十二クラブが解散した昨年度でも、同時期の解散クラブ数は四クラブ。今年度はこの四倍近くに上っている。このままで推移すると、今年度の解散クラブ数が過去最高を更新する可能性が濃厚だ。

331・A地区で女性フォーラム開催

十月二日、331・A地区（古谷野環ガバナー／北海道道南）では初の女性フォーラムが開催され、会場となった札幌・狸小路のサッポロライオンに会員約五十人、一般二十人の約七十人が集まった。いかにして女性会員を増やすか、女性会員の役割の二点をテーマに地区女性会員増強及び参加委員会（田原ひさ江委員長）が主催した。フォーラムではまず、

執行役員メッセージ・Executive Officers Message

前国際会長／LCIF理事長
テーサップ・リー

生活の質の向上を目指して

私は世界を旅する中で、LCIFが人々の生活を向上させている様子を目の当たりにしています。貧困地域に建てられた病院や診療所は、多くの人々に医療を提供し、四大交付金を通して弱視検査を受けた子どもたちは、二十五万人を超えています。低価格で質の高い補聴器を開発したことは、最も新しい成果の一つです。またライオンズ・クエスト・プログラムにより、青少年に対する支援も飛躍的に拡大されつつあります。

LCIFを通して、会員は他者の生活にプラスの影響を及ぼしています。今後もたゆむことなく、会員の取り組みを支援していくためには、すべてのクラブが毎年献金を行う必要があります。また個々の会員も献金会員やMJFに名を連ね、LCIFへの献身を示してほしいものです。高まる人類の必要にこたえようとするLCIFに、皆さんはどこまで惜しみなく貢献することが出来るでしょうか。皆さんの支援が、成果を決定することになるはずです。

国際
第1副会長
アショク・メータ

質の高い広報活動を分かち合おう

広報活動の目的は、国際協会が自らの理想を体現する存在であることを、社会の人々に認識させることにあります。NGOは単独では活動出来ず、社会的な評価は人々の期待にこたえようとする活力の根源となるはずです。国際協会の崇高な使命がもたらす成果について、人々の評価と認識を高めることが出来るよう、会員は力を合わせて取り組むべきです。また、その努力が確実に実るよう、自らの活動を厳しく点検する必要もあるでしょう。

国際協会の広報活動には、目指すべき二つの方向があります。その一つは、指導者と会員の動機を高め、それぞれの課題の克服に向けて絶えず努力させることです。もう一つは、可能な限り多くの他者と協力関係を築くことです。これらの目標の達成に向け、世界の至るところで取り組みが展開されることになるでしょう。ライオンズは世界で最も知られざる存在ではなく、社会の進歩をもたらす名高い指導者であるべきです。

国際
第2副会長
ジミー・M・ロス

指導力育成は未来への投資

ビジョンを共有する最も効果的な方法の一つは、国際協会の指導力育成プログラムに参加することです。それはクラブと地区の能力を高め、国際協会が最大限の成果を達成することにつながります。

国際協会では、対話を重視した質の高いセミナーや研究会を提供しています。また、ウェブサイトのライオンズ学習センターも、指導力を身につける機会を提供しています。皆さんはこうした機会を活用して指導力の多様な概念と形態を学び、日常の活動に生かすことが出来るでしょう。最高の指導者となる方法を明確に理解することによって、仲間の会員を励まし、社会にますます奉仕しようとする真の動機が生まれるはずです。

国際協会があらゆる側面において能力を発揮するためには、指導力の強化が不可欠です。会員の一人ひとりが、その機会を最大限に活用しなければなりません。指導力の育成は、会員が責任を分かち合い、「ウィ・サーブ」の理念を実現することにつながります。

古谷野地区ガバナーが女性会員増強を訴えたのに続き、春野守夫元地区ガバナーによる「心の通う温かい地域社会を目指して」、社会福祉法人札幌育児園の千葉徹施設長による「子育て支援の現状―女性会員への期待」の基調講演が行われた。その後、古谷野地区ガバナー、春野元地区ガバナー、千葉施設長をパネリストに参加者と意見交換。女性会員の増加により若い母親への子育て支援も可能になるなど、ライオンズの奉仕と女性会員の活躍に期待が寄せられた。

日本ライオンズのアクティビティ傾向

ライオン誌日本語版事務所が全国の三千四百十一クラブを対象に実施したアンケート（九月～十月実施／回答率四〇・一％）で、今年度（二〇〇四年度）重点目標とするアクティビティを複数回答で挙げてもらい、日本ライオンズのアクティビティの傾向を調査した。結果、第一位は青少年関係で七二・一％のクラブが挙げた。続いて献血六七・二％、地域清掃五〇・一％、障害者福祉三一・七％、自然環境保護一九・九％で、上位五位までは昨年の調査と同じだったが、献血が一・七ポイント減少し、その他の項目は二～三ポイントずつ増加している。去年の八位から六位に浮上した薬物乱用防止は四・二ポイント増で増加率トップ。十年前と比較して変化が顕著なのは、献眼二〇ポイント減、ＬＣＩＦ一九ポイント減、青少年関係一五ポイント増。複合地区別で目につくのは、青少年関係の比率がトップの333複合地区（八四・一％）が、薬物乱用防止（四〇・七％）でもトップ。331複合地区は交通安全（六八・六％）が全国平均（二二・一％）を大きく上回った。

国際大会開催予定

二〇〇五年▼香港（六月二十七日～七月一日）
二〇〇六年▼アメリカ・ニューオーリンズ
二〇〇七年▼アメリカ・シカゴ
二〇〇八年▼タイ・バンコク
二〇〇九年▼アメリカ・ミネアポリス
二〇一〇年▼オーストラリア・シドニー

国連ライオンズ・デーは三月十一日に開催

第二十七回を迎える国連ライオンズ・デーが二〇〇五年三月十一日、ニューヨークの国連本部で開催される。ライオンズ、ライオネス、レオはだれでも参加出来、ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト授賞式のほか、各国国連大使との昼食会や国連ビルの見学ツアーも行われる。ライオンズと国連の関係は、非政府組織（NGO）の憲章作成にNGO代表団の一員として創設者メルビン・ジョーンズらが参加したのに始まり、現在も人道主義分野のプロジェクトで連携を続けている。

国連ライオンズ・デーの参加費用は昼食会込みで百ドル（昼食会なしは六十ドル）。登録締め切りは二〇〇五年二月十八日。公式ウェブサイトにある登録申請書に費用を添え申し込む。詳細は、公式ウェブサイト「その他のプログラム」内の「国際協調プログラム」にある「国連ライオンズ・デー」のページを参照。

国際アカデミー賞のノミネート

来年六月二十七日から七月一日に開催される香港国際大会で、第二回国際アカデミー賞の授賞式が開催される。各会則地域からそれぞれ選ばれる七つの「最優秀クラブ賞」と「地区最優秀賞」、「ベスト・ライオンズ奉仕プロジェクト」、「ベスト・レオ奉仕プロジェクト」、「年間最優秀ライオン賞」の十一カテゴリーがあり、授賞式ではノミネートされた各三人の候補者の中から受賞者が発表される。国際協会は各カテゴリーについて推薦を募集中で、締め切りは十二月三十一日。推薦用紙は公式ウェブサイトの「e・ニュースレター」のページでダウンロード出来る。

ライオンズ環境保全写真コンテスト

写真を通してライオンズの環境保全に対する決意と献身を表現しようと、国際協会が新たにライオンズ環境保全写真コンテストを開催する。応募作品は自然環境の美しさに焦点を当てたもので、都会または自然の景観、動物の生態、植物、気象現象、地球を分かち合おう（今年度特別テーマ）の五分野から一つを選ぶ。人物は対象にならない。まずはクラブ・レベルのコンテストで優秀作を選び、地区、複合地区の審査を経て国際審査へ進む。国際審査へ進んだ作品は、国際大会で展示され大会参加者による審査、投票で六人の優秀者が決定される。詳しいコンテスト情報は、公式ウェブサイト「その他のプログラム」内の「文化・環境」にある「ライオンズ環境保全写真コンテスト」のページを参照。

新結成／解散クラブ

■新結成クラブ

東京吉祥寺▼結成順位／三五六七▼八月二十日結成▼徳竹康憲会長▼事務局／杉並区久我山四・二・六・二二〇（〒168・0082）TEL〇三・三三二四七・四六八一▼スポンサー／東京武蔵野

北海道・函館臥牛▼結成順位／三五六八▼九月一日結成▼石田幸子会長▼事務局／函館市大手町五・一〇　ニチロビル二一一号（〒040・0064）TEL〇一三八・二六・五五五八▼スポンサー／函館元町

東京21世紀▼結成順位／三五六九▼九月二十一日結成▼井出仁会長▼事務局／新宿区西新宿六・六・二　新宿国際ビル六階　◆原瀬建設工業内（〒160・0023）TEL〇三・三三四三・七六八二▼スポンサー／東京新都心

■解散クラブ

（二〇〇四年七月解散）神奈川県・横浜港北／鳥取県・米子南／（十月解散）埼玉県・大宮武

蔵／埼玉県・吉川／埼玉県・宮代／埼玉県・江南ジャンプ21／秋田県・小坂／新潟県・新津秋葉／茨城県・古河東／千葉県・長柄／兵庫県・尼崎ウエスト／兵庫県・神戸摩耶／京都紫野／広島県・大和／山口県・美川本郷／宮崎北／長崎県・愛野吾妻瑞穂

訃報

ライオン梅原亨（山口県・徳山）

十月十七日死去、91歳。六〇年入会。七〇年度302W・4地区ガバナー、七〇年度国際理事。

ライオン納屋嘉治（京都）

十月十四日死去、79歳。五三年入会。二〇〇〇年度335・C地区ガバナー、335複合地区ガバナー協議会議長。

会議録

9月 10月　主な議題だけをまとめました

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第三回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は九月三十日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、Ⅰ①上位ライオンズ・リーダーシップ研究会、②国際役員会員増強運動、③ライオンズ会員増強ワークショップ、④クジアク国際会長公式訪問、Ⅱ①台風18号による北海道の被害、②複合地区委員長連絡会議報告、③その他について協議した。

Ⅰ③は十月十五～十七日にアメリカ・シカゴで開催。後藤隆一元333・C地区ガバナーが出席。

Ⅰ④は二月十五日／京都／335、336、337複合地区。十八日／東京／330、333、334複合地区。二十日／函館／331、332複合地区。

Ⅱ①は大角正治331複合地区議長から被害報告とLCIF緊急援助交付金が交付されたとの報告。また、各地区ガバナーに義援金拠出依頼の文書を送付した旨、了承。

複合地区YE委員長連絡会議

第二回複合地区YE委員長連絡会議は十月十五日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①冬期交換、②二〇〇四・〇五年度YE収支予算、③夏期派遣について協議した。

①は派遣生の人数、日程、旅行代金、共通経費請求、ユニフォーム、保険の確認。来日生の人数と日程の調整、ニュージーランド来日生の不足。

ライオン誌日本語版委員会

第四回ライオン誌日本語版委員会は十月二十二日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①十一月号出来（十月二十一日発行／十二万八千四百部）、②十二月号以降台割と主要記事予定、③公式ウェブサイトの日本語版更新状況、④「ライオンズ・スクール初級編　ライオンズクラブ入門」のPRついて協議した。

②は十二月号THEMEはパネル・ディスカッション「ライオンズクラブの明日を考える」と、「二〇〇三・〇四年度ライオンズクラブ統計」。一月号は「ライオンズ・スクール・中級編」の執筆者三人による鼎談。二月号は「女性会員」。三月号は「リーダーシップ」。四月号「LCIFカンボジア・スタディ・ツアー」。また、一月号からの誌面刷新と各委員担当のピックアップについて。

国際理事だより

■国際理事
石橋　幹雄
（北海道・小樽グリーン）

国際理事会は真剣勝負 全力で戦ってます。

十月六日、秋季国際理事会のためにアメリカ・シカゴに入りました。空港に迎えの車が来ると聞いておりました。もしかしたらと心配しておりましたら、果たして、ものすごく大きなリムジンが来ていました。ノート・パソコンとプリンター、書類、衣服でたいへんな荷物なのです。

ホテルの入口でクジアク会長夫人とお会いし、ごあいさつをしました。次々と国際理事が入ってきます。会長夫人は国際理事たちを出迎えていたのです。その気遣いには感激しました。

チェック・インした後、オークブルックの国際本部に出向き、いくつかの所用を済ませました。既に五日から始まっている委員会もありますが、本格的に始動するのは八日からです。その日の夜は大久保国際理事ご夫妻と夕食を楽しみながら「戦い」に備えました。

朝食は七～十時ですが、私が所属する会則及び付則委員会は八時に会議が始まります。九月中旬に届いた委員会の議題は、なんと電話帳ほどの厚さでした。とりあえず読むしかありません。必要最低限の書類を翻訳し、会議に備えました。

ウォルター・R・ウォール会則委員会委員長（アメリカ）は手際よく会議をリードしていきます。会議室にいるのはパラグアイ、ブラジル、アメリカの委員と元国際会長のムーア国際理事会アポインティー、ドラムヘラー法律部長と三人の通訳、そして私。ある問題で私は猛反対をし、委員長が会議終了後に陪席するから法律部長と話し合えとおっしゃいました。話し合いで理解したと思いましたが、翌日の会議に再度問題が上がってきました。私は緊急動議を提出し反対しました。セコンドがあり、動議に取り上げられ、他の委員から賛同を得て採決は全員一致で私の動議が採択されました。会議中に会員、財務、長期計画の各委員会の方々が会則委員会に来られて賛同を求めました。結局、会則委員会は昼食に行けず、サンドイッチを会議室に持ち込んで審議を続けました。

その夜の「会長家族レセプション」はシアーズ・タワーのクラブで楽しく行われ、早々に終了しました。「夜は報告書を読むように」との注意がありました。

十一日は九時から十七時まで会議です。委員会別に席が並べられ、委員長報告に対して質疑が続きます。反対の意見が出ると、委員会は報告書を訂正するために討議します。

その日の夜は「ヨーロッパの夕べ」と題した仮装パーティーでした。考え悩んだ末、私は吸血鬼になりました。案外と受けたのですが、佳作に終わりました。王様のナイトと、十字軍貴族に扮した方が一位になり賞品をもらいました。

十二日は九時から最終会議です。各委員会が提出した議案を採決します。十一人以上の理事から秘密投票による採決を求められたら、投票用紙が配られます。理事会決議は本誌一月号に掲載されます。

苦しい理事会が終わってＩＯＧＩ（国際役員会員増強運動）の会議がありました。日本では会員増強をどうしているのか。私も大久保理事も被告席にいるみたいでした。

レセプションは「黒と白の夕べ」です。男性は黒のタキシード、女性は白のロングドレスかカクテルドレスとありました。私は愛妻（？）のために白のイブニングドレスを作らせました。しかしマジメにしたがったのは、東洋・東南アジアの理事では私だけでした。

まるごと 331複合地区

Headline ❶ 北海道室蘭中央

Topics ❶ 北海道札幌はまなす
❷ 北海道苫小牧ハスカップ
❸ 331複合地区
❹ 北海道川湯

Service Activities

Make up ❶ 北海道士別
❷ 北海道白老

ふるさと探訪 北海道猿払

祭のある風景 北海道札幌

日本の風景 北海道北広島

ROAR ローア

ヘッドライン：室蘭中央

メーク･アップ1：士別

メーク･アップ2：白老

ふるさと探訪：猿払

祭りのある風景：札幌

三年前、「室蘭焼き鳥」を表舞台に登場させたクラブが、またもや動き始めた。果たして次なる仕掛けとは?

北海道・室蘭中央ライオンズクラブ

■取材／編集部

室蘭中央ライオンズクラブ（丸山貴陸会長／23人）は今年度、室蘭の新しい楽しみ方を見つけ、市民に提案しようと、「名しょ部会（橋本正敏部会長）」「文学しょ部会（池田歩部会長）」「旨いしょ部会（工藤龍蔵部会長）」の三部会を設置。同クラブは三年前、「室蘭焼き鳥委員会」を設置して、「室蘭焼き鳥」という室蘭独特の食文化を全国に発信しており、今回はいわばその第二弾。今度はいったいどんな企画なのだろうか。

本誌二〇〇二年六月号に、こんな記事を掲載した。

「鉄鋼の街として繁栄し、一時は人口十八万人を数えた室蘭だが、鉄冷えと共に人口が減り、現在は約半分の十万人。道内の人たちからは『寂しい街』というイメージで見られるようになってしまった。

そんなイメージを吹き飛ばし、市民に元気を与えたい。室蘭中央ライオンズクラブは、そんな思いで室蘭焼き鳥委員会を発足させ、室蘭焼き鳥という独特の食文化を通して室蘭の良さを再認識してもらおうと活動を始めた」

室蘭焼き鳥というのは、豚肉とタマネギに洋がらしをつけて食べる独特の「焼き鳥」。市内には焼き鳥をメニューに載せている店が、百軒近くあるが、みな豚の精肉を使った「焼き鳥」なのである。

室蘭中央ライオンズクラブが、室蘭焼き鳥にスポットを当てて実施した、この一連のアクティビティは、そのつど新聞やテレビに取り上げられ、大きな反響を呼び起こした。この年、室蘭を含む北海道胆振地方の十大ニュースでは、狂牛病やアメリカ同時多発テロを抑え、室蘭焼き鳥が二位にランクインしたほど。

更には、成果の一つとして、室蘭焼き鳥が、ゆうパック「ふるさと小包」に採用された。焼き鳥ゆうパックはヒット商品の一つになり、年平均約一万個、これまでに三万個を超える注文を得ている。

そして今回、その第二弾として同クラブが提案するのが、名しょ、文学しょ、旨いしょの三部会による新しい試みだ。リジョン・チェアパーソンも経験した丸山会長と、室蘭焼き鳥委員会の仕掛け人で、当時の会長、増岡敏三幹事のコンビが、年度前から構想を練っていた事業である。

かつては肩が触れ合うほどの賑わいを見せ、今はネコも歩かない、日本一寂れた商店街と言われる室蘭に、再び活気を取り戻そう。そのためにはまず、市民自身が楽しめる町づくりをと、室蘭の資源、歴史を掘り起こし、それに脚光を当てることにした。

九月二十七日には市民に呼び掛け、室蘭たのしみづくり発表会を開催。旨いしょ部会は、室蘭の特産うずらの卵とホタテ、タコの薫製を串に刺した「くんなせい」を発表した。釣りが好きで、薫製作りが得意という工藤部会長の発案である。うずらの卵に目を付けたのは、室蘭が、北海道唯一の産地であるため。発表会で試食した市民の反応は上々。女性参加者からは貴重なアドバイスももらえた。工藤部会長は、

「今後、地球岬の土産物屋などでくんなせいをメニューに加えてもらうよう交渉する。室蘭うずら園（佐原功社長・室蘭北斗ライオンズクラブ）も薫製を始めると言っており、既に波及効果が出ている。将来的には鶏肉も薫製にして、例えば親子薫製といったネーミングで売り出したいし、有名

水平線が見渡せる室蘭・地球岬

になったら、うずらの卵の形を模したお菓子も作りたい」と、次々、面白いアイデアを打ち出している。

名しょ部会は九月二十七日の発表会で、測量山の湧水、北炭の社宅跡などをスライドを使って紹介。市民アンケートも行い、市民一人ひとりが持っている心の名所を出してもらい、知られざる室蘭を発掘することに力を入れている。また、鉄の街を象徴するような、新たな名所づくりをクラブ主導で行うことも検討している。

文学しょ部会は、文学館館長、図書館館長ら専門家の意見を聞きながら、室蘭を描いた文学作品とその舞台を、幅広く紹介することを企画。既に候補作三点の絞り込みを終え、年内には、その作品の一節をゆかりの場所に掲示することにしている。

今後の方針を話し合う丸山会長、増岡幹事、橋本名しょ部会長、工藤旨いしょ部会長、池田文学しょ部会長（左から）

❶田宮虎彦『木の実のとき』に登場する貴金属店のモデルとなった店
❷くんなせいと同時に、うずらの薫製卵も室蘭の新名物にしようと提案する
❸名しょ部会では、室蘭の町中に湧き出る天然水を大々的に売り出したいとしている

各部会が提案している企画は既存のものばかりだが、今まで気にしていなかったり、存在自体知らなかったり、という状態だった。「室蘭出身ではないので、これを機に室蘭をもっと知りたい」と話す名しょ部会の橋本部会長のように、企画を進める中で、会員たち自身、室蘭の魅力に改めて気づいたようだ。

こうした展開を受け、丸山会長は「各部会で決定した提案は最終的にリンクさせ、来春にはバスツアーを企画するなど形にしたい」と話す。

増岡幹事曰く「アイデア勝負の金のかからないアクティビティ」というこの事業、考えてみれば、何も室蘭だけでなく、日本全国どこの市町村でも実施出来る。

あなたの町でも、何か部会を作って町の魅力を掘り起こしてみてはいかがだろう。新しいアクティビティのヒントが生まれるはずである。

■室蘭中央ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（80ページ）。

札幌はまなすライオンズクラブ杯全国少年少女ジャンプ大会

北海道・札幌はまなす

札幌はまなすライオンズクラブは、青少年の健全育成を目標に一九七九年に結成された。クラブ継続事業として八一年一月にスタートした札幌はまなすライオンズクラブ杯全国少年少女ジャンプ大会は、今年で二十四回を数えた。

札幌はまなすライオンズクラブ杯 全国少年ジャンプ大会

競技は小学生が二十メートル、中学生が四十メートル級のジャンプ台を使用して行われる。参加者数は最近は八十人前後。最高時には百二十人を上回ったが、少子化の影響もあるのかもしれない。が、隣国ロシアのサハリンからの参加があったり、同大会参加者から、オリンピックを始め多くの国際大会で活躍している原田雅彦、葛西紀明、船木和喜、女子の山田いずみといった一流選手が誕生していることは大きな励みとなっている。

クラブは設備の拡充にも寄与してきた。大会開催当初はプレハブ小屋だった参加者の控え室。八四年にチャーター・ナイト五周年を記念して札幌市に千二百万円を寄贈し、「荒井山はまなすロッジ」を建設した。以来このロッジは二〇〇二年度まで十九年間にわたり使用された。現在は〇三年度に設置されたジャンプ台及びロッジと共に、夏にも練習出来る設備が整えられ、選手の練習量も増えている。今年はクラブ結成二十五周年を記念して、整備費用としてジャンプスポーツ少年団に九十万円を寄贈した。

罪人への刑罰が発祥とされるジャンプ競技。恐怖との戦いでもある。この競技に取り組み、心と体を鍛えて輝く目をした子どもたちが、二〇〇五年一月三日、また荒井山に集う。

情報／峰川晴雄（PR委員長）

野鳥の聖域を守れ　鳥獣保護区保全活動

北海道・苫小牧ハスカップ

野鳥の楽園「ウトナイ湖サンクチュアリ」。一九七八年、日本野鳥の会が、日本で最初の野鳥サンクチュアリとして苫小牧市のこの地を選定、八一年五月に施設が開設された。ウトナイ湖には二百五十種類以上の野鳥が生息し、日本屈指の渡り鳥の中継地としても名高い。八二年には国設鳥獣保護区特別保護区域に指定、九一年ラムサール条約に登録された。野生動物が安全に生息出来るように確保・保護されているこの場所は「人と自然のふれあいの場」であり、「自然教育や調査研究の場」でもある。

苫小牧ハスカップ・ライオンズクラブは結成十周年を迎えた二〇〇一年、開設から二十年を経て老朽化が進んだ同サンクチュアリ内のウトナイ湖観察小屋の改築を行った。現地に車両や重機が入れないため、作業は人海戦術。建材搬入から廃材の運び出しまですべて手作業。しかし苦しい作業はむしろ、「野鳥の聖域を、地球の財産を守るんだ！」とメンバーを熱くさせた。

この熱は記念事業終了後も冷めず意欲は更に増す。既に十五周年に向けて三期計画が進行している。

〇三年度第一期事業はエリア内の案内看板の立て替え。クラブ・メンバー全員がスコップ片手に古くなって腐食した看板をすべて撤去。サンクチュアリ側の要望を聞いて、メンバーの専門業者が制作したカラマツのログ材で作った新しいものに立て替えた。

〇四年度第二期事業は、サ

ンクチュアリ入口からネイチャーセンターに続く「キッツキの小径」の改修だ。長さ二・四㍍、重さ三十㌔の枕木材を五十本、汗だくになりながら運び、傷みの激しいものを取り替えた。

そしていよいよ来年は結成十五周年。目標に向かってメンバーたちの闘志は燃え上がる。

情報／富田明久（会長）

2004レオ・サマーフォーラム

331複合地区

331複合地区の継続事業「レオ・サマーフォーラム」が、七月三十日から八月一日の二泊三日、初めての開催地となる札幌市（A地区）で実施された。「二〇〇四レオ・サマーフォーラムinサッポロ」の大会スローガンは「『心のふれあい』……考えよう」。函館レオ(クラブ)（C地区）と帯広レオ(クラブ)（B地区）のメンバー計十二人が参加した。今回のフォーラムには大きな特徴が二つあり、レオたちはまさにレオクラブの目的通り指導力（Leadership）を養い、思い出深い機会（Opportunity）と経験（Experience）とを得ることになった。一つは、台湾、ドイツ、イタリアからのYE来日生四人がフォーラムに参加したこと。そして二つ目は、老人ホームやケアハウスを始めさまざまな福祉施設が集結する「アンデルセン福祉村」で、年に一度行われている福祉村祭りへの参加である。

祭り当日、まずレオたちは約千人収容出来る大きなスペースにいすやテーブル設置を手伝った。祭りには炎天下にもかかわらず、大勢のお年寄りたちがやって来た。祭りの中ではレオの代表が、ステージの上から大勢の大先輩たちを前にりっぱなあいさつを披露。その後、レオとYE生は、前日の研修で丁寧に真心込めて作った手芸品を、お年寄りにプレゼントした。

YE生とレオが一緒に奉仕活動を行う。これは双方にとって、単なる国際交流や奉仕活動の二倍、三倍もの価値ある経験になったに違いない。更にお年寄りやライオンズ・メンバーたちとの出会い、あらゆる要素が二泊三日という短い時間を幾重にも膨らませた。

今回フォーラムを開催した331・A地区にはレオクラブがなかったのだが、現在レオ特別委員会を設置し、新クラブ結成に向けた努力が続けられている。

情報／井村勇夫（レオ・サマーフォーラム実行委員会委員長）

北方領土視察学習会

北海道・川湯

川湯ライオンズ(クラブ)は一九八三年から四年ごとに北方領土視察学習会を開催、地元の子どもたちが北方領土返還について理解を深めるための活動を続けている。

第五回を数えた今年九月には、川湯中学校の全校生徒三十三人を招待し、元島民を含むメンバー約十人が、島の思い出や戦争体験を生徒に聞かせた。根室市の北方館では北方領土の歴史や現状について学びんだ。

納沙布岬で間近にロシア監視施設を見た子どもたちは「実際に見て、想像以上に近いので驚いた。あんなに近くに故郷があるのに簡単に行けないというのはどんな気持ちなんだろう」などの感想を述べた。同中学の品田機一郎校長からは「貴重な学習の機会をご提供くださり感謝します。日常の教育活動ではなかなか遠方まで足を運ぶことが出来ませんでしたが、実際に体験することの重要性を再確認する機会となりました」とお礼の手紙が届いた。

日本固有の領土であった歯舞、色丹、国後、択捉の北方四島が、第二次世界大戦後ロシアの占領下に置かれて六十年になろうとしている。九四年からはビザなし交流事業が開始され、これまでに日本と四島側併せて約八千人の交流があったものの、根本的な解決には至っていない。一日も早い返還を望むと同時に、未来を担う子どもたちにもこの問題について十分な知識を持って、取り組んでいってもらいたいという思いを託す。

情報／池田勉（会長）

上磯（331-C）
7月18日、子ども会対抗わんぱく相撲大会を開催。女子を含め21チーム70人が参加。この時点の同地域今年最高気温（27度）となったこの日、より一層の熱気にあふれた。

上川（331-B）
7月22日、第30回納涼生ビール大会を開催。ストローを使ってのビール早飲みゲームでは、会場が大盛り上がりだった。

室蘭北斗（331-C）
2月22日、わかすぎ学園の子どもたちを招待し1日里親会を開催。スノーモービルやそり、雪の中に埋もれたお菓子を掘り当てるゲームなど、子どもたちは大いに楽しんだ。

美瑛（331-B）
9月28日、小中学校の登校時に交通指導を行った。

名寄（331-B）
7月4日、「なよろふれあい広場2004」会場において、幼児を対象にした「ミニSL」運行を実施した。10年以上継続して毎年実施しており、今年も待ち焦がれた大勢の子どもたちの笑顔と歓声で賑わった。

鹿追（331-B）
7月8日、鹿追町中央公園で、小学生らのラジオ体操実施団体に助成金3万円を贈呈した。

●士別プリンスホテル
北海道・士別

■取材：編集部

ピン・ポン・パン・ポーン。「ただいま例会開始一分前です。皆さん席にお付きください」。懐かしいチャイムの音と共に司会役のライオン・テーマーが告げた。士別ライオンズクラブ（植松昭彦会長／52人）の例会場には八人掛けの丸テーブルが並び、集まったメンバーは思い思いに好きな席を選んで座っていく。開会前のひととき、各テーブルで話が弾んでいる。

「今日はちょっと少ないですね」と事務局さん。出席者は会員四十七人中三十一人で、出席率六六％と発表された。収穫の最盛期を迎え、冬支度にも忙しい秋は少し下がりぎみだと言う。何しろ、冬の到来が早い。例年十月末には初雪が降る。真冬にはマイナス三十度近くに達することもある厳寒の地なのだ。

この日は例会に引き続いて交通安全の啓発活動が予定されているため、プログラムはやや急ぎ足で進行した。毎年春と秋の二回、例会後に街頭に立ち、ドライバーへの呼び掛けを行っている。食事タイムをはさみ、ゲスト・スピーカーの士別警察署長による交通安全の話を聞き、閉会ゴングの後、そろって出動した。

士別ライオンズクラブでは閉会ゴングの前に、指名を受けたメンバーが音頭をとってローアを一声するのが恒例。聞くところでは、北海道内のクラブの多くが行っているようだ。

結婚記念のお祝いにローアでこたえる

国道沿いに幟を立て、昼でもライトを点灯して事故を防ごうという「デイライト運動」のパンフレットとステッカー、それにカボチャとタマネギの入った袋を配る。約三十分ほどで用意した百二十セットを配り終え、活動を終えた。

士別市は旭川市の北に隣接。農業と酪農が主産業で、中でもめん羊の飼育が盛ん。牧草地の広がる丘の上に世界から三十種を集めた世界めん羊館がある。（河）

例会データ

●例会日時
第一水曜日十二時十五分〜十三時十五分・第三水曜日十八時十五分〜十九時十五分

●例会場
士別プリンスホテル（JR士別駅から徒歩十五分）

●例会次第
開会ゴング／国歌・ライオンズ・ヒム斉唱とライオンズの誓い／誕生祝・結婚記念／幹事報告／委員会報告／食事タイム／ゲスト・スピーチ／出席率報告／テール・ツイスター・タイム／また会う日まで／ローア／閉会ゴング

●クラブ事務局
TEL〇一六五二・二・二五一九

しらおい経済センター

北海道・白老

■取材：編集部

白老は苫小牧と登別の中間にあり、海岸線に沿って国道三六号線、道央自動車道、JR室蘭本線が走る。その室蘭本線・白老駅を降りると、すぐ右手に「しらおい経済センター」が見える。その二階が、白老ライオンズクラブ（蒲原章会長／46人）の例会場だ。

訪問したのは第一例会。白老ライオンズクラブでは『ライオン誌』をクラブ一括発送にし、直近の例会で配布しており、この日がちょうど配布日に当たっていた。早速、クロスワードに取り組む人や、ふるさと探訪の写真を眺める会員など、開かれているページがちょっと気になった。

例会は型通り会長ゴングでスタート。その後、ライオン・テーマーの司会で進行し、国歌並びにライオンズクラブの歌斉唱、ライオンズの誓いと続く。食事時間は会長あいさつ、誕生祝い、ビジター紹介が終わって、幹事報告の間に設けられている。

食事は、クラブの中に飲食関係の会員が三人いるため、順番に工夫を凝らした弁当を作ってもらっている。この日は、みそ汁が「みそ」。朝、サケが取れたから、と取れたての旬の味を入れてくれた。

食事の後は、町制五十周年を迎える白老町の企画課課長が、白老の町作りをテーマにゲスト・スピーチ。分かりやすく、親しみのある内容に、会員たちも興味深げに聞き入っていた。その後、テール・ツイスターの時間があり、また会う日までの合唱、そしてライオンズ・ローアを一声吼えて終わる。

例会場の設営と後かたづけはライオン・テーマー、副テーマーを中心に会員自らがやる。例会終了後、手際よく会場の後かたづけに入る会員たちの姿が印象的だった。（鈴）

■白老ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（80ページ）。

例会データ

●例会日時
第一木曜日十二時十五分～十三時十五分・第三木曜日十八時三十分～十九時三十分

●例会場
しらおい経済センター（室蘭本線白老駅下車徒歩一分）

●例会次第
開会ゴング／国歌・ライオンズクラブの歌斉唱／ライオンズの誓い／会長あいさつ／誕生祝い／四十周年記念事業感謝状贈呈／ビジターあいさつ／幹事報告／ゲスト・スピーチ／テール・ツイスターの時間／また会う日まで／ライオンズ・ローア／閉会ゴング

●クラブ事務局
TEL〇一四四・八二・二七七六

ふるさと探訪

北海道 猿払村

大いなるオホーツク海の恵み、日本一の天然ホタテ

■取材／編集部

最北端の村は、日本一のホタテの村

朝五時過ぎ、夜明け前の浜鬼志別漁港を出港する。船が堤防に近づくと、漁師さんが何かを指さした。じっと目を凝らすと、テトラポットの上に横たわる一匹のトドの姿が見えた。オホーツク海に面した猿払（さるふつ）村は、日本最北端の宗谷岬の東南に位置する。よく晴れた日にはサハリンが望めるという。

沖合いで船を止めると、大きな熊手に網をつけた「八尺」を海に下ろした。この熊手が海底を掻いて、網の中にホタテが入る仕組みだ。十五分ほど曳航して引き上げると、網はホタテでいっぱいにふくらんでいた。一回に一トンから二トンが獲れる。

船に上がったばかりの貝を漁師さんが手際よく開けてくれた。貝柱は大きくて身が厚く、しっかりとした弾力がある。海水の塩味がほどよく効いて、濃厚な甘みが口いっぱいに広がった。

猿払漁業協同組合では漁場を五つの区域に分け、一年ごとに漁場を移動する輪採制を取っている。毎年春、海中で一年間育てた稚貝を漁場に放流。それから四年間、海底で育った五年物を収穫する。畑に種を播いて育てるのによく似ている。取材に訪れたのは十月初旬。あと一カ月余りで今年の漁は終わりで、来年に向けた漁場の整備も始まっていた。

猿払沖の海底はホタテの生育に適した礫や砂礫が多く、冬には流氷が豊富な栄養分を運んでくる。この恵まれた自然条件と計画的な操業によって、年間の水揚げは約五万トン、五十億円に上る。天然ホタテとしては日本一だ。こうして今は豊かな猿払の浜も、四十年前にはホタテの姿が消えてどん底の状態にあった。

浜を蘇らせた命がけの挑戦

幕末から明治にかけて蝦夷地を探検した松浦武四郎の『廻浦日誌』（安政三年／一八五六年）に、猿払の海浜には

（右ページ）「八尺」は熊手の部分が長さ八尺だったことから名前がついた。現在は大型化し長さは十二尺ある。八尺にはホタテの天敵ヒトデもかかる。上から貝を押さえつけて中身を食べてしまうので、海に帰さずに駆除する

❶ホタテは貝を開閉させ水をはき出して移動する。貝の開閉は閉殻筋、つまり貝柱によって行う。天然ホタテはヒトデから逃げたり、より棲みやすい場所に移動することでこの筋肉が発達し、食べるとコリっとした歯ごたえがある

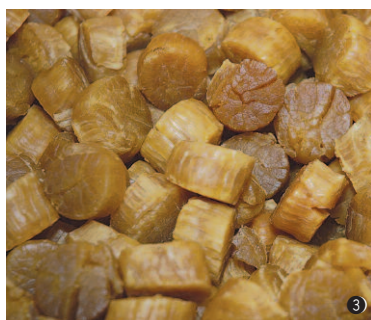
❷この貝は三年物なので小さめ。海水の塩味がホタテの甘みを引き立てる。船の上でしか味わえないおいしさ

❸ホタテ貝は色の黒っぽい殻が上。下側の白い殻についた筋によって、木の年輪のように生育年数が分かる

❹港に帰って陸揚げし、新鮮なうちにすぐ加工場などへ運ばれていく

「海扇」つまりホタテが多いと記されている。本格的なホタテ漁が始まったのは明治中ごろからで、石川県内灘村（現内灘町）の漁民によって開かれ、漁法や干貝柱の製法などを伝えた。やがて千隻もの帆掛け船が浜を埋め、大正九年には鉄道が開通し村は活気にあふれた。

しかし昭和三十年代に入ると乱獲によって急激に漁獲量が減り、昭和三十九年には自主禁漁。ホタテ漁業は衰退の一途をたどった。昭和二十四年に猿払漁協が発足した当時、四百人だった組合員は六十数人にまで減り、漁師の生活は困窮した。

村を支えてきたホタテ漁業を復活させようと、漁協は昭和四十六年から四年計画で、漁場造成と稚貝の大規模放流を行う事業に命運を賭ける。多額の資金を投じた上、結果が出るのは四年後という大きな賭けに、村は三年間で税収の一年分に相当する額を助成し、全面的な支援態勢をとった。千四百万粒の稚貝を放流してから三年、不安と期待が入り交じる中、浜にホタテが戻ってきた。この年の水揚げが千六百七十四ﾄﾝ。その後は年を追うごとに順調に増えていった。漁場の整備と、稚貝放流によって自然発生が促され、水揚げの大半は自然貝が占める。「人間が努力したのは確かだが、何より自然の力が大きい」。当時から浜を見続けてきた漁協の専務理事、ライオン阿部義政はそう話す。

品質の高い猿払産干貝柱

猿払で水揚げされたホタテの四割は干貝柱に加工されている。新鮮な貝柱

❶❷干貝柱の加工場。手作業で貝柱からミミなどを取り除き塩ゆでで。この茹でたてがおいしい。ライオン阿部いわく「最高の味。これを食べたらまた猿払に来たくなる」。乾燥後は付着物がないか厳しくチェック ❸湿気がこもらないように木箱に入れて熟成。きれいな飴色になる ❹ホテルさるふつ（ライオン鳥谷部徹雄）のオリジナル・メニュー「猿払鍋」。地元産の牛乳に味噌で味付けしたこくのあるスープがホタテによく合う。女性に人気の一品 ❺ホタテの旨味いっぱいの「ほたて咖喱」はオホーツク海陸食品㈱（ライオン梁田二郎）の新商品。国道二五六線沿いに直売所がある

❶❷オホーツク海に注ぐ猿払川の周辺には、白鳥の飛来するポロ沼を始めいくつもの沼が点在している。幻の魚と呼ばれるイトウを目当てにした釣り人も多い。大きいものは体長一メートルを超えるという。一時、イトウ釣りにはまった堤会長は、八十センチが最高だったそうだ。写真はアイヌ語で「神の住む沼」を意味するカムイト沼。原生林に囲まれた沼は、見ているだけで穏やかな気持ちになる。夕陽の景色が美しい

❸猿払は国内でも有数の酪農地帯。広大な猿払村営牧場は、仲代達也主演の映画「人間の条件」（一九五九年）のロケ地となった

を塩ゆでして乾燥。四カ月もの時間をかけてじっくりと熟成させる。

ここで作られた干貝柱は八割が香港へ輸出され、本場の中華料理の高級食材となる。香港、中国への輸出は既に明治のころから行われ、「宗谷元貝」の名で取り引きされてきた。中でも猿払産は最高の評価を得ている。市場では「SARUFUTSU」と書かれた荷箱から売れていくのだそうだ。

最北の村のライオンズ

今回の取材には猿払ライオンズクラブの堤進会長が同行してくださった。「ぜひ見せたい」と案内してくれたのが、広大な牧草地の間を地平線の彼方へどこまでも伸びる直線道。なんと十キロも続いているという。近くには二千メートル級の山に生える高山植物が群生するエサヌカ原生花園があり、六月には一面、可憐な花々を咲かせる。猿払は村の人口の三倍にあたる九千頭の乳牛がいる酪農地帯でもある。果てしなく広がる牧場で牛の群れを探すため、堤会長にずいぶん車を走らせて頂いた。

堤会長率いる猿払ライオンズクラブは、現在三十人の会員で活動している。森和正村長もクラブの一員だ。一九八六年五月に稚内ライオンズクラブのスポンサーで結成され、もうすぐ二十周年を迎える。毎年二月の最終日曜日には、冬の広場と題して子どもたちや親子連れによる雪像づくりのイベントを企画。雪と氷に覆われる厳しい冬に楽しい一日を提供している。（河）

■猿払ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（80ページ）。

「北海道神宮祭」北海道札幌市

北の大地の総鎮守としての崇敬集めて 峻厳な北海道開拓の歴史偲ぶ大祭

■文：篠崎淳之介／切画：風祭竜二

北海道。明治の世に、北の大地の蝦夷地一円は、東海道や山陽道と並ぶ名称として、新しく「北海道」と呼ばれるようになった。

幕末期、この地の南半分は幕府直轄地となり、箱館（後に函館）に奉行所が置かれ、箱館はやがて、伊豆下田と共に日本初の開港場となった。

世が明治と改まってからも明治新政府は、蝦夷地経営のかなめとなる開拓使出張所を、函館に置いた。

明治二年八月、蝦夷地は北海道と改められ、東久世通禧が旧佐賀藩主に代わって二代目の開拓使長官となった。

東久世は、赴任に当たってこの地の和人にとって、産土の神がいないことに大きな関心を払った。神祇官から大那牟遅神、大国魂神、少彦名神の分霊を受けて、これを北海道の開拓三神と崇めて、函館に赴任した。

明治二年十一月、この開拓三神を奉じて、開拓判官首座の旧佐賀藩士島義勇が、雪降る今の札幌へと向かった。北海道全道を統轄する拠点都市を建設するためであった。

島は開拓三神を札幌第一番役宅に仮に奉安して、一面の茅野であった札幌の地で縄張りを開始した。

島の構想は、北の大地に整然たる大都市を築こうというものであった。島は、雪と寒さに苦しむ工事人を督励して仕事を進めたが、藩閥の妨害にあい、三カ月で開拓使予算の三分の二を使い果たしてしまった。

このため、島は長官と衝突して、転任させられてしまったが、島の構想は引き継がれて、今の札幌市街地の基盤が着々と築かれていった。

開拓三神も明治三年五月に小さな祠を建立してそこに祀られ、四年には札幌神社と改称して現在地に仮本殿が造られ、七年からは例大祭の日が官民共に休業の日とされた。

札幌・大通り公園

各地から入植して来た人々は辛酸をなめた。開墾に失敗して去る者、志半ばで命絶える者もあった。道なき原野に道が造られ、鉄路が走り、鉱山が開かれていった。

一方、札幌神社の例大祭は明治十二年からは神輿渡御が行われるようになって、次第に北海道総鎮守として、広く崇敬されるようになっていった。

更に昭和に入ると、十五年に開拓神社が置かれ、島義勇等の開拓功労者を祀り、二十四年には鉱山神社、翌年には穂多木神社が境内に遷座し三十九年には、明治天皇を増祀して北海道神宮と改称した。

六月の十四〜十六日に行われる例大祭は、大神宮祭と呼ばれ、この神社の来歴にふさわしい風格を持っている。

明治後に本格化した開拓の歴史を伝えて、明治維新勤皇隊という名の隊列が繰り出し、各祭典区から八台の山車が参加する。祭りの日、午前九時には、四基の神輿がそれらを従えて市内数キロを練り歩き、末社の御泊所へ向かう。道内最古の公園中島公園にも多くの露天が並び、賑わう。

祭りの前後、原始林の後を残す円山公園や、北海道開拓記念館、琴似屯田兵屋を訪ねて、この地に刻まれた人々の辛酸の歴史を偲べば、この地に総鎮守を置いた先人の願いの深さが思われる。

六月、梅雨のない北海道は最も爽やかな季節を迎える。その季節に合わせた祭りは、大地の広大さを実感させてくれる季節でもある。

●祭りメモ

毎年六月十四〜十六日。問い合わせ先：北海道神宮（TEL〇一一-六一一-〇二六一）

●アクセス

地下鉄東西線・円山公園駅下車、徒歩十五分。

●周辺クラブ

札幌市内には一九五六年、東京ライオンズクラブのスポンサーにより、北海道で最初に結成された札幌ライオンズクラブを始め、現在、四十一クラブが活動している。331-A地区内のクラブ数が七十八だから、半数以上が札幌市に集中していることになる。その中には毎年二月、札幌雪祭りで国際交流雪像製作に取り組む札幌大通ライオンズクラブや、全国のシニア・ライオンズクラブが一堂に会する「日本シニア・フォーラム」の開催を企画し、成功させたサッポロシニア・ライオンズクラブ、そのスポンサーで日本初の女性だけのシニアクラブとして結成された札幌コスミックシニア・ライオンズクラブなど、話題性のあるクラブも多い。またライオン松原文彌、ライオン繁富一雄という二人の国際理事を輩出している。

北海道・北広島
太古からの森に抱かれた「妖精と出会える街」

■文：編集部

国指定史跡・旧島松駅逓所。かのクラーク博士が帰国の際、見送りに来た生徒たちに「Boys be ambitious」の名言を残した地でもある

大学時代の友人が、札幌に単身赴任している。東京生まれ東京育ちの彼にとって、冬の北海道はさぞ辛かろうと思ったが、そんな心配はどこ吹く風。こちらが拍子抜けするくらい、札幌ライフを楽しんでいる。その友人が、札幌の冬を表現して、

「しんしんと雪が降るんだぞ」と言った。実感のない私が、ふんふんと聞いていると、それを察した彼は、「本当に、しんしんと降るんだぞ、分からないだろうなあ」と、哀れむような目で私を見た。そんな夜、彼は一人、部屋で本を読みながら過ごすという。

そのころにはだんだんイメージがふくらみ、何か彼だけ、人生が豊かになっているような嫉妬心を覚えたものだ。

表紙の写真は、そんな冬の北海道の典型的な風景を切り取ったものだ。撮影地の北広島は、友人が住む札幌と隣り合わせ。札幌までは快速電車で十六分、新千歳空港までは二十分という場所にある。

その北広島を、北広島ライオンズクラブの堀田峰生PR委員長に案内して頂いた。札幌に近い場所は住宅展示場と見紛うようなしゃれた家並が続いていた。最近は札幌のベッドタウンとして宅地化が進み、人口が増加しているという。

また、札幌という大消費地を控え、農業も野菜などの近郊農業が中心であった。何だか、北海道らしくない街である。この辺を歩いている限り、とても表紙のような写真が撮れるとは思えない。

ところがどっこい、北広島には、特別天然記念物・野幌原始林の一部を含む広大な森が、市の中心部にある。東京なら、車で二時間は走らないとお目にかかれないような豊かな自然が、駅から歩いてすぐの場所にある。

更に、郊外に出れば広々とした牧草地や耕作地もあり、北海道らしい風景が広がっている。そこに「しんしん」と雪が降れば、北海道らしくないものまで隠してくれ、道外の人間がイメージする「完璧な」北海道が出現する。

北広島は妖精（エルフィン）と出会える街をキャッチにしている。市内にはエルフィン・ロードというサイクリングロードも整備されている。今度はゆっくり自転車で回ってみたい。（鈴）

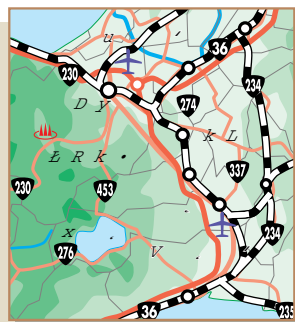
●観光一口メモ

北海道の開拓時代を物語る「旧島松駅逓所（国指定史跡）」は、クラーク博士ゆかりの地でもあり、また寒地稲作発祥の地でもある。北広島市内には全日空オープンが開催される輪厚を始め、八カ所のゴルフ場があり、道内外のゴルファーを引きつけている。

●アクセス

本文にも書いたが、新千歳空港から快速で二十分、札幌からは十六分。

●周辺クラブ

北広島ライオンズクラブ（長南秀之会長／42人）は一九六九年に誕生し、今年、結成三十五周年を迎えた。十月二十四日に実施された記念式典には姉妹クラブの広島ライオンズクラブ、東広島ライオンズクラブも駆け付けた。

題字／藤田　多喜男（広島北）（応募要領→72ジ）

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

ライオンズクラブの活性化へ スタートあるのみ

佐藤　悦郎（岩手県・一関）

日本にライオンズクラブが結成されて五十二年。私の所属するクラブは、その十年後に誕生しているから四十二年になる。そして私は四十年間、ライオンズに在籍している。

この歴史の流れに、どっぷり身を置いてみると、全く変わらないものにクラブ例会の運営プログラムがある。開会ゴングからまた会う日まで、スポンサー・クラブから教えられた通りの次第は、四十二年間変わりなく続く。「驚くべし」というより「恐るべし」である。が、居心地は満点。なぜならだれも少しも不便を感じていないのである。この間、全世界のクラブは千変万化。メンバーも変わり、組織も変わり、今や会員数の激減が当たり前のことになってしまった。それより何より社会全体がすっかり変貌している。これらの現状を踏まえて、拙考を述べてみたいと思う。

一、ライオンズクラブの変革を基本から見直す必要性は、国際理事の方を始め多くの役職のライオンによって語られている。このような貴重なご意見を、集約、整理統合し、更に再度意見を求めて、世界にも共通する一つの実行基本方策を打ち立てても良いと思う。この件について、ガバナー協議会などで取り上げられないのだろうか。

二、「例会のマンネリ打破」は、永遠のテーマと言われて久しいが、これをテール・ツイスターによって打破出来ないだろうか。もちろん、テール・ツイスターの資質改革が大前提であるが。そのためには、テール・ツイスターの講師クラスが一堂に会し、意見交換、討議を重ねて、新しい時代のテール・ツイスター像を確立し、普及に努力する。例会が、格調の中にも面白さがあり、笑いの充満する楽しいものであるならば、不況の中にあっても、出席することによって勇気を得るのではないだろうか。また、ライオン誌主催のセミナーを持つのも一つの案だが、いかがだろう。

三、新会員の招請について。単なる勧誘ではなかなか入会してくれない。現代社会には、

数多くの団体が存在しており、それぞれが入会を要請している。当然ながらすべてに入会していては仕事にも差し支えが出るし、経済的にも大変だ。入会して頂くためのいわゆる準備、すなわち綿密なる資料の作成、自クラブの紹介の形式、バランスのとれた人選方法など、その内容を深く検討し、煮詰めて、勧誘にとりかかれば効果抜群と思うがいかがだろう。

入会招請が思わしくないのは、世界的不況による経済的な問題点があげられるが、そればかりが根本的原因だとは言えないと思う。今から五十年前、日本の終戦後のどん底生活から、各地に結成が相次いだライオンズクラブの急速な伸びは、何だったのであろうか。決して経済的に楽な世の中ではなかったはずである。そこには魅力があったし、新鮮さにあふれていた。面白かったし、人的交流が深かった。そして何よりも世界につながりがあった。五十年が経過した今、ライオンズクラブは、社会の変遷や世情の変化に大きく遅れをとってしまった。

私見の一端なので、異論もあると推察するが、この三つの提案についてセミナー会場などで交流が出来れば幸せである。また、新入会員に関しては、やはりセミナーを開催し、堪能練達のライオンの養成が急務だろう。複合地区協議会などで取り上げて頂けないものだろうか。緊急に具体化出来ることから始めなければならない切迫した時期と痛感して、敢えて筆をとった次第、ご了承を乞う。

（建築設計・76歳）

人生の素顔

阿波根　朝宏（新潟万代）

人生とは、人の一生とは何か。疑問だらけである。この疑問だらけの人生をどう考えるかは各人各様である。しかし、これはと思われるものにはなかなか巡り合えない。この問題はただでさえ難しい上に、生に対する死という複雑な問題も絡んでくる。

人間は生きものである以上、必ず死ぬ。であるから死を除いて人生を語ることは出来ない。つまり、人生は生と死の間にあって、その生と死をどう調整するかということである。そこで、死を遠ざけて生のみを浮上させて考えられないだろうか。

「人は必ず死ぬ」の思想は、どこの世界でもまたいつの時代でも一貫して語り継がれてきた。縄文時代においても死の考え方はあったが、縄文人は、死は単なる生の終わりではなく、再生への通過点として考えていたらしい。

なぜ人は生きるのか。人は知らず知らずのうちに生きる意義を心に秘めながら生きている。何人となく不透明ながら生きる。誠におかしい。死は一〇〇（パーセント）確実。しかし、死ぬまで生きているのも一〇〇（パーセント）確実。両者は共に譲らない。

「入れもの文化」という時代がある。現代人はものの世界に生きている。日々の暮らしを見ても、自然界とじかに接するよりも、道具や機械と接することの方がむしろ多い。この広大なものの世界の一角を形作るのが「入れもの」だ。身辺のものが増加するにつれ、それを入れるさまざまな入れものが作り出されてきた。入れものは文明の兆しである。宇宙カプセルも自動車も人間の入れものの一つ。人の一生も、入れもの（産湯を使うタライ）に始まり、入れもの（棺桶）に終わる。仏になれば仏壇に入って家族の身近に所を占める。

タライと棺桶の間が人生。人の一生についてこうまで単刀直入にこられると、衝撃的で何も言えなくなる。生きる力が抜ける感じだ。生は死であり、死は生である。生と死は背中合わせ。つまり生と死の距離はない。タライ

は体験したことがあるのだろうが記憶にない。棺桶はいずれ体験することにはなるが、おそらく記憶に残らない。無記憶と無記憶の間が人生。遠いのか近いのか、それはだれも分からない。

とにかく、人生は死に振り回されて生きている。死とは、一体何ものであろう。それを経験してみることの出来ない不可知の世界である。死とは人間にとって永遠に謎である。来世を支配するものは何だろう。光か、闇か、無か。古来、いかなる聖賢もこの問題に明瞭な答えを出していない。言うまでもなく人生の最終目的地は死である。

人の一生は、人生は、死を背負わされて動きが取れなくなっている。結局、死を棚上げしていては、人の一生や人生は語ることは出来ない。これが終わりなき始まりなき、死に拘束された人生の素顔である。

(医学博士・93歳)

イラスト／小川和政

カムサハムニダ

山岸 博之(福井県・小浜)

障害越え「カムサハムニダ」。福井新聞に連載された記事の表題である。障害を持つ子どもたちとその家族が初めて海を渡り、韓国慶州市で同じ境遇の生徒たちと美術作品交流展を開催したという同行取材記事だ。

小浜ライオンズ(クラブ)では、今年度のスローガンに「明るい未来社会の創造に感動の奉仕」を掲げて活動している。簗川眞334-D地区ガバナーの重点活動方針を十分理解した上で、メーン・アクティビティとして障害者の国際交流に取り込むことを決定した。

福井県立嶺南西養護学校はこの地域唯一の障害児と病弱児童のための学校で、ここの岸本一筆先生は私の古くからの友人である。書家でもある岸本先生は書画を通して子どもたちと家族に光を当て、生きる喜びや目的、社会復帰のために尊い教育活動をされている。

「五年目を迎える日韓美術作家交流展に、養護生の作品交流もやろうと思うのですが」と、先生に相談を持ちかけられた。知的障害を持ち勉学に励む両国の生徒を参加させようというのである。海外でのイベントであるから、そう簡単には実現しない。学校や家族の協力が不可欠である。だが、幸いすべての連繋がうまくいき、初の海外交流が実現することになった。当クラブからも全面的な支援を行うと承認を得た。

国際プログラムの抜粋の中の「PRを通して」という項目を思い出した。マスコミを通して広くライオンズをPRしなさい。そうすれば会員の増強も図れる、とあった。早速、福井新聞本社へ出向いた。社長に直訴するためである。日韓美術作品交流展に参加する養護学校生への支援、初めての経験となるであろう海外での交流、その家族のきずななど、同行取材をしてほしいとお願いしたのである。発行部数二十万部を誇る新聞社を率いる吉田耿介社長は福井ライオンズクラブのメンバーでもあり、昨年はリジョン・チェアパーソンを経験されたリーダー的な人物。日ごろのお付き合いに甘えて取材協力を持ちかけたところ、二つ返事の協力が得られ、小浜支社の記者が同行することになった。

慶州市とは姉妹都市であり、スポーツや文化交流が行われている。この関係もあって、当クラブのメンバーである村上利夫小浜市長の親書を携えての訪韓となった。もう一つ、ハングル語の翻訳には市職員である地村保志さんの協力も得られ、準備は万端整った。

交流展のセレモニーには、両市関係者が多数参加した。まさに友情のきずなが固く結ばれたのである。慶州ライオンズクラブと小浜ライオンズクラブの固い契りも結ばれ、養護学校生や家族の交流も盛大に行われた。

子どもたちが着用したTシャツには彼らの作品がプリントされている。クラブ・メンバーの縫製会社社長のドネーションによる友情作品である。人前であいさつすることなど大の苦手な男子生徒が訪問のあいさつを行うと、現地の子どもたちが歓迎のあいさつを返してくれた。その光景を見ていたあるお母さんが思わず目頭を押さえた。

このアクティビティに参加協力してくださった多くの人たちに心から「カムサハムニダ（ありがとう）」と言いたい。ライオン賛歌を高らかに。

（ホテル業・58歳）

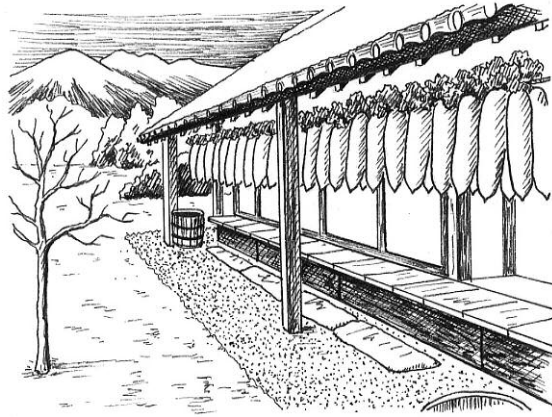
チベット紀行

三木 邦正（徳島県・土成）

チベットからエベレスト北壁にアプローチするツアーに参加した。中国名・チョモランマ（八八五〇メートル）を三度眺望するチャンスがある上、チベット仏教についても少し興味を覚えたため、このコースを選んだ。

五月十一日、関西空港から成都へ。ここで成田からの参加者と合流し、翌十二日、ラサに第一歩をしるす。ラサはチベット自治区の区都で、三六五〇メートルの高地にある。ここで高所順応のため三日間滞在した。この間に、ポタラ宮殿やセラ寺、大昭寺といった名所見学と、約四五〇〇メートル付近でのトレッキングを行った。二日目から早くも頭痛や吐き気、不眠など高山病の症状に悩まされる。酸素飽和度を測定すると七一パーセントである。

チベットの人たちは敬虔な仏教信者である。五体投地をして巡礼する若い男女の姿を見て心を打たれた。一九五九年に中国共産党

により、多くの寺院が破壊され高僧が追放されたが、信仰の灯火を消すことは不可能であり、現在も多くの寺院で、何千という学僧が修行に励んでいる。

　十五日はランドクルーザー三台に、参加者六人のほかツアー・リーダーとガイドを加えた八人が分乗して出発する。舗装のない凸凹道を砂煙を巻き上げながら、五〇〇〇メートル以上の峠をいくつも越え、チベット第二の街シガツェ（三九〇〇メートル）に一泊、更にシガール（四三〇〇メートル）に二泊と走り抜け、高度を上げていく。車窓からは、草木のないただ褐色の大地が見渡す限り広がるのみである。ところどころに群がるヤクや羊が目を和ませてくれる。草とも苔とも見分けのつかない植物を食べて命をつないでいるという。この不毛とも思える極限の土地で、チベットの人たちは力強く生きている。川沿いの土地には水路を引き、ヤクに鍬を引かせて耕し、麦を播き収穫する。それ以外の土地では家畜を放牧し、移動しながら生活している。

　最終目的地チョモランマのベースキャンプ（五二〇〇メートル）には、十八日昼過ぎに到着する。間近で見る世界最高峰に目を奪われる。高山病と悪路に疲労は限界に達していたが、しばし我を忘れてカメラのシャッターを押し続けた。翌朝、ベースキャンプから半日のトレッキングを試みるが、百メートル高度を上げるのがやっとであった。頂上を極めることの困難さを思い知らされる。二日滞在して、国境のザンムー（二三〇〇メートル）を経て、ネパールのカトマンズ（一三五〇メートル）へ移動した。

　最初で最後になるであろう旅を終えて、無事帰国。私にとって今回の十二泊十三日は、一世一代の大冒険であった。

（元公務員・67歳）

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は72ページをご覧ください。

岡山県・倉敷阿知ライオンズクラブ

「高齢者・障害者福祉観劇の一日」開催

倉敷阿知ライオンズクラブ（41人）は九月十八日、倉敷芝居小屋千秋座で「高齢者・障害者福祉観劇の一日」を開催、二百十二人を招待しました。少子高齢化が進む中、強い問題意識を持って、本格的に高齢者問題に取り組もうと行った最初の試みです。

大衆演劇場として明治十四年に創業した千秋座は、一年前に新築されて福祉設備も整った劇場。メンバーは全員クラブの法被を着て参加者をお迎えしました。上演は三時間三十分と長時間でしたが、涙と笑いで時間を忘れるほどでした。

「芝居は六十年ぶり」「青春がよみがえった」と言われるお年寄りもたくさんいらっしゃり、帰りには「来年もやってくださいね」と手を強く握ってくる方、感激のあまりメンバーに合掌して帰られる方など、心から感謝頂き、ライオンズに入って本当に良かったと実感した一日でした。今後も継続アクティビティとして取り組んでいきたいと思います。

（会長／大野武彦）

（編）七月に特別委員会を設置。間野勲委員長の強力なリーダーシップの下、招待者の選定や会場の下見など万全の体制を整え、大成功を収めました。

連絡先→TEL〇八六・四二二・九〇八〇

静岡県・下田ライオンズクラブ

長寿祝う杖、247本市に寄贈

下田ライオンズクラブ（渡辺征之輔会長／29人）は九月九日、「敬老の日」にお年寄りたちへプレゼントする「長寿の杖」の寄贈式を下田市役所で行い、渡辺会長始め同クラブ役員四人が杖と目録を石井直樹市長に手渡した。同クラブによる長寿の杖の寄贈は、昭和四十四年から開始して今年で三十六回目になる。杖の寄贈対象者は満八十歳で、今年は二百四十四人に贈るほか、予備の三本を併せて合計二百四十七本を市へ寄贈した。杖は長さ約八十センチで、取っ手の部分がT字形、材質はモミジの木を使用している。十三日の田牛青少年海の家を始め市内十一会場で開催される敬老会行事の中でプレゼントされる。市長は「十一会場のうち十カ所を回る予定でいる。お年寄りは長寿の杖のプレゼントを楽しみにしている。今年も事業を継続して頂き感謝している」とお礼の言葉を述べた。

（『伊豆新聞』9月10日）

（編）寄贈の際に渡辺会長は「八十歳を超えた先輩方に少しでも役立ててほしい」と話しました。

連絡先→TEL〇五五八・二二・一〇〇八

東京本郷ライオンズクラブ
青少年サッカー大会開催

イラスト／篠田和夫

発端は今から九年前。アクティビティ委員会のメンバーが集まって、これまでの活動の見直しと今後の在り方について熱く語り合い、結果、青少年健全育成をと決定した。具体策を模索しているところへ、文京区内の少年サッカーチームが練習する場所と、その成果を試す他チームとの試合をする機会がなくて困っているという話が飛び込んできた。早速、アクティビティ委員会に諮ると全員が大賛成。すぐに開催準備に取りかかった。

まず、文京区長に区の運動場を優先的に貸してもらう交渉。続いて、区内の警察署を回り、薬物乱用防止運動にも役立てる協力を要請。最後に、試合の審判を区内の高校サッカー部生徒にお願いしようと、あちこちの高校を駆け回り、最後に行き着いた筑波大学付属高校のサッカー部監督の中塚先生から「うちの生徒の教育にもなる」と快諾を得た。大会名称を「東京本郷ライオンズクラブカップ　文京区青少年サッカー大会」とし、九七年七月十六日、三百九人の子どもたちとその応援父兄の参加を得て、第一回大会が盛大に開催された。

大会は毎年三月と九月の年二回、現在は約五百の選手が参加し、大いに盛り上がっている。そんな折、二〇〇六年ワールドカップの開催地が文京区の姉妹都市であるドイツ・カイザースラウンテルン市となり、子どもたちが招待されていると、文京区長から協力を要請された。なんとか子どもたちを行かせてあげたい、現地の子どもたちと芝生の上で交流試合をさせてあげたいという思いで、今年から渡航費用援助のためのアクティビティ資金積み立てを始めている。　（会長／吉川浩）

（編）見直しから始まったアクティビティに新しい光。ドイツの芝に立つ子どもたちの姿が今から楽しみです。

連絡先→TEL〇三・三五五二・九一〇一

鹿児島県・垂水ライオンズクラブ
敬老無料撮影会で57人を撮影

垂水ライオンズクラブ（篠原砂男会長／30人）では敬老の日を祝い、七十五歳以上に写真をプレゼントしようと九月三日、地区公民館を会場に「敬老写真無料撮影会」を行った。

同クラブの敬老写真は今年で二十一回目。事前に申し込みのあった五十七人を撮影。最高齢者は九十五歳のおばあちゃん。今年は中央地区を除く牛根、協和、柊原、新城など八地区公民館で実施。撮影はクラブ・メンバーで写真師のライオン星原勝美。撮影前にライオネスクラブの会員がおばあちゃんたちを軽くメーキャップ。ライオン星原はファインダーを覗きながら、緊張している一人ひとりに「もう少しリラックスして」と声を掛け、慎重にシャッターを切っていた。

お年寄りの一人は「かねて写真を撮る機会がないのでいい記念になりました」とたいへん喜んでいた。

この日の撮影にはメンバーや事務局職員らが受け付けなど協力。プレゼントされる写真はハガキ大のカラーで台紙付き。市価だと一枚六千円ほど。出来上がった写真は振興会を通じ「敬老の日」の二十日に手渡される。　（『南九州新聞』9月14日）

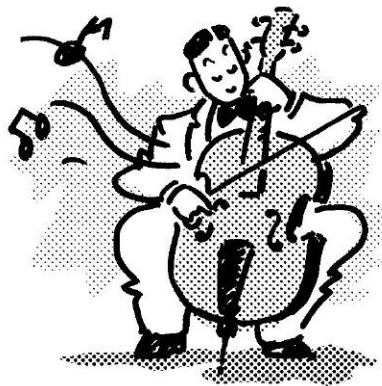
（編）記念日でもない限り、プロに写真を撮ってもらう機会はそうそうないもの。とても喜ばれるアクティビティだったのではないでしょうか。

連絡先→TEL〇九九四・三二・二七二〇

熊本県・人吉ライオンズクラブ
中学生らの前でチェロ演奏を披露

人吉一中で九月十三日午後、人吉市出身のチェロ奏者、田中賢治さんを迎えたコンサートが開かれ、生徒たちは演奏を満喫した。「一流の本物に触れ、動機付けのきっかけになる支援をしたい」と、青少年育成事業に力を入れている人吉ライオンズクラブ（山本信久会長／52人）の後援。

田中さんは、人吉西小学校時代の九歳からチェロを始め、人吉二中、武蔵野高校、武蔵野音楽大学卒業、ミュンヘン音楽大学大学院修了。昭和六十三年、大阪フィルハーモニー交響楽団に入団し、平成十一年から人吉で「名曲コンサート」を開いている。

コンサートでは、田中さんが「白鳥」「G線上のアリア」「ガボット」を演奏し、生徒らに一流の音色を味わわせ、一中ブラスバンド部と一緒に犬童球渓の「旅愁」を演奏、それに合わせて全員で歌った。また、アンコールでは「五木の子守唄」を披露した。

（『日刊人吉新聞』9月22日）

（編）今回の演奏会は同クラブ・メンバー、ライオン前田保の尽力で開催の運びとなりました。田中さんは最初に人吉でコンサートを開いた時からライオンズの奉仕活動に賛同。昨年は人吉農芸学院で演奏を披露してくださったそうです。

連絡先→TEL〇九六六・二二・七三〇〇

埼玉県・大宮氷川ライオンズクラブ
1例会・1円で700円のドネーション

八月二十日、大宮氷川ライオンズクラブ（渡辺昭平会長／38人）では、桜井慧子330・C地区ガバナーほか地区役員と近隣ブラザー・クラブ三役をお招きし、クラブ結成三十周年・七百回記念例会を開催しました。

当日は来賓として埼玉県腎アイバンク協会古川俊隆理事長（元地区ガバナー）をお迎えし、記念事業として金一封を贈呈しました。また、記念講演として、中東問題の権威者㈶中東調査会主席研究員）であるライオン大野元裕（川口ライオンズクラブ）から、イラク問題についてテレビやラジオでは聞くことの出来ない生々しいお話を拝聴し、認識を新たにすることが出来ました。

テール・ツイスターのライオン鈴木からは、七百回例会記念として一例会一円、一人七百円のドネーションをされたいとの申し出があり、参加者から計六万六千五百円が寄せられ、埼玉県腎アイバンク協会へ贈呈しました。

良いお話を聞き、またテール・ツイスターの粋な計らいにより、楽しい記念例会となりました。

（ＰＲ情報委員長／蓜島安弘）

（編）七百回記念にふさわしい素晴らしい例会でした。さて、例会において、いかに気持ちよくメンバーにドネーションをしてもらうかがテール・ツイスターの腕の見せ所。見事なお手並み拝見しました。ぜひとも見習いたいものです。

連絡先→TEL〇四八・六四四・六六二三

北海道・京極ライオンズクラブ

台風で「ライオンズの森」が被害

今年は台風の当たり年。九月の台風18号は、北海道でも風中心に大暴れで、京極ライオンズクラブ（大木勝彦会長／38人）のシンボルとして全メンバーの強い愛情を受けている「ライオンズの森」でもヤマザクラの倒木を始め大きな痛手を被った。

ライオンズの森は、これといった桜の名所がない京極町で、将来は町民いこいの場にしたいと、京極ライオンズクラブが、二十年前から植樹や整備などの管理に取り組んできた。

そこへ招かれざる客、台風の来襲。北海道ではここ何年もなかった大型台風で、各地に大きなツメ跡を残した。高台に位置する同森も周囲に防風林の大きな赤エゾがあるにもかかわらず、ヤマザクラやナナカマド、プラタナス、白樺など合計十二本が根こそぎ倒されてしまった。神社と結ぶ舗装道路をふさぐように倒れた木もあった。このため対応は緊急を要し、大木会長ら三役の決断で、倒木の除去や手入れ、育つ木々に添木などを施すなど修復作業を行った。当然のことながら新たな植樹や管理には、既存の樹木の下刈りなど本格的な整備が必要。メンバー全員で長期展望に立った対応策が検討されている。

（幹事／安田良一）

（編）京極ライオンズクラブでは、自然を大切に環境を守ることを目的に、植林がアクティビティの大きな柱。それだけに森はクラブの象徴として位置付けられています。今後は、これまで以上にクラブの重点施策の一つとして森の育成・管理に取り組んでいくそうです。

連絡先→TEL 一三六 - 四二 - 二二〇一

山形県・白鷹ライオンズクラブ

モンゴルから民族芸能団迎え交流

モンゴルから来県している「ツエメネフ民族仮面芸能団」を迎えての交流パーティーが九月二日夜、白鷹町のパレス松風で開かれ、町民と花笠踊りを楽しむなど親睦を深めた。

県モンゴル友好協会白鷹支部と白鷹ライオンズクラブが県の協力を得て開催した。奥山茂樹支部長は「本町で開催してきたアジア国際音楽祭にモンゴルから楽団を招くなど相互交流を重ねており、皆さんをお迎え出来てうれしい」とあいさつ。全員に記念品を贈呈して歓迎した。

団員は音楽学校の学生を含む十五～三十三歳の十一人。エンクゲル団長は「これからも仲良くしていきましょう」とあいさつ。馬頭琴の演奏や大きな極彩色の仮面をかぶった伝統の仮面舞踏などを披露し、百人余りの出席者から大きな拍手が送られた。

また、パーティーでは特製のモンゴル料理が振る舞われたほか、一緒に花笠踊りを楽しみ、日蒙友好の輪を広げていた。

これに先立ち、ツメンエフ民族仮面芸能団の一行は県庁を訪ね、高橋和雄知事と懇談した。知事は民族衣装に身を包んだ団員たちに感謝の言葉を述べ、これに対し団員たちは馬頭琴を演奏したり、チャルメラに合わせ民謡を披露するなどし「ぜひ日本の営農家と交流を深めたい」と笑顔で語った。（『山形新聞』9月3日）

（編）芸能団は大型観光誘致戦略「おいしい山形デスティネーションキャンペーン」の一環で八月末に開催された「羽黒山芸能ファンタジー山楽祭」に出演するために来県しました。

連絡先→TEL〇二三八・八五・五三〇一

兵庫県・明石西ライオンズクラブ

目指せ、1000人献血

明石西ライオンズクラブ（西田崇志会長／19人）が千人から献血を募る「千人献血」の運動に取り組み、このほど県運転免許更新センター（荷山町）で協力を呼び掛けた。

運動は同クラブ結成三十周年記念事業として展開している。七月から来年六月までに、千人に献血してもらうのが目標。月二回、メンバーが同センターに出向き、これまでに約二百人の協力を得た。

同センター前ではメンバー六人が、ティッシュペーパー約五百個を配って「時間がありましたら、ぜひ献血にご協力ください」と呼び掛けた。西田会長は「多くの人に協力してもらい、目標を達成したい」と話している。

（『神戸新聞』明石版9月26日）

（編）会場に立てられた協力を呼び掛ける看板にも、大きく「目標千人献血」と表示。目標を数値にするのとしないのとでは、結果に差が出ると言います。皆さんの熱意と努力できっと目標は達成されることでしょう。

連絡先→TEL〇七八・九四四・五三六一

山口県・熊毛クラブ

ナベヅル保護続けて11年

県鳥で、国の特別天然記念物に指定されている周南市八代のナベヅルの保護に役立ててもらおうと、熊毛ライオンズクラブ（西岡武美会長／27人）はこのほど、市役所に河村和登市長を訪ね、チャリティー・ゴルフ大会の収益金六十五万九千円を寄付した。

大会は台風18号の影響でキャンセルが相次いだが、百六十六人の参加者以外に計二百十三人がお金を持ち寄り、県内の二つのライオンズクラブも協力。十一年間続けてきた寄付金の累計額は七百八十八万三千百八十六円となった。

鹿児島県出水などからの傷病ツルの移送実現に向け「ハゴロモヅルの移送と飼育が始まりましたね」と河村市長。八代のＮＰＯ法人・ナベヅル環境保護協会の会長も務める西岡会長は「移送に掛ける思いはきっとツルにも伝わるはず。いずれは元気なツルの移送を願っている」と話していた。

（『中国新聞』10月6日）

（編）本州唯一のナベヅルの飛来地である周南市でも年々飛来数が減少しています。熊毛ライオンズクラブは、ツルの飛来前に、一羽でも多くとの願いを込めて、雑草刈りや田んぼに水を張るといったツルのねぐらの整備を、会員全員で行います。

連絡先→TEL〇八三三・九一・五六〇〇

北海道・芦別ライオンズクラブ

少年らと共に小鳥の住家をリフォーム

芦別ライオンズクラブ（伊藤輝雄会長／68人）主催の「ライオンズの森自然観察会」が九月十二日、市内旭ケ丘公園のライオンズの森で行われた。

この日はライオンズ会員三十人のほか、西芦別小児童の緑の少年団員八人と、市役所や空知森づくりセンター職員ら合わせて約五十人が参加。

伊藤会長、林政志市長らのあいさつの後、緑の少年団員は森づくりセンター職員から森林の役割や大切さなど学び、ライオンズ会員と一緒に、先の台風で木々に括り付けられた小鳥の巣箱が傾いたり、落ちて壊れた巣箱を補修し、再び木にしっかり括り付ける作業を手伝った。

また、ライオンズ会員らは、台風で折れて吹き飛ばされた小枝や、春から夏にかけ投げ捨てられたごみなどを拾い集めるなど、森の清掃奉仕に汗を流した。

（『空知タイムス』9月16日）

（編）この日は台風18号の直後で、巣箱の大半が破損してしまっていたそうです。子どもたちはまた鳥が集まってくることを願って、直した巣箱を再び木に取り付けました。今年は記録的に台風が多く、日本各地で深刻な被害をもたらしています。このような時だからこそ、ライオンズが率先して地域を巻き込み、奉仕活動を行うべきだと思います。

連絡先→TEL〇一二四二・三・〇〇八八

中級編

ライオンズ・スクール

クラブ運営の基礎知識

第6章　組織と大会

最終回

■高田順一（前地区ガバナー）

ライオンズクラブは地域社会のための組織を作ろうというメルビン・ジョーンズの呼び掛けに応じて、全米から二十七のクラブの代表がシカゴに集まり創設された。当初は社交や懇親を目的にしていた複数のクラブが、目的を変え、社会奉仕という大きな目的の下に再発足したところにライオンズクラブの特徴がある。

■組織とは

堺屋太一氏著『組織の盛衰』（PHP研究所刊）によれば、組織には共同体と機能体がある。それぞれの組織の特徴を同書から部分的に抜粋してみると、

「共同体とは――構成員の満足追求を目的にした、家族、地域社会、あるいは趣味の会や社交クラブなどのような組織。

組織の発展拡大や新規会員を増やすより、既存会員の結束と心地良さが優先される。本質的に排他性を持つ閉鎖的な社会であり、機能向上よりも内部調整に重点を置く。構成員にとって組織内での競争が少ない方が心地が良いので、内部での出世競争をなくし抜擢人事を行わず、いちばん分かりやすい基準で決める。従って年功序列人事が一般化する。

創造力というものは必ず少数派から出されて、多数派に変革を求める性格がある。共同化した組織では創造性は和を乱すものとして排除攻撃される。結局は従来の経験と慣例以外は考えられなくなり柔軟性をなくしてしまい、環境変化への不適応を引き起こす。

機能体とは――外的目的達成を目指す組織。

組織内部の構成員の満足や親交は手段であり、本来の目的は一つのプロジェクトの完成など、組織外の目的を達成することである。従って明確な目的があり、目的達成能力の充実や効率が重要になる。機能体組織では、能力を有し気質の適したものをその地位につける『適材適所』が望ましい。

組織は時間を経るに従って当初の目的のほかに自己保持をも目的にする。機能体であっても組織の拡大と強化を願う組織自体の目的を達成するために、非効率的部分を抱え込んでいく傾向がある」

ライオンズクラブはどちらの組織と言えるであろうか。創設者メルビン・ジョーンズはそれまでの社交クラブに飽き足らず、社会奉仕という明確な目的を持つ機能体組織を立ち上げたが、社交クラブが持つ共同体組織の特徴も有している。

特に、日本のライオンズクラブにはそういった特徴が顕著かもしれない。他国のライオンズクラブで行われている役員選挙が日本ではクラブ、地区レベルでも回避されていることからもうかがえる。

組織の性格のあいまいさは、いろいろな目的を持ってクラブに入会する会員を受け入れる幅の広さ、懐の深さになる。しかし既存会員がクラブの存在意義をあいまいなままにしておくことが、たくさんの入会者がありながら、退会者もまた続出する現象につながっている。クラブがどうあるべきかを明確にし強く意識することで、退会問題に歯止めをかけることにならないか。

自分たちのクラブは組織として共同体なのか機能体なのか、また両方の組織のよいところを取捨選択するにしても、どちらの性格を強調していくのか、会員による議論を通じて

クラブのアイデンティーを確立したい。そうすることで入会者の目的とクラブの目的の不適合を避けることが出来る。

そのためにも次項以降で述べる地区年次大会を始めとする大会に積極的に参加することが大切だろう。他クラブ、他地区、他国の人と交流することにより、いろいろな刺激がある。眼からうろこが落ちるようなカルチャー・ショックを受けることもある。それが自分たちのクラブを客観的に見ることにつながり、クラブのアイデンティーの確立に必ず資することとなる。

地区年次大会と複合地区年次大会

地区年次大会とクラブ

地区年次大会（以下地区大会とする）に関して、経費を掛けない運営に徹して、その分、地区会費を下げてほしいといった要望や、派手なデモンストレーションはライオンズクラブを一般の市民に誤解させることになるので、もっと簡素な大会を開催すべきではないか、といった指摘をされる会員も多い。

地区大会は地区内のクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するために、ライオンズクラブ国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。また、次期地区ガバナー及び副地区ガバナーの選出など、次年度に向けたさまざまな決議が行われる。なお、地区ガバナーの選出は国際会則付則第5条第6項により国際大会開催日の少なくとも三十日前に行わなければならない。したがって地区大会の開催日もこの規定を考慮して決定される。

地区大会は、複合地区会則第20条に基づき、地区ガバナー、前・元地区ガバナー及びクラブから正式に派遣された代議員をもって構成し、諸決議もこれら構成員の過半数をもって決議する。各クラブからの代議員は、国際会則第5条8項の規定により地区大会の前月一日付国際本部の記録に基づき、少なくとも一年と一日クラブに在籍している会員十人ごとに一人、及び端数五人以上に一人の割とし、単位クラブから正式に派遣されたグッド・スタンディングの正会員を代議員とする。

地区大会と前後して、代議員以外の会員も対象にしたいろいろな行事が開催される。現在、三十二ある地区大会がどのように開催されているのか第五十回年次大会に関して各地区ガバナーに依頼して調査をした。

それによると、地区の独自色が強く、三十二通りの地区大会と一連の行事が行われていることがうかがえる結果となった。地区の運営にはクラブの意見が強く反映されるので、各地区の事情で変遷があったものと思われる。

地区大会費として会員一人当たり九百円～二千百六十円が予算化されており、登録料は、なし～一万円で前回と同じとする地区が多いが、女性の登録料を値下げした地区や前回の半額に値下げした地区がある。近年、全国的に会員の減少が続いており、クラブが負担している地区費が一定であっても、地区予算の縮小は避けられない。またクラブからはクラブ運営費に占める地区費の負担が重くなっていることもあり、地区大会にかける経費のあり方を再考する動きが各地区で始まっている。

大会の規模は八百人～三千人、大会経費は八百万円～三千万円とばらつきがある。これは第五十回大会を記念大会として盛大に企画した地区と簡素化を目指した地区に分かれたためだと思われる。代議員総会と大会式典はすべての地区で行っている。最近はクラブからの提出議案が減っており、代議員分科会をなくしてシンポジウムに切り替えている地区もある。

そのほかにも会員の懇親を深める目的での懇親会やゴルフ大会を開催する地区が多いが、研修目的の講演会や、新入会員の入会式を行う地区もある。記念事業については行う地区が七割以上を占めたが、事業規模は百万円以下から一千万円以上と広がりがある。このように地域色が濃い地区であり地区大会であるので、クラブは積極的に地区の運営や地区大会に参加し、建設的な意見を述べるべきである。

地区内の改革を進めるためには、積極的に提案を行い地区全体で議論することが重要である。クラブは地区内のクラブに共通し年次大会にふさわしい議案を、事前にガバナーあて書式をもって提出出来る。その議案はキャビネット会議で整理され地区大会に付議される。提出議案によってはキャビネットからの回答形式をとる場合もあり、明快な決議を得ることが困難で論議を残すと判断されるものについてはシンポジウム形式で議論されることもある。

地区内のクラブが自分たちの地区大会の目的を再認識し、これからのあり方を議論することが地区大会、ひいては地区の活性化につながる。

複合地区年次大会とクラブ

複合地区年次大会（以下複合地区大会という）に関しては、開催そのものの意義に疑問を投げ掛ける会員もある。複合地区大会と地区大会の違いが分からないので地区大会には参加するが、複合地区大会には参加しないというクラブもあるほどだ。また複合地区大会は遠方での開催が多く、費用が掛かる上に内容が乏しいので廃止することは出来ないかと疑問を呈するクラブや会員もいる。

クラブと地区は接点が多く理解出来ても、クラブと複合地区との接点は複合地区大会に限られている現状から見て、クラブからこのような疑問や要望が出ることも理解出来る。

そもそも複合地区大会は、複合地区内のライオンズクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本活動方針に従い、複合地区内各準地区の運営を円滑ならしめることを目的に開催される。準地区大会と同様、各クラブの融和協調が主目的であり、地区大会がクラブの運営の円滑化を図るのに対し、複合地区大会は地区を対象にしている。複合地区大会では複合地区会則の改正や、国際理事候補者の推薦、あるいは国際第二副会長立候補者の推薦などが行われる。

複合地区大会は、大会に参加した複合地区内の地区ガバナーその他の地区内現・元国際役員及びクラブから正式に派遣された代議員をもって構成される。すなわち元地区ガバナーは所属クラブの代議員定数に関係なく代議員権を持つ。代議員が参加出来ない時は、補欠が所定の手続きによってこれに代わる。

大会の諸決議は、出席し投票した代議員の過半数の賛成票を要する。ただし、複合地区会則の改正には出席し投票した代議員の三分の二以上の賛成投票を要する。

国際協会と直結しているのは複合地区であり、クラブから代議員を派遣することを強く要請したい。しかし、形式的な大会運営は参加者の意欲を削ぐことになるので、開催者側には大会内容を新鮮味ある内容に改めたり、開催地の特色を生かすなどの工夫が求められる。

国際大会／エリア・フォーラム

国際大会の目的

国際大会は毎年六月下旬か七月上旬に開かれ、クラブから派遣された代議員により国際役員選挙、国際会則の改正等、国際協会の基本的方針に関する投票が行われる。国際会則により各クラブはグッド・スタンディングの会員二十五人ごとに、また端数十三人ごとに代議員及び補欠代議員各一人を大会に出席させることが出来る。代議員及び補欠代議員は大会登録を済ませ、登録料を支払い、資格証明の手続きを行い、資格証明書を資格証明委員会から交付されなければならない。

国際大会は世界中からの参加者と親睦を深めることで、ライオンズクラブの国際性、多様性を肌で実感出来る場である。ライオンズクラブ会員が情報交換することにより、お互いから学ぶ機会となる。また、国際協会役員のスピーチを聞くことにより、ライオンズクラブの最新の動向を知ることが出来、クラブの強化発展の原動力になる。

国際大会に参加し、ライオンズクラブ会員としての自信と誇りを感じた会員は少なくない。クラブは代議員派遣のための予算措置をとり、少しでも多くの会員に国際大会を経験する機会を与えてほしい。例えば、クラブが所属するリジョンに地区キャビネットが来る年の国際大会には積極的な参加をしてはどうか。

大会参加を決定したのであれば、大会登録は早期に行うほうが良い。大会登録料は前年の年末までの早期登録、その後三月末までの普通登録、それ以降の後期登録の三種に分かれており、徐々に高くなる。また代議員登録も早く行うことにより、登録済みピンが送られる特典がある。

日本ライオンズの場合、各複合地区国際大会委員会が参加者へのいろいろな便宜を図っており、参加しやすい推薦コースを用意している。それを利用すると、初めての参加者で

あっても、安心して大会登録や資格証明などの手続きを済ますことが出来る。大会では参加者同士が持参したピンを交換する。初対面の人と話のきっかけにもなるので、交換ピンや、日本を紹介する小物を用意していろんな人と知り合いになり大会を楽しみたい。

参加者は大会登録を済ませ、国際大会開催期間中のさまざまな行事やセミナーに出席することが出来る。ただし、メルビン・ジョーンズ・フェロー昼食会など、別途登録料が必要なプログラムもあるので、事前によく確認したい。

大会プログラムの中で、特に見逃すことの出来ないものが、インターナショナル・パレードだ。高校のバンドなどの協力を得て、世界のライオンズクラブの代表団が、民族衣装などの趣向を凝らし大通りを行進する。パレードに参加することはもちろん楽しいが、沿道から見ていても楽しく、一般の市民にもライオンズクラブをアピールすることになる。日本の場合、パレード参加者は服装などが決められるため、あらかじめ地区キャビネットを通じて発注するなど事前の準備が必要である。

開会式では国際会長の年次報告、ライオンズ国の国旗入場式などが行われ、インターナショナル・パレードに続き、皆さんの心は高揚するはずだ。更に、翌日からはアクティビティや運営に関するさまざまなセミナーが実施される。

大会最終日には朝早くから、国際会長、副会長及び理事の選挙、並びに国際会則及び付則の改正案に関する賛否投票が行われる。次年度以降のライオンズクラブの動向を決める大切な場である。代議員はその重要性を理解し、必ず投票をしてほしい。

この投票結果は、閉会式で発表される。閉会式では新国際会長の就任式が執り行われ、次年度の国際プログラムが発表される。更に新年度国際役員の紹介、及び地区ガバナーの就任式も行われる。新国際会長の掛け声で、全世界の地区ガバナー・エレクトの胸に着けられていたエレクトのリボンが取られ、いよいよ新年度がスタートする。

東洋・東南アジア・フォーラムの目的

国際協会は世界を七つの会則地域に分けており、日本は東洋・東南アジア地域に含まれている。各地域では、次の目的の地域フォーラムを毎年開催している。

a．ライオンズクラブ国際協会の目的と方針を促進する

b．地区及びクラブ役員を指導・教育する

c．合同事業の可能性を含む奉仕事業一般について意見や情報交換をする

d．LCIFに対する理解と認識の向上を図る

国際理事会はこのような地域フォーラムを、友好、親善、経験交換、ライオニズムの高揚のための行事として認めているが、その決議はクラブまたは会員を拘束することは出来ないという点で、地区大会、複合地区大会、国際大会と基本的に異なる。

東洋・東南アジア・フォーラムは地域フォーラムの一つであり、親善を深めることを主目的にして、この地域内のライオンズ国の代表の出席を得て開催され、この地域に共通の問題を話し合っている。

国際大会同様、国際会長を始めとする国際役員の出席があり、会議やセミナーが開催される。クラブからの参加者は開会式、国際理事候補者レセプション、次期開催地レセプション、セミナー、国際会長歓迎晩餐会、各複合地区晩餐会、閉会式などに参加し、他国のメンバーとの交流を通じて、東洋・東南アジア地域のライオンズクラブの多様性を感じることが出来る。

国際大会と違って投票がないので、資格証明などの手続きがなく気楽に参加出来るだろう。

高田順一（富山昭和）

一九四九年生まれ。八四年富山昭和ライオンズクラブチャーター・メンバー。九〇年度クラブ会長。九一・九七年度334-D地区YE委員長。九九年度リジョン・チェアパーソン。〇三年度334-D地区ガバナー。MJF。55歳。

ライオンズのための分かりやすいIT講座 最終回

第十二回 ウェブ月例会員報告書（WMMR）②

先月号に続いて、WMMRについて見ていこう。

既に十月分の報告から使用を開始したクラブもあるだろうし、とりあえず覗いてみたというクラブもあるだろう。実際に見たり、使ったりした感想はいかがだろう。テストを担当されたライオン寒河江、ライオン団、ライオン辰巳、三人の話がオーバーでなかったことがお分かり頂けただろうか。

オンラインへの切り替え

国際協会は各種報告書の提出を、低コストかつ迅速なオンライン報告で行うよう推奨している。また、毎年各クラブに郵送されていたさまざまな書式も、二〇〇五・〇六年度から郵送での配布を中止することになっている。その場合、書式の入手は公式ウェブサイトからダウンロードすることになる。国際本部では、こうしたオンラインへの切り替えにより、資源の節約や経費削減を図りたい考えのようだ。

が、全国のおよそ三千四百クラブが、完全にウェブサイトを利用出来るようになるには、今しばらくの時間と経験が必要だろう。ライオン誌への報告でも、メール利用が過半数を超えてはいるが、まだ千四百クラブほどは郵送またはファクスを使っている。国際本部への報告も同様だろう。その点、国際協会では書式自体の配布は中止するが、ダウンロードした書式での郵送による報告は引き続き受け付けているので、安心して頂きたい。

また、オンライン報告に関しても、これまでの旧バージョンは当面（国際協会の発表では今期中）並行稼動させるとのことなので、心配は無用である。が、テストをした三人を始め、八複合地区IT専門委員などによると、新システムの方が、かなり使いやすくなっているので、出来れば一日でも早くWMMRを利用することをお勧めしたい、とのこと。

と言っても、いくつか注意すべき点があるようなので、新システムのテストに当たって、IT部との窓口になったライオン団の話を聞いてみよう。

新システムの注意点

「注意点としては、旧バージョンと新バージョンでログイン用のIDとパスワードが違うということです。よく混乱するようなので、確認をお願いします。WMMRのIDは会長か幹事の会員番号で、国際協会からの請求書に記載されていますが、その桁数は一人ひとり異なります。パスワードは各クラブに既に連絡されており、国際協会の請求書の一部に記されているので、ご確認ください。

また、旧バージョンで報告したデータが、新バージョンのデータとして反映するまでに二〜四週間かかるようなので、誤って二重に報告することのないよう、報告の時には必ず『報告完了』の確認をしてください。

なお、一部クラブにおいては月例報告のウェブ化に伴う混乱が生じているようですが、当欄の説明はあくまでも国際協会の報告のみで、各準地区は独自のシステムまたは方法で報告され、またライオン誌への報告とも異なることを、しっかりと認識して頂きたいですね。要するに現在は、三件の異なる報告を異なる方法

IT虎の穴

明日のためにその十二 最終回

イラスト：藤英毅

最終回を迎えるに当たり、連載をもう一度読み直してみました。もっともっと言いたいことがあったのに、残念ながら誌面では全部お伝え出来なかったようです。最後に、これだけは言っておきたいということを今回はお話ししたいと思います。

現在、携帯電話のメールを含めると日本国中で約6,000万人がメールを使っていると言われます。でも、実際そうなんでしょうか。私には1日10通くらいのメールが届きます。でも、半分はダイレクトメールの類です。そんなメールは、読まずにゴミ箱へポイっと捨ててしまいます。(^^ゞ

こんなに日常的になったメールですが、いくつかの大切なルールがあるのをご存じでしたか。例えば、皆さんがウィンドウズを使っているとしたら、①とか㈱という文字がちゃんと画面で見えても、もし送る相手がマック・ユーザーだと、別の文字になったり読めないことがあります。このように、機械に依存するという機種依存文字*は使わないというルールがあります。これは、携帯電話の絵文字にも適用されます。届いたメールが途中読めない字だったことはないでしょうか。

せっかく作った文章が、相手には読めないなんて悲しいですね。そんなことがないように、ちょっと勉強してみませんか。検索サイトで「機種依存文字」と打てば、ホームページがいくつもあります。

さて皆さん、1年間のお付き合い、本当にありがとうございました。これからも私はパソコン相手に孤軍奮闘を続けます。習うよりも慣れろという言葉を実感しています。皆さんもぜひ、続けてパソコンと親しんでください。

では、またいずれどこかでお目にかかれるまで……。皆さんの成功をお祈りしています。グッド・ラック！(^_^)/~

＊ちょっと一言：機種依存文字＝パソコンの種類や環境（OS）に依存し、異なる環境で表示させた場合に、文字化けや機器の誤作動を引き起こす可能性のある文字のことです。電子メールを送信する時など、「機種依存文字」を使用しないよう気をつけましょう。

■ここに登場する人物または団体はすべて架空のものです。ヽ(￣ε￣)ノ

Announcement

http://membership.lionsclubs.org/

会員および役員報告書/名簿情報

重要
会員報告ウェブサイト

お知らせ

月報の新バージョン(WMMR)が使用できます。

新バージョンへのリンクはこのお知らせの最下欄にあります。

しばらくの間は旧バージョンも使えますが、いずれは新バージョンに切り替えられますので、今からできるだけ新バージョンをご利用ください。

新バージョンには、多くの新しい機能がおり込まれており旧バージョンより柔軟性もあります。

旧バージョンで報告したものを重複して新バージョンでも報告することは極力避けてください。二重報告は本部の記録も二重になることを意味します。

旧バージョンを使用する場合のコードは最初の0を含む6桁のクラブ番号でパスワードも6桁です。パスワードが分からない場合には、passwords@lionsclubs.org　又は太平洋アジア課にメールでお問い合わせください。

新バージョンを使用する場合には：
• ユーザーIDは半期会費請求書に載っている会員番号、そして
• パスワードは会計々算書に載っている番号を使用します。

旧バージョン　新バージョン

Copyright © 1999-2004 ライオンズクラブ国際協会。All rights reserved.

で提出しなければならないという煩雑さは回避出来ず、今しばらくは間違いのないように正確な報告を、指定された日までに提出されるようにお願いします。

最後に、テストを繰り返した結果、一部に未完成の部分があるものの、新バージョンについては概ねよく出来た報告システムであることを申し添えておきます。今後も引き続き、新機能の追加や、不具合の改良が加えられることにより、完成された会員報告書になることを期待します」

ライオンズのIT化

WMMRでは毎月の会員報告書のほか、次期役員の報告（PU-101）も出来る。また年次アクティビティ報告（A-1）に関しても、二〇〇五年一月にはWMMRで報告出来るシステムを公開予定である。

WMMRを筆頭に、各地区でもIT化が進み、現在、ライオンズの世界でもさまざまな合理化が図られている。が、IT化はまだまだ初期段階であり、団（ライオン）の指摘を待つまでもなく、同じような内容の報告書を別の方法で、別の事務局に送信しなくてはいけないという、各クラブにとっては面倒な状況になっている。

今後はユーザー側の意向を反映させたシステムの構築を目指すべきだろう。それが結局は、IT化推進の近道なのではないだろうか。（了）

※WMMRの日本語版マニュアルは八複合地区合同サイト（www.japan-lionsclubs.jp）で入手出来る。細かい解説はマニュアルを参照頂きたい。

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

山車倉の裸電球稽古笛　（愛知県・名古屋樟）高橋　忠男

（評）祭りの山車（だし）を入れる倉に裸電球がともり、祭の笛の稽古が行われている。

適塾の柱の傷や実南天　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

（評）大阪市東・西両区にまたがる市街中央の商業・金融街の船場の北浜三丁目のビル街に、近世の医者・蘭学者緒形洪庵が蘭学塾の適塾を開いた旧宅が、当時の商家風構えのままで残され、国の史跡・重要文化財に指定されている。柱に傷が残り、冬、庭に南天が実を結んでいる。

（応募要領→72ページ）

【入選】▼

鳴く声の汽笛に消ゆるちちろかな　（北海道・岩見沢中央）伊藤　朱夏

夜寒さに猫のぬくもり貰ひけり　（千葉県・大栄）野平婦基子

赤米の垂るる稲穂や巾着田　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

時の鐘鳴る城下町秋ざくら　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

巫子舞を終えれば童女秋祭　（愛知県・高浜）岩月　三則

なほ褪めぬ水禍の濁り草いきれ　（福井九頭竜）加畑　霜子

天狗党越えし峠の野分雲　（福井県・敦賀）山本　麓潮

転がれる蛸壺からも虫の声　（兵庫県・神戸シニア）中村麦芽子

秋風裡立てて久しき母の箏　（兵庫県・西脇）高瀬　博子

燈下親し幼相手の絵本よみ　（大阪夕陽丘）中村　豊彦

吹き上ぐる風の峠や赤とんぼ　（大阪夕陽丘）田中　一栄

札所道ゆくに盛りの蕎麦の花　（大阪府・堺浜寺）平井真佐雄

鐘の音の仏山わたる夕時雨　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　秀騎

青柿や鴎外旧居の井の澄みて　（奈良ライオネス）小林　成子

ささやかな老いの暮しの温め酒　（香川県・長尾）鶴居　健

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

沈む日に釣人一人のシルエット微動だにせず余光まとへり

（千葉県・館山中央）荻野　貴子

（評）焦点のくっきりと絞られた一首である。秋の日は「釣瓶落し」といわれ、暮れやすい。しかし釣人は、少しでも光のある時の間を惜しむかのように、釣の姿勢を崩さない。遂には「余光まとへり」。日は落ちても下から照り上げる光がある。その余光をまとって、シルエットはいよいよ翳をふかめる。シルエットと余光、影と光の関係が味わいぶかい。身のひきしまるような秋の静寂を思わせる作品である。

今号は、加藤、野村両氏の作品にも注目した。

（応募要領→72ページ）

【入選】▼

ひげながの虫が残して逃げゆきし命うごくを掌（て）に見つめをり
（青森まほろば）加藤　捷三

昨夜虫に宿りて鳴きし青き精今朝は咲きたり露草として
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

炎たつ夕焼山を赤く染め九・一一今日をとぶらう
（神奈川県・小田原）清水　幾代

ボートもヘリも未だ届かず孤立せる二階に住まふ戦友案ず
（新潟県・三条）古澤十三男

亡き母の消えぬ残像朝市に絣のもんぺで魚うりゐし
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

厨にて妻つつましく桜茶の支度してをり子の出づる朝
（千葉県・東庄）宇井　秀雄

茹で卵を「たまま」と喜ぶ二歳児の飽くことのなく動く唇
（三重県・四日市北）横井　真澄

八月の真日照らすなか駆けてゆく十五センチの赤きサンダル
（新潟県・羽咋）竹津　弘子

野分あと白くなりたる糯（もち）の穂を手に持つ農夫「正月が来ん」
（高知県・土佐香南）野村土佐夫

山芋の蔓絡ませて泰然と風に吹かるる南天の幹
（大分県・中津沖代）松本　達雄

柳壇

■選者　大木俊秀

【入選】▼

喜寿迎えみんなを褒める術を知り
（北海道・釧路まりも）岸本　照之

雑兵の卑屈か影が長すぎる
（青森県・八戸中央）大久保健峰

美味しいよ無農薬よとおすそわけ
（岩手県・水沢中央）千葉　章男

板長の味に恋して通いづめ
（岩手県・水沢中央）石川　涼呼

作り歯で味わう秋の山の幸
（岩手県・水沢中央）佐藤　恒夫

片べりの靴へ夕日のつるべ落ち
（新潟県・五泉）長澤　信一

各々が鼾気にして距離を置き
（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

手鏡に刻み続ける忍の文字
（埼玉県・浦和シニア）君塚　六郎

共通の趣味でも妻に追い越され
（静岡県・大仁）山本　順平

ひらがなの方言で道教えられ
（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

白内障でも酒も飲む恋もする
（島根県・松江湖城）長谷川　孝

決断へかすかに揺れている紫煙
（宮崎橘）井上　忠一

まだ不足我が人生の酒の量
（佐賀県・神埼）園田　祐

頬っぺたがふくれ風船まるくなり
（長崎県・諫早）大﨑　博正

順番を気長に待って無位無冠
（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

【特選】

病む父に稲穂の出来を握らせる
（青森県・五所川原）坂本　憲昭

（評）川柳も、人それぞれに作風が異なるもので私の拝見するところでは、憲昭さんは客観、具象を得意としておられるようだ。目に見えて来る作品は読者の共感を呼ぶ。下五の「握らせる」の措辞が、すべてを物語る。

自責点書く日のペンが滑らない
（青森県・弘前中央）高橋　岳水

（評）憲昭さんが客観・具象派の作家であるのに対して、岳水さんは主観・抽象の分野で好作品をお見せくださる方だ。野球などでよく使われる「自責点」を、その日一日を厳しく反省する我が身に取り入れて、秀作に仕立てられた。

（応募要領→72ページ）

クラブ会員刊行物

●水戸黄門東上州漫遊記

B6判本文582ページ
2,500円

著者／樋口正洋（群馬県・太田中央ライオンズクラブ）発行／上毛新聞社出版局（TEL〇二七・二五四・九九六六）

＊「水戸黄門漫遊記」は天保年間の講談師が作ったフィクション。ならば独自の「漫遊記」を作り、徳川氏発祥の地と言われる筆者の生まれ故郷、群馬県新田郡尾島町を訪ねてもらおう。物語を通じて水戸光圀の人間性と正義感に触れ、また尾島町徳川発祥説の真実に迫る。

●東上州三十三観音札所めぐり

著者／同上（TEL〇二七六・四五・六二〇〇）

＊同上著者制作の小冊子。西国、板東、秩父に有名な三十三観音霊場だが、群馬県にもそれがあった。興味を抱いた著者が所在や道順、管理者などを一つずつ調べ歩き、写真、地図も入れてまとめた一冊。

A4判本文45ページ
400円

ライオン誌事務所来訪者芳名録

月日	クラブ	氏名
10/1	埼玉県大宮氷川	渡辺 昭平
10/4	東京渋谷	中野 了
10/6	千葉県四街道	楠岡 巌
10/7	大阪府枚方中央	内山 宏
10/21	千葉県柏中央	後藤 隆一
10/21	富山昭和	高田 順一
10/22	千葉県松戸ユーカリ	高橋 昌男
10/22	千葉県松戸ユーカリ	福澤 良夫

訂正とお詫び

本誌十一月号「クラブ・リポート」（23ページ）で都城ライオンズクラブ会長は宇都野会長の、「クラブ会員刊行物」（56ページ）で東京五反田ライオンズクラブとあるのは、東京神田ライオンズクラブの誤りでした。お詫びして訂正致します。

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」76〜77ページ
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）及びその家族でアマチュア。
●応募作品（題材は自由）サービス判以上四ツ切までのプリント及び35ミリ以上のスライド。一人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」78ページ
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、絵のサイズ（号数）、画題を明記し、絵に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「サービス・アクティビティ」40〜41ページ
●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。
●写真は動きのあるもの、内容が一目で分かるもの。クラブ名、活動日、場所、キャプション（100文字程度）を付記。
●Eメールでの投稿は、画像サイズ：長辺が1,600ピクセル程度／画像形式：JPEGの最高画質(低圧縮)／ファイル名：ライオン誌用5桁のクラブコード＋写真の通し番号（例：01001-01.jpg）／メール件名：サービス・アクティビティ投稿／メール1通につき写真添付は3点まで。

本文

■「クラブ・リポート」56〜61ページ
●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付（返却希望の場合はその旨を明記）。

■「獅子吼」51〜55ページ
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」69〜71ページ
●会員びその家族。
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「リーダース・プラザ」72〜73ページ
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合あり。原則として原稿返却はなし。
▼住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿及びサービス・アクティビティはEメール投稿も可。

送り先：〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所 各コラムあて
TEL03-3542-9571 FAX03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。編集部

ライオンズ・クエストの可能性

●十月号「THEME」のライオンズ・クエストに関する記事を興味深く拝見しました。私の娘は教育問題の現場に身を置き、日々いろいろと難しい教育問題に取り組んで頑張っております。娘にも参考になるだろうと思い、『ライオン誌』を届けました。

島根県・出雲南●周藤正見

●ライオンズ・クエスト・プログラムをいち早く導入された芝東中学の成功のポイントは、先生方がこのプログラムに信頼を寄せ、実践したことだと思います。深い感銘を覚えました。

大分県・豊後高田●吉田健治

●ライオンズ・クエスト・プログラムはたいへん面白く拝見しました。具体的に何をどのように取り組み、生徒たちがどのような問題をどう討論したのかなどの例を紹介して頂けたら、クエストの真髄がより理解出来るし、より参考になると思いました。

高知県・土佐香南●高木皖水

(編)ライオンズ・クエストについては多くの反響を頂きました。近号では四月号「THEME」、三月号「インタビュー」でも取り上げています。また、日本における同プログラム実施組織・青少年育成支援フォーラムのクエスト関連のホームページもご覧ください(www.lqjp.org)。

本と一緒にふるさと探訪

●同窓会があり三十数年ぶりに福岡県・小倉に行きました。その後『ライオン誌』十月号が届き、「ふるさと探訪」に甘木のことが書いてあり、懐かしく拝見しました。小さいころ甘木のおばの所によく行ったものです。残念ながら今はだれも居ませんが……。また三年後に同窓会があるので、今度は甘木にも行ってみようと思います。草木染めが大好きなので工房なども訪ねてみたいと思っています。

兵庫県・播磨●柳谷佐代子

●主人に届く『ライオン誌』を読み、また写真などを拝見するの楽しみにしています。商売をしておりなかなか旅行に出かけられない私にとって、「ふるさと探訪」を始めいろいろな記事がたいへんありがたいのです。日本各地のクラブの活躍も知ることが出来、「たいへんだなあ。皆さん頑張ってください」とエールを送っています。

北海道・小樽みなと家族●田中美知子

俳壇・歌壇・柳壇の楽しみ方

●毎月、「俳壇・歌壇・柳壇」を楽しみにしています。皆さんほんとうに上手で、関心させられます。私はここから好みの句を二、三選び、俳画を描いて楽しんでいます。また、「ふるさと探訪」は毎回読ませて頂くとホッとします。そしてすぐにそこへ行きたくなるのです。

愛知県・名古屋サウス家族●松波信子

「心の伝わる話し方」参考に

●十月号には私にとってたいへん心強い味方が載っていました。それは「心の伝わる話し方/聞き手の立場になって」です。これを読み相手に自分の思っていることを伝えられるように出来たらと思います。

北海道・喜茂別●辻口初枝

●今年度はクラブ会長の任を仰せつかったためあいさつの機会が多く、話すのが苦手な私にとってはなかなか大変です。しかし「心の伝わる話し方」を拝読し、少し救われています。

石川県・金沢●中川忠夫

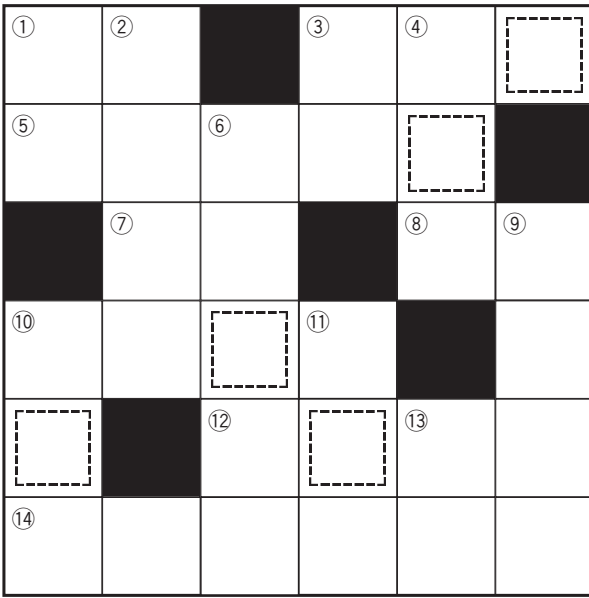
神輿の担ぎ手を増やそう

●十月号「編集室/神輿担ぎの理論」を読んでなるほどと思った。野球では「全員野球で勝った」とコーチが言うことがよくある。はたして私たちライオンズはどうだろう。担ぎ手が半分いるだろうかと危惧している。担ぎ手を増やすのにはやはり会長を中心としたクラブ三役の強力なリーダーシップが欠かせない。同時に会員が関心を示すクラブ運営にあると思う。この理論を皆で今一度噛みしめ、担ぎ手一〇〇パーセント、クラブ活性化に連動させたい。

秋田県・大館●佐藤廣治

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください(あて先は81ページ)。締切は十二月二十二日。

①	②	■	③	④	[ ]
⑤		⑥		[ ]	■
■	⑦		■	⑧	⑨
⑩		[ ]	⑪	■	
[ ]	■	⑫	[ ]	⑬	
⑭					

解答 □□□□□

ヒント：第二回LCIFスタディ・ツアーの訪問地

↓タテのカギ

☒生まれてしばらくはこれで育つ。ほ乳類である証し。

☒高知空港の愛称は「高知○○○○空港」。

☒名付け親は織田信長とも言われる、中部地方西部の都市。

☒物を煮た汁のこと。

☒西洋では「アダムのリンゴ」。

☒不運や不幸が重なることを「○○○○に蜂」と言う。

☒チョコレートの原料。

☒中国で「会社」のこと。

☒日本では京都、奈良が代表格。

←ヨコのカギ

☒積もれば山となるもの。

☒アフリカ西岸の共和国。首都はコナクリ。

☒大相撲の第五十八代横綱。現在は九重親方。

☒春に出る芽の部分を食べる日本原産の野菜。大きくなりすぎると役に立ちません。

☒ローマ神話の月の女神。

☒魚のすり身で作る加工食品。

☒ラーメンスープの定番の一つ。

☒管楽器や弦楽器、打楽器などで合奏する音楽。

■前回の答え

キ	ザ	シ	■	イ	カ
コ	■	ク	[ニ]	ト	リ
ク	ウ	[ラ]	ン	■	ス
シ	リ	メ	■	ク	[マ]
ジ	カ	ン	ワ	リ	■
ヨ	イ	■	キ	ゲ	ン

答えは「マニラ」

心の伝わる話し方

◆最終回

イラスト／吉田悦子

「テクニックより重要なもの」

■松村尚子（大阪府・堺エンゼル・ライオンズクラブ）

明日はいよいよ、クラブの周年記念式典でのあいさつ……。スピーチが得意でない方にとっては、不安な夜になるかもしれません。準備万端整えても、いざ本番となると緊張するものです。私もチャーター・ナイトの会長あいさつで壇上に上がった瞬間、何とも言えない雰囲気に気おされ、足がすくむ思いがしました。

本番でどうしてもあがってしまうという方は、前の晩に翌日着る服を身につけて鏡に向かって練習してみましょう。リハーサルしておくことで安心感が生まれます。可能なら、当日に会場でリハーサルが出来れば、より安心です。

スピーチの直前には、手のひらに「の」の字や「人」の字を書いて飲み込むとよい、と言われます。おまじないや、身体を動かすことで気持ちを落ち着かせることが出来ます。私はよく深呼吸をしたり、身体をぐーんと伸ばす体操をします。ゴルフのスイングの練習もよいかもしれませんね。

最後に大切なのが目！　いい話をしていても目線が下がっていたりきょろきょろしていると台なしです。文章の区切りは出来るだけ黒目を動かさないように。そして、恥ずかしいという方は、あごをあげて、会場の少し後方を見渡すといいでしょう。

◎

「心を伝える」。話すことを仕事にしている私自身、どうしたらうまく伝えられるか、日々悩んでいます。話し方のテクニックを磨いただけでは、心を伝えることにはならないからです。

ライオンズクラブの会合に出席すると、素敵な話し方だな！　と感心することがよくあります。個性や人生経験、社会経験など、これまで培ってこられたものが、話し方やしぐさにも表れるのでしょう。いくらきれいな文章や言葉を並べてもかなわないな、と思います。その人の個性や経験、生きざまが自然に表れるような話し方が出来れば素晴らしいと思います。「心を伝える」というのは、自分自身を表現し、体全体から湧き上がるものを相手に伝えることだと思うのです。

◎

この連載を多くの方々に読んで頂き、たいへん貴重な経験が出来ました。六カ月間、ありがとうございました。

ご意見・ご感想は→miyabi@iris.eonet.ne.jp

MY BEST SHOT

❶露木義光　静岡県沼津·56歳［夏の日］

講　評　■選：河相正名
日本写真家協会会員

今月の格言：カメラは好奇心のアンテナである

❶画面全体が、まさに「夏」を感じさせる作品。今年の夏は、ことのほか暑かったが、暑さが甦ってくるようだ。赤、青、黄色の原色に近い色彩と、右側の建物が描く濃い影が、それらの印象を増幅させている。

❷淡いフラットな光を使い、落ち着いて、気持ちのいい写真になった。もう少し絞り込んでもよかったような気がする。

❸映画のワンシーンを見るようで、構図が決まっている。画面右上を少しカットした方が、道のつながりが感じられただろう。

❹きれいに分けられたタマネギの球と茎を、一つの構図として描いた。人物と茶色の網袋が、いいポイントとなっている。

❺状況が分かりにくいが、理屈ではなく、見ていて楽しくなる写真。躍動感もあり、シャッターチャンスが見事。

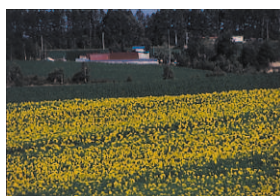
※2005年1月号からMY BEST SHOTの形式が変わります。

❸中島勝義　広島あさひ·59歳［散歩道］

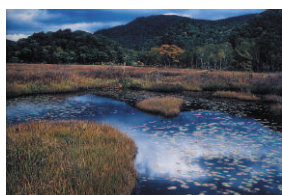
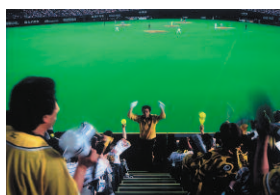
❷山野智要之亮　広島あさひ·69歳［若葉の頃］

❺畔柳東一
愛知県岡崎竜城
51歳
［水遊び］

❹鳥羽孝哉　長野県松本アルプス·74歳［収穫］

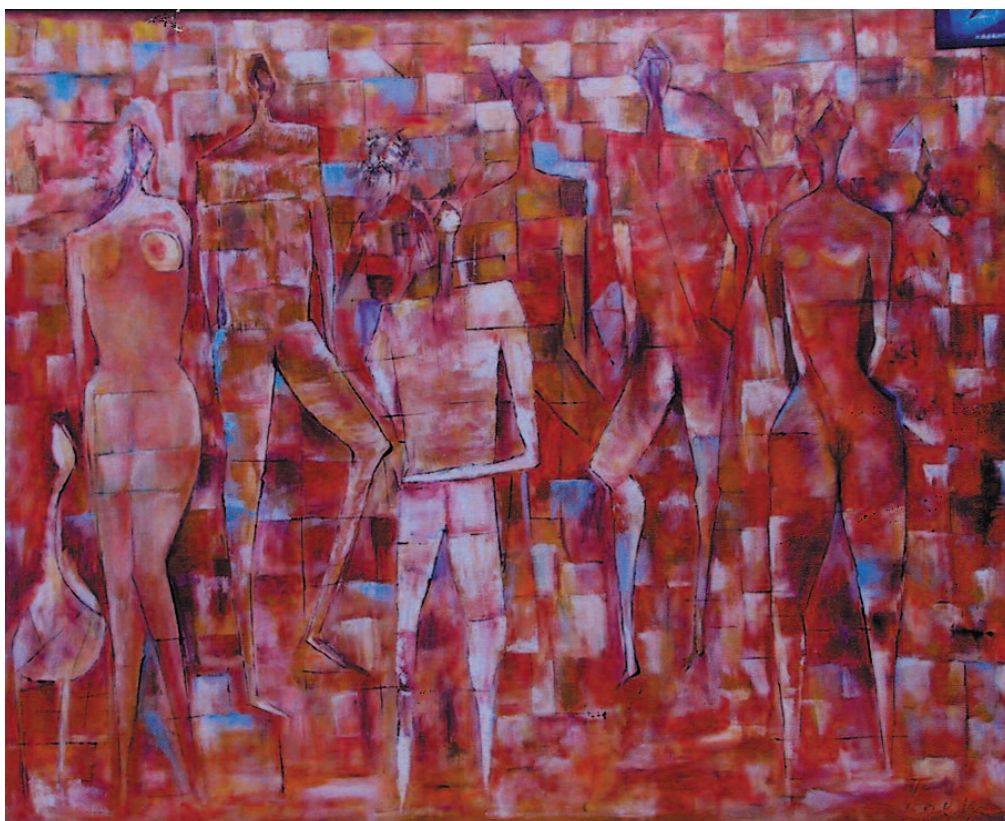
重藤一美
広島県甲山
52歳
［全日本モトクロス選手権第9

齊藤勉　北海道斜里·66歳［秋の農村風景］

岩佐清　岐阜県高山·79歳［氷池］

浪越英司　香川県高松東［瀬戸夕照］

横内孟　山梨県南アルプス·60歳
［秋の訪れ］

中川光義　北海道帯広平原·54歳
［こころはひとつ］

団英男　兵庫県神戸レインボー·48歳
［『青春』次は俺が！］

菊野善之助　愛媛県松山·83歳［秋の朝

LIONS GALLERY

「群雄」油彩F100号

世界三大夜景の一つ、函館山の姿を望み、温泉、観光、イカ刺、地酒等々に恵まれた気候風土の中、ようやく五歳になった函館コスモス・ライオンズクラブの会員でございます。
やっと幹事の役目も終わり、久しぶりに絵筆を取りました。その作品を道美展に初出展し、幸運にも札幌市教育長賞を受賞し感激しております。

西山妙子
北海道・函館コスモスクラブ
アート研究所所長

この作品は明るい平和な世界を未来に託し、青年のたくましい力強さ、勇気、優しさを色彩の調和と美しさで心象的に表現してみました。
（にしやま　たえこ・59歳）

読者プレゼント

EDITOR'S ROOM

EDITOR'S ROOM

■ソフト貝柱を五人の読者に

「ふるさと探訪」（44ページ）に登場した北海道・猿払ライオンズクラブ（堤進会長）から、猿払漁業協同組合（石井寅司組合長／クラブ・メンバー）の「天然ソフト貝柱」が五人の読者にプレゼントされます。

ホタテは、血圧やコレステロール値を低下させ、視力や神経性の疲労を回復させる栄養素・タウリンを多く含み、高タンパク低カロリー、ミネラル、ビタミンも豊富で、おいしい上にダイエットにも効果的。

日本最北端の村・猿払の特産、オホーツクの激しい厳しい海で育つホタテは特に身が大きく、味が良いことで定評があります。ソフト貝柱は天然五年物のこだわりのホタテを鮮度の良いまま塩水のみで加工した無添加の自然食品。生の風味が生きています。そのままで酒の肴やおやつに、またさまざまな料理にご利用頂けます。

■虎杖浜のたらこを十人の読者に

「メークアップ」（43ページ）に登場した北海道・白老ライオンズクラブ（蒲原章会長）から、㈲蒲原水産の「虎杖浜の甘口たら子」が五人の読者にプレゼントされます。

北海道の中でも良質なたらこの産地として有名な虎杖浜。このおいしいたらこそのものの滋養と味を損なわぬよう、より新鮮な卵を厳選し独自の製法で甘口に仕上げました。粒子一粒ひとつぶのきれいさと、サラサラとした舌触りの良さはほかでは味わうことが出来ないものです。

■「くんなせい」を五人の読者に

「ヘッドライン」（36ページ）に登場した北海道・室蘭中央ライオンズクラブ（丸山貴陸会長）から、ウズラの卵、ホタテ、タコの串刺しを薫製にした「くんなせい」が五人の読者にプレゼントされます。

同クラブの「旨いしょ部会」の新作で、「観光客が歩きながらでも気軽に食べられる、室蘭の特産品を使った新しい名物を」というコンセプトによる工藤龍蔵同部会長の発案。堅さ加減や味付けに苦労しながら改良を重ねて仕上げました。ブレイク前にいち早くお試しあれ。

プレゼント応募要項

はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名と「貝柱」「くんせい」「たらこ」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は12月24日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ウェブサイトからの応募
URL: www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME
鼎談：クラブ運営

本誌七月号から六回にわたり連載し、好評を頂いた「ライオンズ・スクール中級編 クラブ運営の基礎知識」。同スクール講師として原稿を執筆頂いた、後藤隆一333-C地区元ガバナー、高田順一334-D地区前ガバナー、高橋義太郎本誌編集長の戦後生まれのリーダー三人が語り合う。活発なクラブを作るには？ クラブ会長に求められるリーダーシップとは？

ROAR・ローア
——まるごと332複合地区

一月号は332複合地区特集。「ヘッドライン」はメンバーらが地元中学校で講師として経験などを語る、青森県・弘前ライオンズクラブの「ふれあい授業」。「メーク・アップ」では宮城県・仙台グリーン・ライオンズクラブと福島県・白河小峰ライオンズクラブの例会を訪問する。「ふるさと探訪」は山形県白鷹。四百年以上の歴史を持つ深山和紙は、楮を原料とした純粋な手漉和紙。頑ななまでに昔ながらの製法にこだわる今利一郎さんの紙は、ミシンで着物が縫えるほど。二十年ほど前からは町の女性たちにより、深山和紙を使った和紙人形作りも始まり、伝統と今とが溶け合っている。「祭りのある風景」は秋田県横手の梵天。高さ五メートルもの色彩鮮やかな幣束が純白の雪に映える豪華絢爛な祭り。

Official publication of Lions Clubs International.

We Serve

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

EXECUTIVE OFFICERS
President, **CLEMENT F. KUSIAK,** 6302 Homewood Road, Linthicum, Maryland, 21090-2108 USA; Immediate Past President, **DR. TAE-SUP LEE,** A-306, Tower Palace, 467 Dogok 2-dong, Gangnam-gu, Seoul 135-270, Republic of Korea; First Vice President, **ASHOK MEHTA,** 13/5, Avanti Apts., Sion East, Mumbai 400-022, India; Second Vice President, **JIMMY M. ROSS,** P.O. Box 368, Quitaque, Texas, 79255 USA.

DIRECTORS
LUIS ALFREDO ALMANSA, Bogota, Colombia; **WILLIAM ANDERSON,** Hanover, Pennsylvania, USA; **SEBASTIÃO BRAGA,** Belo Horizonte, Brazil; **LOWELL BONDS,** Hoover, Alabama, USA; **GARY L. BROWN,** Urbana, Ohio, USA; **RICHARD P. CHAFFIN,** Forest, Virginia, USA; **VARA PRASAD CHIGURAPATI,** Vijayawada, India; **JULES COTÉ,** Shelburne, Vermont, USA; **WILLIAM J. CRAWFORD,** Encinitas, California, USA; **HANS ULRICH DÄTWYLER,** Schattdorf, Switzerland; **NELSON DIÉZ PERÉZ,** Asuncion, Paraguay; **ASOKA de Z. GUNASEKERA,** Colombo, Sri Lanka; **RANDY HEITMANN,** Cambridge, Nebraska, USA; **CLIFFORD S.A. HEYWOOD,** Takapuna, North Shore City, New Zealand; **PROF. JAN A. HOLTET,** Rasta, Norway; **DR. MIKIO ISHIBASHI,** Hokkaido, Japan; **ERKKI J.J. LAINE,** Espoo, Finland; **E. ROBERT "BOB" LASTINGER,** Wesley Chapel, Florida, USA; **HOWARD LEE,** Farnham, Surrey, England; **SOMSAKDI LOVISUTH,** Bangkok, Thailand; **SERGIO MAGGI,** Bari, Italy; **DR. GEN OKUBO,** Nagasaki, Japan; **W. R. O'RILEY, Maryville,** Missouri, USA; **DON REESE,** Eunice, New Mexico, USA; **DUR ROBERSON,** Oak Harbor, Washington, USA; **MAYNARD WARREN RUCKS,** Henderson, Minnesota, USA; **JAMES SHERRY,** Sackville, Nova Scotia, Canada; **A.P. SINGH,** Kolkata, India; **DR. WING-KUN TAM,** Hong Kong, China; **GARY TSCHACHE,** Bozeman, Montana, USA; **WALTER R. "BUD" WAHL,** Streator, Illinois, USA; **KEE-JUNG WOO,** Daegu, Republic of Korea; **ERNEST YOUNG JR.,** Lansing, Kansas, USA.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　大久保彦・石橋幹雄
委員長　林孝(334)
編集長　高橋義太郎(332)
委　員　今井三和(330)・荒川隆志(331)
木村敬之介(333)・中田勝昭(335)
尾﨑明雄(336)・佐々木智英(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

活力のある若者を育てるために

ライオン誌
日本語版編集長
◉
高橋義太郎

先日、私が所属するゾーンへの合同公式訪問がありました。地区ガバナーによる今年度の方針の中に、「志半ばで、と言われないように、会員がその使命を達成し、健康で寿命を全うするために個人でそして例会で健康について学ぼう」という健康についての自主管理の勧めがありました。「健康」という言葉を耳にして、私の頭の中に浮かんだのは、若者たちの活力のなさです。

皆さんは近くの駅や街角で、疲れたように目がうつろい、気力のなくなったような若者を目にすることはありませんか。こうした若者の活力のなさは、やる気を出させるミネラルである「亜鉛」の不足からきていると言われます。また、「キレル」という言葉もよく耳にします。こちらはカルシウム不足が原因だと言われています。多くのファーストフードでは、このようなミネラルが含まれていない食べ物が提供されていると言われています。また、輸入されている野菜から基準値より高い濃度の農薬が検出されることもよく問題として取り上げられます。そして、輸入される穀物には、輸送に時間が掛かるために防腐剤が使われています。このような農薬や防腐剤は体内にどんどん蓄積されていきます。そして、蓄積されたこれらの薬品は、後に病気を引き起こす原因となっていくのです。

私たち日本のほとんどのクラブがレオ、YE、福祉施設への奉仕、各種スポーツ大会・弁論大会の開催など、青少年にかかわる多くのアクティビティを行っています。その数と金銭においても年間の活動のかなりの割合を占めていると思います。

今、私は食物を通じて、青少年の健全育成のためのアクティビティが出来ないものかと考えています。都市部と地方のクラブが交流することによって、安全な野菜を使った学校給食、野菜作り、有機野菜の販売など、やり方次第でたくさんの新しいアクティビティが生まれてくると思うのですが、いかがでしょうか。本誌がこうした交流の架け橋の役目を果たすことが出来たら、たいへん素晴らしいと思います。

今年度、編集長という大任を担うことになりました。会員の皆さんが毎月心待ちして頂けるような『ライオン誌』にしたいと思っています。

日本ライオンズクラブ 分布図

（二〇〇四年九月三十日 各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2004.8.31国際協会集計

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末	現在	増減
ライオンズ国または領域 前期末191 現在193	46,232	46,326	1,365,890	1,362,684	△ 3,206

日本のライオンズ

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末	現在	増減
331-A北海道（道央地区）78	78	78	2,996	3,046	50
331-B北海道（道北·道東地区）101	101	101	3,413	3,417	4
331-C北海道（道南地区）62	62	63	2,341	2,371	30
小計	241	242	8,750	8,834	84
332-A青森68	68	68	2,328	2,329	1
332-B岩手57	57	57	2,007	2,024	17
332-C宮城89	90	89	1,926	1,983	57
332-D福島83	83	83	2,453	2,460	7
332-E山形55	55	55	2,125	2,138	13
332-F秋田56	56	56	1,746	1,747	1
小計	409	408	12,585	12,681	96
333-A新潟83/群馬58	142	141	5,420	5,420	0
333-B茨城81/栃木57	141	138	4,509	4,460	△ 49
333-C千葉126	126	126	3,590	3,615	25
小計	409	405	13,519	13,495	△ 24
330-A東京200	199	201	5,614	5,657	43
330-B神奈川157/山梨35/東京1	193	193	6,087	6,132	45
330-C埼玉108	111	108	3,083	3,072	△ 11
小計	503	502	14,784	14,861	77
334-A愛知119	119	119	6,239	6,300	61
334-B岐阜56/三重36	92	92	4,392	4,409	17
334-C静岡84	84	84	3,669	3,708	39
334-D富山40/石川33/福井27	99	100	4,573	4,640	67
334-E長野55	55	55	2,544	2,558	14
小計	449	450	21,417	21,615	198
335-A兵庫（東） 114	114	114	3,397	3,413	16
335-B大阪171/和歌山26	197	197	7,616	7,651	35
335-C滋賀24/京都82/奈良18	124	124	4,911	5,011	100
335-D兵庫（西）69	69	69	2,636	2,636	0
小計	504	504	18,560	18,711	151
336-A徳島36/高知32/香川32/愛媛52	153	152	6,804	6,843	39
336-B鳥取22/岡山80	104	102	4,245	4,246	1
336-C広島106	106	106	4,271	4,334	63
336-D島根48/山口61	110	109	4,221	4,206	△ 15
小計	473	469	19,541	19,629	88
337-A福岡115/長崎3	118	118	5,246	5,322	76
337-B大分47/宮崎46	93	93	3,286	3,279	△ 7
337-C佐賀30/長崎52	85	82	3,271	3,283	12
337-D熊本58/鹿児島57/沖縄25	140	140	4,618	4,685	67
小計	436	433	16,421	16,569	148
合計	3,424	3,413	125,577	126,395	818
世界のライオンズの		7.4%		9.3%	